

特20

188



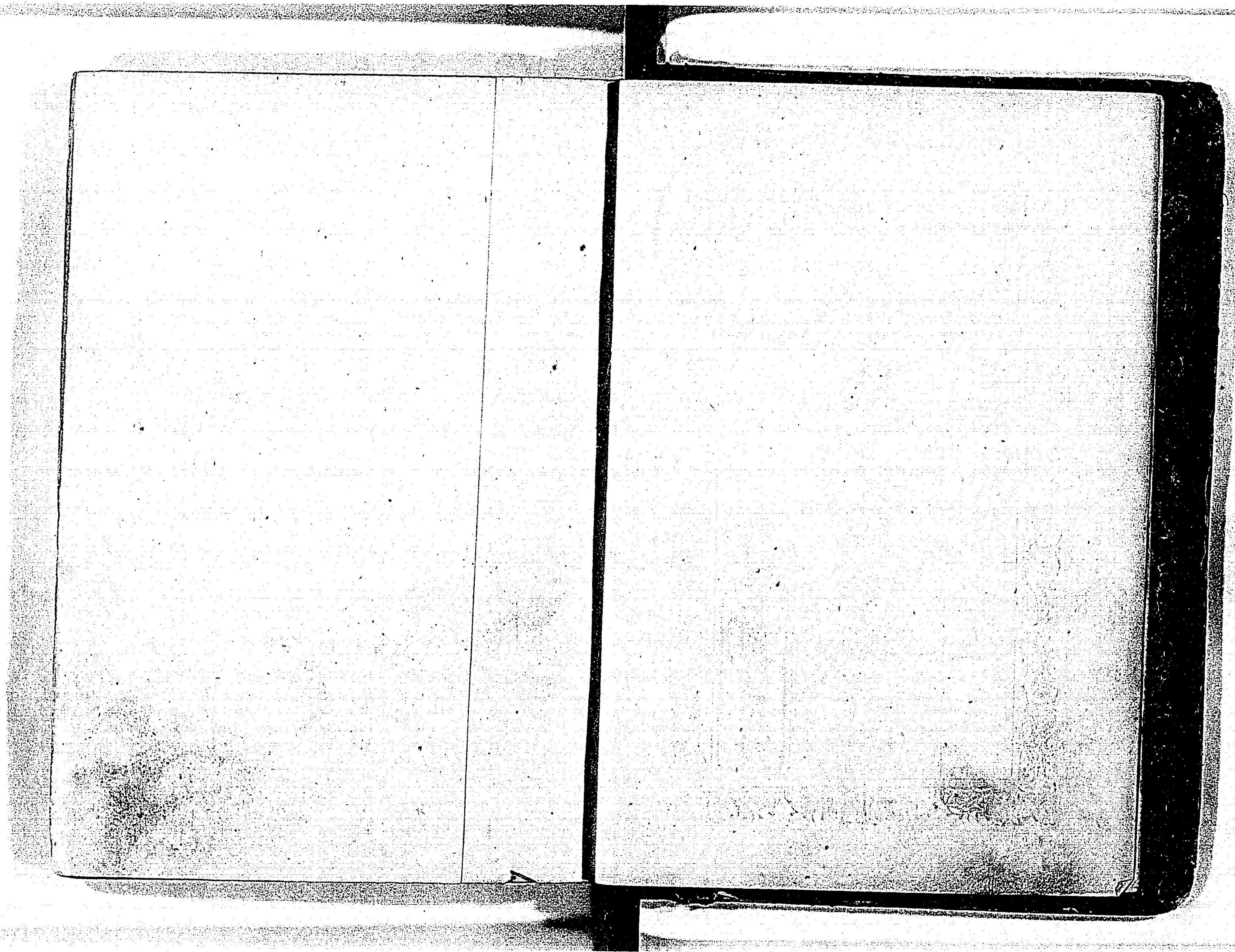
藤根 叔 著
述 評 註

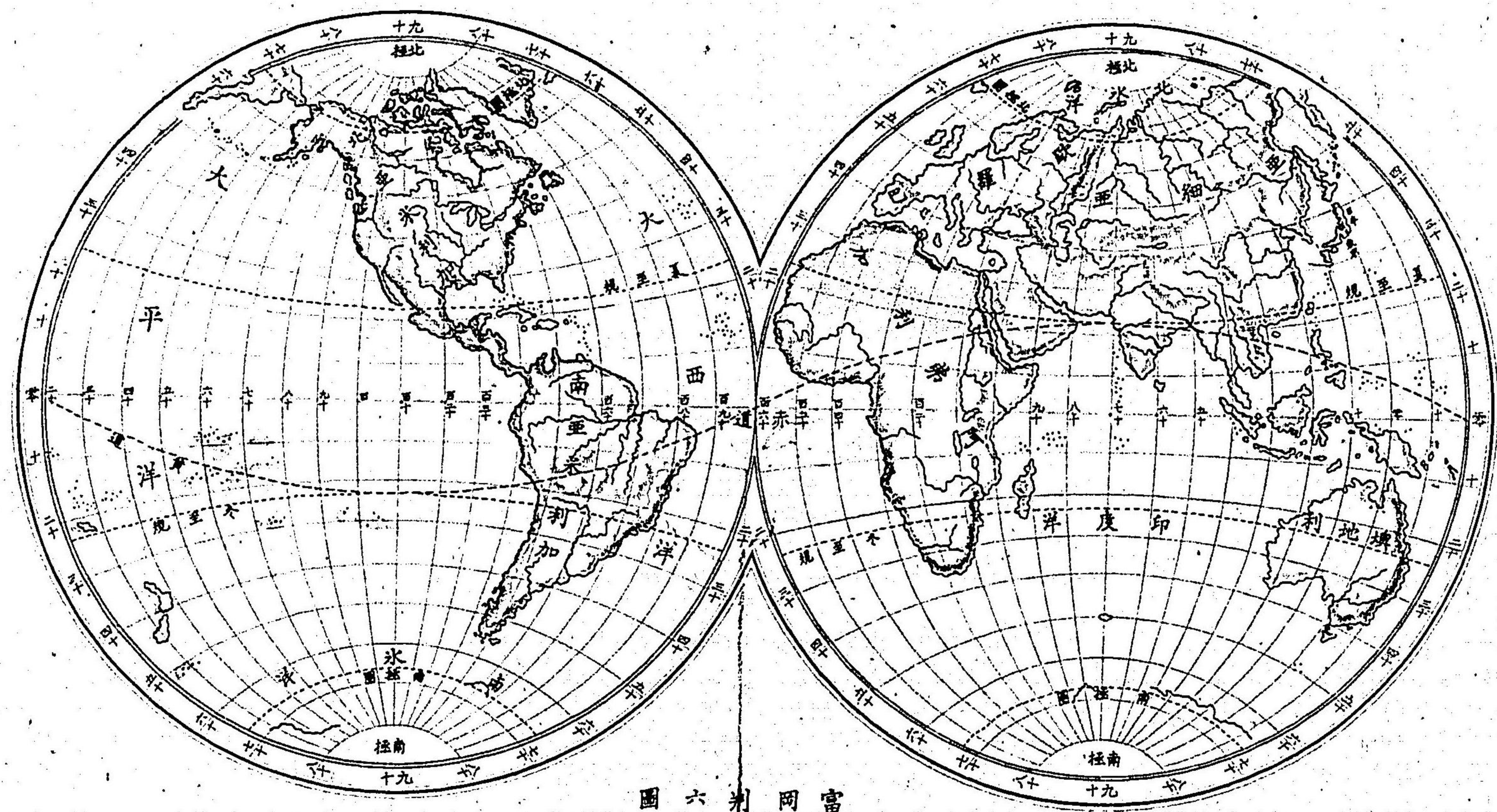
明治九年圖書局交付

兵要日本地理小誌評註

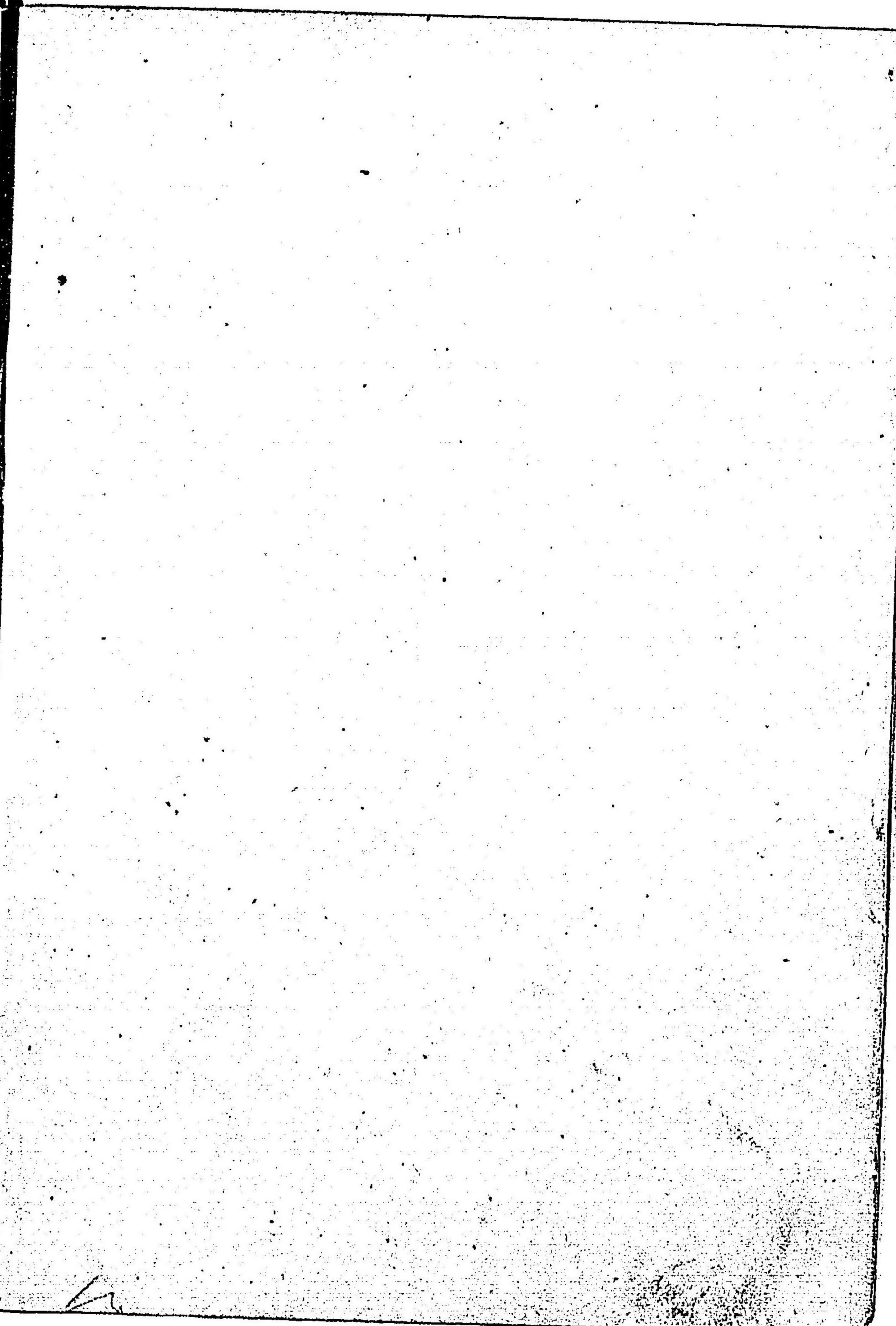
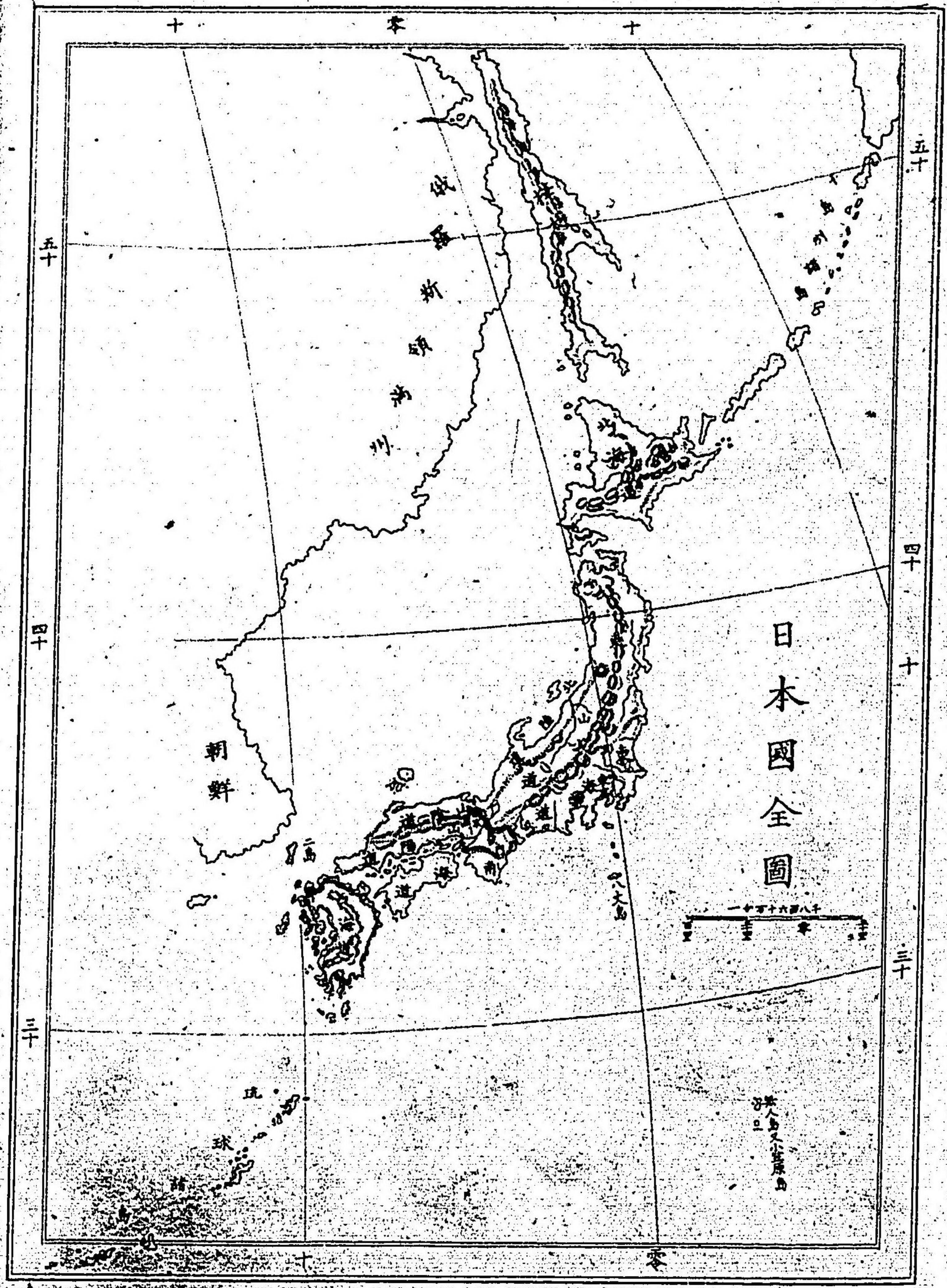
明治九年三月官許

地。氣。候。物。産。山。川。位。置。

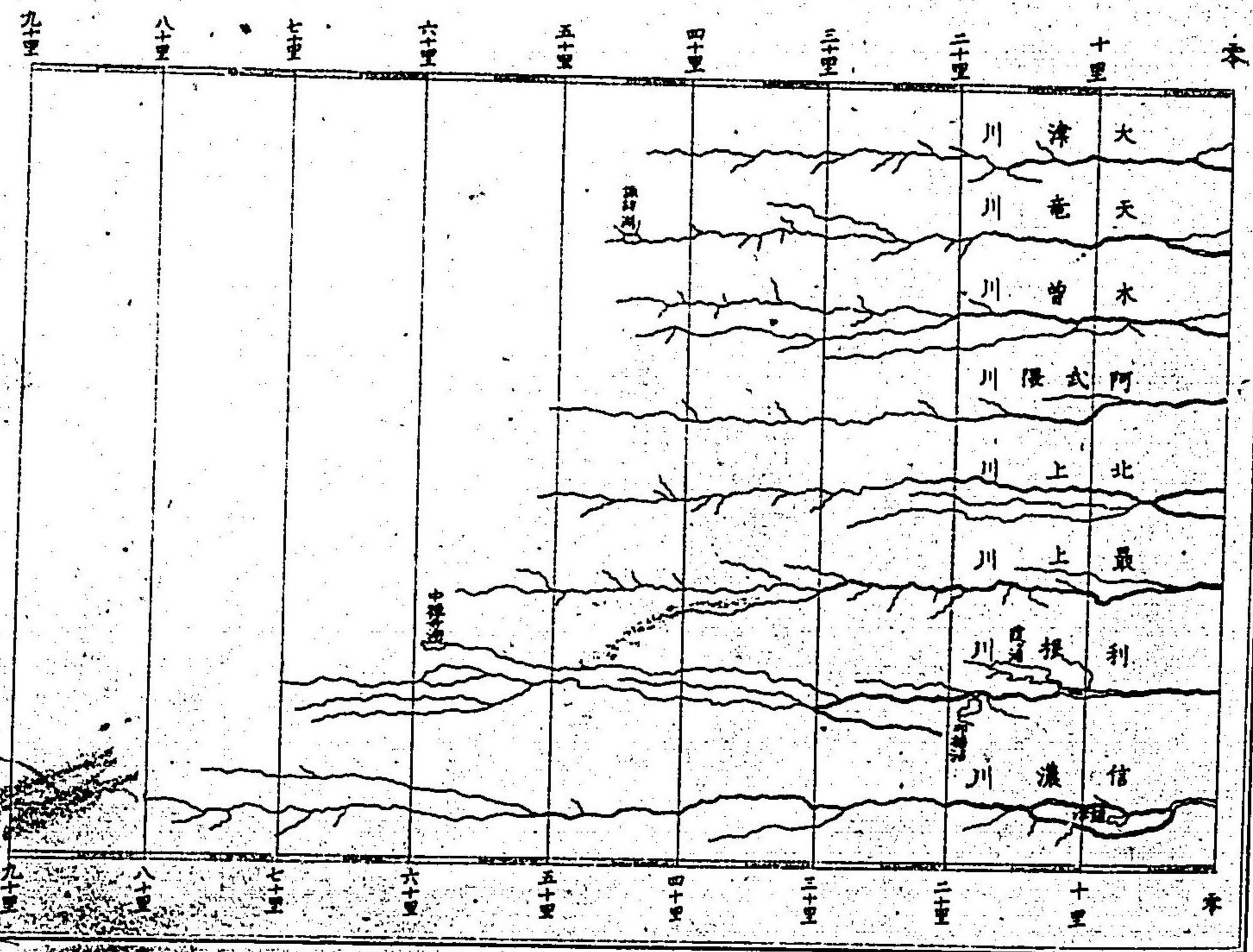
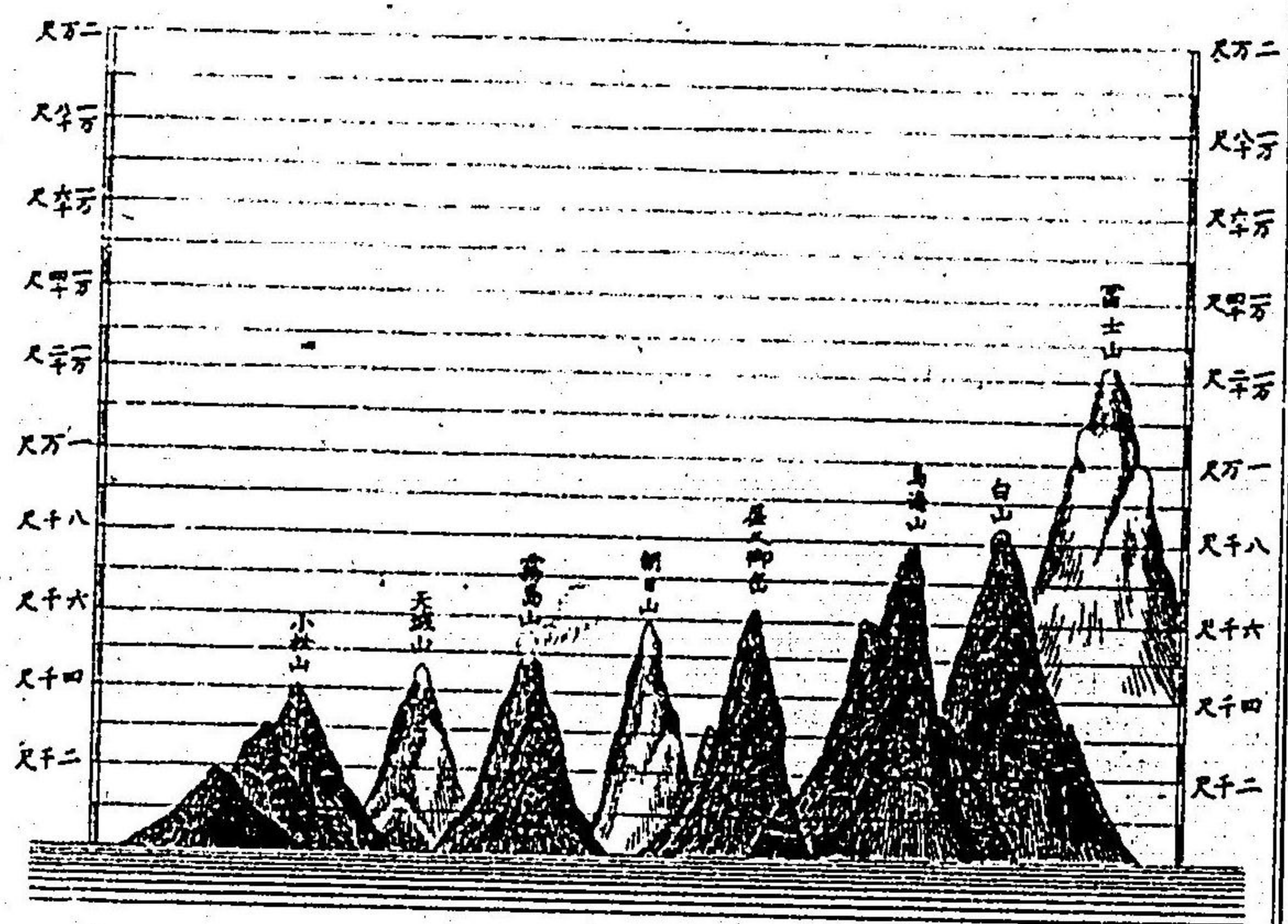




圖六 判 岡 富



山岳ノ腹地ニ在ル者其高度未ク知ル可ラサル
 甚ク多シ河流ノ長諸書載スル所亦一定ナラス
 他日其精實ナル者ヲ得テ之ヲ載スヘシ是特ニ
 其大抵ヲ舉ルノミ



兵要日本地理小誌評註

凡例

一 地誌ノ體先ツ地球ノ轉回各國ノ位置ヲ畧說シ而
ノ後其國ノ事ニ及フヘシ然レモ是等近日人ノ能
知ル所而シテ此書本邦ノ事ヲ舉ルヲ主トスルヲ以
テ卷首ニ畧圖ヲ掲ケ以テ其大概ヲ示スノミ
一 全國論ハ各國ヲ概シテ說ルナレハ先ツ之ヲ讀ニ非
サレハ一國ノ事亦從フテ詳ナリ難シ比ヘハ中國
ノ山脉東ヨリ西ニ亘ルトアレハ山陰ノ國ハ南高
ク北卑ク山陽ノ國ハ北高ク南卑ク其水經モ從フ
テ南北ニ分流スルヲ坐シ知ルヘシ其他此類猶多
シ推テ知ルヘキナリ

二之例凡

一 各國ノ内其一國ノ地形ヲ知ント要セハ必ス隣國ノ地形ヲ按メ後其實ヲ得比ヘハ東海道ノ國ニ在テ北方山多シト云フ者ハ即チ東山道南方ノ山ト同一ノ山脉タリ或ハ駿河ノ富士山ハ甲斐ニ在テ之ヲ見レハ其國ニ在カ如ク加賀ノ白山ハ越前ヨリ之ヲ見レハ又其國ノ山カト思ハル故ニ四隣ノ地理ヲ按メ後其國ノ地從フテ詳ナルヲ得ヘシ

一 此書本陸軍軍人ノ爲ニ設ク故ニ其地勢ヲ論スルニ至リテ某ノ南ニ某アリ某ノ北ニ某アリ等ノ語多シ山河ノ順序ヲ畧知セシメン爲ナリ

一 各道論ノ如キ地勢ト戰陣トヲ混説ス是軍人ノ要道ナルヲ以テナリ然レモ若シ其地形ヲ細論セハ

三之例凡

絶險ノ地亦平地アリ而シ平夷ノ地亦險據ルヘキアリ是則チ兵家ノ詳ニス可キ所此ニ論スル所ノ如キハ特ニ其大勢ヲ云フノミ看者一ヲ執テ百ヲ廢スル勿レ

一 各國歴史ハ其國ノ沿革及ヒ戰鬪等ヲ記スト雖モ封建ノ後一國數氏ニ屬スル者ハ一々之ヲ記セス其戰鬪モ大戦ヲ記メ自餘ノ小戦ヲ畧ス此書歴史ヲ以テ主トスルニ非サレハナリ

一 盤城岩代以北ノ數國及ヒ北海道ノ如キハ近歲分國スル所ニメ記スル所ノ事ハ大抵分國以前ニ在リ故ニ其史亦之ヲ合セ記ス讀ム人ノ曉リ易カラシク欲シテナリ

四之例凡

一豊臣氏徳川氏相尋テ天下ヲ総統ス故ニ戦國以後
天下ノ國大抵二氏ノ所轄トナリ而シ今時皆朝廷
ニ歸ス今一々之ヲ記セス務メテ簡ニ從フヲ以テ
ナリ

名解

地ノ最モ大ナル者之ヲ洲ト云フ其小ニシテ四圍水
ヲ環スル者之ヲ島ト云フ地ノ高ク聳ユル者ヲ山
ト云ヒ其卑クシテ小ナル者ヲ丘陵ト云フ山勢連續
シテ斷サル者之ヲ山脉ト云ヒ山彙ト云フ地ノ平坦
ニシテ廣キ者ヲ原ト云ヒ野ト云フ地勢山ノ如クニ
シテ上平カナル者ヲ高原ト云フ二山ノ間水ノ赴ク
處ヲ溪谷ト云フ地ノ三面水ヲ帶ル者ヲ隅ト云ヒ

五之例凡

半島ト云フ彈丸ノ地海中ニ斗出スル者之ヲ岬ト
云ヒ角ト云フ其山ヲ以テ盡ル者之ヲ炭ト云フ兩
地ノ間地勢一綫路ヲ通シ左右ニ水ヲ受ル者之ヲ
地峽ト云フ
水ノ尤モ大ナル者之ヲ洋ト云フ洋ヨリ分テテ大
地ニ近キ者之ヲ海ト云フ海ヨリ支分メ地中ニ入
ル者之ヲ灣ト云フ船ノ停泊スヘキ處之ヲ港ト云
フ二地ノ間海水流通シ勢狹隘ナル者之ヲ海峽ト
云フ水ノ地ヨリ流出シ細小ナル者之ヲ泉ト云ヒ
其流レテ漸ク大ナル者之ヲ川ト云フ水ノ一處ニ
滙シ淺ク且泥アル者ヲ沼ト云ヒ其深ク且清ル者
ヲ湖ト云フ

六之例凡

附評註讀例

仲尼詩ヲ解ク必也故ノ三字ヲ插テ本文ト連讀ス
 詩意極テ明白今其意ヲ師トス讀者試ニ評註ト
 本文ト連讀セヨ註モ亦本文ト異ナルナシ或ハ本
 書ノ増加ト見做スモ亦本文ニ於テ妨ナシ又本文
 ノミ讀ム者之ヲ插註ト見做スモ亦本書ニ於テ妨
 ナシ是插註ノ上下ニ括弧ナキモノヲ云フ其括弧
 アルハ普通ノ註釋ノミ
 註中ノ諸實測一ニ日本地誌提要ニ據ル其戶籍ニ
 係ルモノ明治六年ノ表ニ據ル

兵要日本地理小誌評註

卷之一

全國論

位置

分界 道國郡及ヒ府縣

山原

河湖

海灣

港中

隅島

海峽

地峽

一之目標

二之目標

氣候

人情

風俗

歷史

政治

物產

戶口

各國論

東海道總論

各國誌 附小笠原島誌

卷之二

畿內總論

各國誌
東山道總論
各國誌
北陸道總論
各國誌

卷之三

山陰道總論
各國誌
山陽道總論
各國誌
南海道總論
各國誌

三之目標

西海道總論

各國誌附琉球誌

二島總論

各國誌

北海道總論

各國誌附樺大誌



兵要日本地理小誌評註卷之一

中根 淑 著

近藤圭造 評註

位置

我大東日本國ハ、四島ヲ東半球亞細亞ノ東邊ニ表立シ。
州ヲ拱衛ス。神緯線赤道ノ北三十度ヨリ起リ、四十五度
無數ノ小嶼ヲノ間ニ盡ク。經線東京偏東十一度ヨリ起リ、偏西十一度
州ヲ拱衛ス。神ニ盡ク。其地四方皆海。北ハニヨライスシ、西シベリ伯里ニ密邇シ。東北
諸島斷續シテカニ連リ、東南太平洋ニ枕シ、而シテ西ハ支那朝鮮及
ムサツカヒ滿州ト遙々海水ヲ隔ツ、西南琉球諸島アリ、臺灣其地東
北ヨリシテ斜ニ西南ニ至ル。故ニ直徑ニ綿亘六百餘里、
廣袤或ハ三十里、或ハ六十里齊カラス、而シテ其面積大約

二 二萬二千九百二十方里アリ。或ハ二萬三千七百四十方里
諸島凡一萬四千五百九十二方里。西海道凡二千四百五十七
方里。四國凡千七百七十方里。北海道凡五千七百七十五方里。琉球凡
四百四十六方里ナリ。其地形恰モ龍ノ天ニ翔ルカ如シ。西方ヲ首
トシ。中央ヲ身トシ。陸一山出三所アリ。及ヒ北而シ。北方ヲ腰
トシ。尾トス。是ヲ體ノ似タルヲ謂フ。西南ヲ尾トス。其實形
我國四大島及ヒ許多ノ小嶼ヲ以テ國ヲ立ツ。其中央ニ
位スル大地ヲ本土トシ。南ニ在ル者ヲ四國トシ。西ニ在
ル者ヲ九州トシ。而シテ北ニ在ル者ヲ蝦夷ト稱ス。近歲之
ヲ改メテ北海道ト云フ。而シテ佐渡隱岐ハ本土ニ屬シ。淡路
屬ス。是皆島嶼ノ一州ニ充ルモノ。
經緯兩度前節舉ル所ノ如シト雖。洲外諸島遠ク其外
ニ出ル者アリ。則チ小笠原島ハ北緯線二十六度半。東經

線三度餘ニ至リ。琉球諸島ハ北緯線二十四度。西經線十
七度ニ及ヒ。而シテ千島樺太今樺太ヲ割テ魯ニ與ヘ。換テ究
除クベシ以テ諸島ハ北緯線五十四度。東經線十一度ノ外
ニ出ツ。

分界 道國郡及ヒ府縣

全國四洲之ヲ分テ畿内八道トス。本土ノ東方。南海上
ニ沿テ並列スル國ヲ東海道十五國トシ。小笠原島ヲ以テ
之ニ附ス。其南海北背ニ沿フテ東シ。終ニ北ニ陸兩羽海
中ニ延出スル國ヲ東山道十三國トス。其北面ニ在テ北
海ニ臨ム國ヲ北陸道七國トス。此三道ノ西南。一帶ニ在
ル五國ヲ畿内トス。上古ヨリ近歲ニ至ル迄。皇家毎ニ此
間ニ王城ヲ奠メ玉フヲ以テ。此稱アリ。今東海ノ武藏。既

四

ル名虚ハ五畿
 八國トス。是ト相表裏ノ内海ニ面スル國ヲ山陽道八國トス。畿内ノ南海中ニ斗出スル地ヨリ四國ヲ併セテ南海道六國トス。九州一帯ヲ西海道九國トシ琉球ヲ以テ之ニ屬ス。又其西海中ニ在ル二國ヲ二島トス。其他北海道ヲ十一國ニ分テ樺太ヲ以テ之ニ附ス。
 東海道ノ東邊六國及ヒ之ト連接スル東山道ノ二國ヲ合セテ確井箱根ノ兩山ニ抵ルヲ關東八州ト云ヒ。東山道ノ北邊諸國ヲ東北ト云フ。其外北陸道ヲ北國ト云ヒ。西海道ヲ九州ト云ヒ。
 山陰山陽兩道ヲ中國ト云フ。
 東海道十五國

- 武藏
- 安房
- 上總
- 下總
- 常陸
- 相模
- 甲斐

- 伊豆
- 駿河
- 遠江
- 三河
- 尾張
- 志摩
- 伊勢

伊賀附小笠原島

畿内五國

- 山城
- 大和
- 河内
- 和泉
- 攝津

東山道十三國

- 近江
- 美濃
- 飛彈
- 信濃
- 上野
- 下野
- 盤城

- 岩代
- 陸前
- 陸中
- 陸奥
- 羽前
- 羽後

北陸道七國

- 若狹
- 越前
- 加賀
- 能登
- 越中
- 越後
- 佐渡

山陰道八國

- 丹波
- 丹後
- 但馬
- 因幡
- 伯耆
- 出雲
- 石見

五

隱岐

六 山陽道八國

播磨 美作 備前 備中 備後 安藝 周防
長門

南海道六國

紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊豫 土佐

西海道九國

筑前 筑後 豊前 豊後 肥前 肥後 日向
大隅 薩摩附琉球

二島

壹岐 對馬

北海道十一國

渡島後志 石狩 天塩 北見 釧路
根室 千島附樺太 釧路 根室 千島附樺太 釧路 根室 千島附樺太

十勝

釧路

根室

千島附樺太

改テ宛留里群島

郡ノ制國中ヲ分畫シ。地理ノ形勢。田畝ノ利便ニ就テ之ヲ立ツ。故ニ大小廣狹。固ヨリ一ナラス。其少キ者ハ。一國二三郡。多キ者ハ十數郡アリ。而ソ郡ノ下ニ又村アリ。故ニ北海道ノ外。諸道ヲ分テ七十三國トシ。其下ニ六百三十一郡アリ。明治六年戶籍表ニ據レハ。北海道琉球ヲ合テ。其下ニ區七千七百六十又其下ニ七萬一千二百十六村アリ。同上ノ村表ニ據レハ。租稅合シテ。米一千二百八十三萬七千六百九十五石餘トス。是レ明治五年ノ調査ニ依ル。北海道十一國ノ内。八十六郡アリ。而ソ其村邑部落ノ數ハ。未タ詳ナラス。

七 府ノ制。國中ニ在ル者アリ。兩國ニ跨ル者アリ。東京府ハ。

武藏五郡ヲ兼ヌ。而シテ其三郡ハ。半隣縣ニ屬ス。〔高千石六萬〕
 京都府ハ。山城八郡。及ヒ丹波三郡ヲ保ツ。〔高石餘十八萬〕大坂
 府ハ。攝津七郡ヲ併ス。〔高五千石四〕之ヲ三府ト云フ。是皆大
 都會ノ地。而シテ皇室大城ノ在ル所タリ。
 縣ノ制。三府ノ外。全國更ニ分チテ六十縣〔今改メテ〕トナ
 ス。故ニ一國ヲ以テ一縣トスル者アリ。一國ヲ分チテ二
 縣トスル者アリ。二三國ヲ合セテ一縣トスル者アリ。或
 ハ一國ノ内。一二分シテ他縣ニ屬スル者アリ。而シテ北海道
 ハ與ラサルナリ。
 府縣ノ設。自ラ國界ト同カラス。蓋シ國ハ山河ノ形勢ニ由
 テ。以テ其境域ヲ分ツ。而シテ縣ハ政治ノ便宜ニ由テ。以テ
 其區畫ヲナス。是其異同ヲ致スユエンナリ。

三府ハ。府名ノ下ニ注スル地名
 東京府 京都府 大坂府
 六十縣ハ。縣名ノ下ニ注スル地名
 神奈川 兵庫 長崎
 新潟 埼玉 熊谷
 千葉 茨城 足柄
 山梨 静岡 濱松
 愛知 三重 度會
 奈良 和歌山 滋賀
 岐阜 美濃 長野
 榎木 下野 磐城
 福島 同島 宮城
 〔後磐井ト改メ今廢〕

海軍提督府 陸軍提督府 第一提督府 第二提督府 第三提督府 第四提督府 第五提督府 第六提督府 第七提督府 第八提督府 第九提督府 第十提督府 第十一提督府 第十二提督府 第十三提督府 第十四提督府 第十五提督府 第十六提督府 第十七提督府 第十八提督府 第十九提督府 第二十提督府 第二十一提督府 第二十二提督府 第二十三提督府 第二十四提督府 第二十五提督府 第二十六提督府 第二十七提督府 第二十八提督府 第二十九提督府 第三十提督府 第三十一提督府 第三十二提督府 第三十三提督府 第三十四提督府 第三十五提督府 第三十六提督府 第三十七提督府 第三十八提督府 第三十九提督府 第四十提督府 第四十一提督府 第四十二提督府 第四十三提督府 第四十四提督府 第四十五提督府 第四十六提督府 第四十七提督府 第四十八提督府 第四十九提督府 第五十提督府 第五十一提督府 第五十二提督府 第五十三提督府 第五十四提督府 第五十五提督府 第五十六提督府 第五十七提督府 第五十八提督府 第五十九提督府 第六十提督府 第六十一提督府 第六十二提督府 第六十三提督府 第六十四提督府 第六十五提督府 第六十六提督府 第六十七提督府 第六十八提督府 第六十九提督府 第七十提督府 第七十一提督府 第七十二提督府 第七十三提督府 第七十四提督府 第七十五提督府 第七十六提督府 第七十七提督府 第七十八提督府 第七十九提督府 第八十提督府 第八十一提督府 第八十二提督府 第八十三提督府 第八十四提督府 第八十五提督府 第八十六提督府 第八十七提督府 第八十八提督府 第八十九提督府 第九十提督府 第九十一提督府 第九十二提督府 第九十三提督府 第九十四提督府 第九十五提督府 第九十六提督府 第九十七提督府 第九十八提督府 第九十九提督府 第一百提督府

山原

我國ノ山脈。北樺太。東千島ヨリ起リ。共ニ北海道ニ入テ
蟠結シ。遂ニ南東山道ニ移リ。陸羽ノ間。奥峻ナ極メ。蜿蜒

起伏ノ 西走シ。東海東山北陸三道ヲ界ス。其信濃ニ至ル者
分脈南出シテ。伊豆半島ヲナシ。更ニ海南群島ニ連ル。北陸道
ノ一脈加越ノ間ニ至テ。白山立山ト爲リ。其近江ニ至ル者。分
テ畿内ニ赴キ。山陰山陽ノ間ヲ馳セ。西九州ニ濟リ。筑豊
テ南折シ。阿蘇霧島等ノ屈曲ノ西南ニ盡ク。而シテ中間一大
支アリ。即チ伊勢大和紀伊ノ際ヨリ南ニ分レ。淡路島ト
四國ニ入テ。雲邊山石鎚山ト爲リ。西ニ盡ク。其餘各國到ル處。山
峯アリ。是皆小枝片葉ノミ。
山ノ至峻ナル者。駿河ニ富士山アリ。〔一萬二〕陸奥ニ岩城
山アリ。加賀ニ白山アリ。〔八千二〕伯耆ニ大山アリ。〔四千七〕
肥後ニ阿蘇山アリ。後志ニ後志羊蹄山アリ。〔六千八〕其他
山岳甚タ多シト雖モ。皆其兒孫ノ如シト云フ。豈夫ヤ。然
ア濃ニ御嶽アリ。八千八百尺。羽後ニ鳥海山
アリ。八千尺。越中ニ立山アリ。五千二百尺。

洲内火山十數坐アリ。信濃ニ淺間山アリ。日向ニ霧島山アリ。故ニ温泉亦從フテ多シ。中ニ就テ伊豆相模信濃ノ三國。上野下野以北ノ諸國及ヒ豐後肥後ノ二國。最モ多シ。而シテ其善ク疾ヲ療スヘキ者ハ。伊豆ノ熱海。攝津ノ有馬。上野ノ草津。但馬ノ伊豫ノ道後。肥前ノ古湯等。以下數湯アリ。

洲内ノ國皆山脊ヲ分テ前後ニ位ス。其四境山彙ヲ繞ラヌノ國之ヲ稱ノ山國ト云フ。其二山ノ間ニ位スル者。則チ泰西稱スル所ノ溪谷是ナリ。而シテ武藏以北及ヒ攝津河内筑後肥前肥後ノ地ノ如キ。郊野遼濶。一望際ナキ者。之ヲ稱ノ曠原ト云フ。其他各國小原多シ。駿河ニ富士。遠江ニ味方原アリ。牧野原。信濃ニ桔梗原アリ。下野ニ那

須野アリ。其外相模ノ仙石原。大和ノ大臺原。備後ノ仙養原等ノ如キ。山上或ハ山間ニ在ル者ハ。之ヲ稱ノ高原ト云フ。又古ヘ原野ト稱シ。而今曰ニ田畝トナル者アリ。關原阿倍野ノ如キ是ナリ。是特ニ其名存スルノミ。

河 湖

我國大河アルナシ。獨リ利根川。上野文珠ヨリ發シ。下野下總常陸ノ境ヲ過テ。東海ニ朝ス。千隈川。信濃東北ニ發シ。越後ヲ貫通シ。北海ニ注ク。此二河水原稍遠シ。一ハ長餘里。一ハ長サ八十餘里。其次ハ遠江ニ天龍川アリ。五十里ニ岩代ニ阿武隈川アリ。五十里。陸中ニ北上川アリ。五十里。羽前ニ最上川アリ。五十里。石見ニ郷川アリ。石狩ニ石狩川アリ。其他武藏ニ角田川アリ。駿河ニ富士川アリ。美濃尾張ニ木曾川

アリ。山城攝津ニ淀川アリ。越中ニ神通川アリ。越後ニ阿賀川アリ。紀伊ニ紀川アリ。阿波ニ吉野川アリ。筑後ニ筑後川アリ。十勝ニ大津川アリ。是又其次ナリ。湖ノ最モ大ナル者ヲ。近江ノ琵琶湖トス。其次ハ常陸ノ霞浦。羽後ノ八郎潟。下總ノ印幡岩代ノ猪苗代。出雲ノ松江。信濃ノ諏訪。樺太ノ縫江。辨連戸等ナリ。是皆口アルノ湖ナリ。其餘小湖。倭指スルニ暇アラス。

海灣

海ノ大ナル者。東南ヲ太平洋トシ。西北ヲ日本海トシ。最北ヲ痾哥斯科海トス。沿岸附近ノ海。常陸一帶ヲ鹿島灘ト云ヒ。安房東南ヲ房相模ノ海ヲ相模灘ト云ヒ。伊豆ヨリ志摩ニ至ル一帶ヲ

遠州灘ト云ヒ。紀伊ノ海ヲ紀伊灘ト云ヒ。土佐ノ海ヲ土佐ノ沖ト云ヒ。中國四國ノ間ヲ内海ト云ヒ。其東ヲ播磨灘ト云ヒ。西ヲ水島灘ト云フ。又伊豫ノ海ヲ燧灘ト云ヒ。其西ヲ硫黃灘ト云ヒ。周防ノ海ヲ周防灘ト云ヒ。長門ノ海ヲ響灘ト云ヒ。筑前ノ海ヲ玄海灘ト云ヒ。日向ノ海ヲ日向灘ト云ヒ。石見一帶ヲ石見灣ト云ヒ。能登一帶ヲ能登海ト云フ。

灣ノ最モ大ナル者。東海道ニ品川ノ灣。駿河ノ灣。伊勢ノ海アリ。東山道ニ松島ノ灣。陸奥ノ灣アリ。畿内ニ大坂ノ灣アリ。西海道ニ有明。沖鹿兒島ノ灣アリ。北海道ニ箱館ノ灣。及ヒ膽振根室ノ灣アリ。樺太ニ亞尼華。哈地尼塞ノ二灣アリ。

港岬

武藏ノ横濱港。攝津ノ兵庫港。越後ノ新潟港。肥前ノ長崎港。渡島ノ箱館港。之ヲ五港ト云フ。皆海外商船ノ至ル所タリ。次ニ武藏ノ品川港。相模ノ伊豆ノ下田港。駿河ノ清水港。志摩ノ鳥羽港。伊勢ノ日市港。四攝津ノ大坂港。陸前ノ石巻港。陸奥ノ青森港。越前ノ敦賀港。三國能登ノ七尾港。佐渡ノ小木港。羽前ノ酒田港。羽後ノ能代港。長門ノ下關港。土佐ノ高知港。薩摩ノ鹿兒島港。琉球ノ那霸港。渡島ノ江刺港。膽振ノ室蘭港。石狩ノ石狩港。北見ノ宗谷港。樺太ノ白主港。亦皆賈帆輻輳ノ港タリ。

岬ノ最モ顯ル者。上總ニ富津岬アリ。下總ニ犬吠岬アリ。和模ニ三崎岬アリ。遠江ニ御前岬アリ。三河ニ伊良古岬アリ。尾張ニ師崎岬アリ。志摩ニ大王岬アリ。陸奥ニ尻矢龍飛ノ二岬アリ。能登ニ珠

洲岬アリ。紀伊ニ汐見崎アリ。伊豫ニ三崎アリ。土佐ニ室津足摺ノ兩岬アリ。豊後ニ嵯峨關岬アリ。日向ニ土肥岬アリ。大隅ニ佐多岬アリ。肥前ニ野母岬アリ。出雲ニ三保關

振ニ砂崎岬アリ。膽振ニ惠瀬岬アリ。日高ニ選藻岬アリ。北見ニ知床岬アリ。樺太ニ白主。知床。真知床ノ三岬アリ。其餘小岬枚擧スルニ暇アラス。

隅島

隅ノ大ナル者。東海道ニ安房伊豆アリ。北陸道ニ能登アリ。西海道ニ肥前アリ。北海道ニ渡島アリ。其他各地小隅亦甚々多シ。

洲外島嶼極メテ多シ。其數大約四千ニ下ラス。其内伊豆ニ八島アリ。〔七島及ヒ八〕其東南ニ小笠原島アリ。南海道

ニ淡路アリ。大隅ニ種子屋久アリ。其最南ニ琉球アリ。肥後ニ天艸アリ。肥前ニ平戸五島アリ。其北ニ壹岐對馬アリ。西北海ニ隱岐佐渡アリ。北海道ニ千島アリ。是其尤モ著名ナル者。

海峽

海峽ノ樞要ナル者。紀伊阿波ノ間ニ紀伊峽アリ。淡路ハ。東。紀伊ノ間ニ苦島峽アリ。北。播磨ノ間ニ岩屋峽アリ。而シテ西。阿波ノ間ニ鳴門峽アリ。伊豫豐後ノ間ニ豐後峽アリ。長門豐前ノ間ニ赤間關峽アリ。陸奥渡島ノ間ニ津輕峽アリ。北見樺太ノ間ニ知主峽アリ。〔或ハ宗谷トモ云フ〕

地峽

地峽ハ。陸奥ニ北郡峽アリ。備中ニ藤戸アリ。肥前ニ諫早

愛津ノ二峽アリ。

氣候

東海道諸國。地氣温和。極暑九十八度。極寒三十二度。函嶺以西。冬ヨリ春ニ至リテ。海風強ク。而シテ以東ハ。陸風ヲ吹ク。畿内諸國。風少ク。寒暄宜キヲ得。極暑九十五度。極寒三十一度。東山道諸國。近江美濃ノ如キ甚ク。霜露早ク降ル。之ヲ東海道ニ比スレハ。殊ニ料峭ヲ覺ユ。其岩代以北ノ地。冬時冰雪凝積。春半ニ至リテ。漸ク消融ス。而シテ兩羽ノ地。風力甚々強ク。動レハ。屋ヲ徹ス。北陸道諸國。寒時。寒暖計。氷點ヨリ下ル。五六度。而シテ熱時九十度以上ニ至ル。其國皆風強ク。雪多シ。山陰道諸國。寒暖俱ニ強ク。大抵北陸西方ノ國ト相似タリ。而シテ冬時雪積ル三四尺。之ヲ常トス。因播以西ハ必シ

十三度極。山陽道諸國。地氣温平。其南北山地海濱風少シ。
 稍畿内ト相伯仲ス。南海道諸國。極暑九十七度。極寒三十度。皆煖燠。高
 處ニ非サレハ雪ヲ積マス。夏時頗ル炎蒸。而ノ夜ニ至リ
 テ。熱ヲ洗フノ涼風アリ。西海道諸國。極暑九十六度餘。極寒四十度餘。煖
 多ク寒少シ。冬時僅ニ雪ヲ見ル。其南方ハ炎威特ニ酷シ。
 北海道諸國。寒威凜烈。盛夏ノ晝間ニ非サレハ。單衣ヲ穿
 ツ者ナシ。冬時大雪密封。戸ヲ出ル能ハス。五六月ノ交。雪
 融ルニ及ヒテ。花木一齊ニ花ク。而シテ其東北ノ國ハ。沍寒
 殊ニ甚シ。夏モ亦雪ヲ見ル。未タ秋ナラズ先ツト云フ。

人情

東海道ノ人ハ。疏通慧敏。武ヲ喜ヒ。其言ハ斬截ナリ。其甲斐ノ人ハ。強
 ニシ。險。東京府ノ人ハ。俠ニシ。浮。二総ノ人ハ。淳良。常陸ノ

人ハ。武ニシ。固。王畿ノ人ハ。心匠精密。柔軟ニシ。機利ナリ。好
 ナリ。其京都府ノ人ハ。雅ニシ。約。大坂府ノ人ハ。達ニシ。俗。要
 ルニ畿内ハ武ヲ。東山道ノ人ハ。大約樸厚。其信濃上野ノ
 人ハ。武ニシ。頑。其岩代以北ノ人ハ。朴直驍果。謂フ所北方
 ノ強ナリ。其言語ハ。前卑。北陸道ノ人ハ。大約直實。其加賀
 以北ハ。少ク固。其言語ハ。深重ナリ。而シテ其越後ハ。甚タ淳雅。然レモ好
 ム。山陰道ノ人ハ。温順ニシ。狹固。山陽道ノ人ハ。巽順ニシ。
 文雅。二道ノ地。モト小險小沃。南海道ノ人ハ。大約敦厚。其土
 佐ノ人ハ。稍武健。其阿波讚岐ノ人ハ。稍寬裕。西海道ノ人
 ハ。大約剛直。其薩摩大隅ハ。稍鷲悍。其肥後ハ。稍峭直。其肥
 前ハ。稍矜嚴。其地勢ニ據テ論セハ。土佐以西ニ肥ニ涉リテ。
 三陸ニ似タリ。北奥。北海道ノ人。其箱館ニ在ル者。篤厚人

ヲ愛ス。然ラズ。ハ。迺北土生ノ人ハ。強健ニシ。愚魯。性極ノ
リ。意フニ。是未タ教化ノ普ク及ハサルニ由ルノミ。天ノ
斯民ヲ生スル。豈化ス可ラサルノ徒アラシメンヤ。其他
日郁文ノ民タル。亦知ル可ラサルナリ。

風俗

上古ノ風俗詳ナラス。約スルニ。窄袖左衽
ルニ及ヒテ。宮室衣服ヨリ。其他凡百多ク其制ニ擬ス。家
屋ノ制。板簀ヲ高クシ。厚席ヲ以テ其上ニ鋪ク。故ニ家中。
椅卓ヲ設ケス。坐スルヲ以テ禮トナス。衣服ハ潤袖大襟。
布帛ヲ以テ之ヲ裁ス。男子ハ額髮ヲ剃テ結髮ス。女子ハ
髻ヲ結ヒ。笄櫛ヲ戴キ。紅粉ヲ粧シ。長衣大帶ヲ着ケリ。近
歲ニ至リテ。宮室服飾禮節ヨリ學術工藝技能ニ及フ迄。

大ニ泰西ノ制ニ倣ヒ。習俗從フテ變化セリ。奉スル所ノ
教。神教佛教アリ。三陸ノ北海ヲ越レハ。風俗言語又大
異ナリ。往々同文ノ俗タラントス。

歴史

今ヲ距ル。二千五百三十有餘歲。皇祖神武天皇海内ヲ
平定シ。大和ノ橿原ニ即位シ。玉ヒテヨリ三十餘世。其間
天皇。四道將軍ヲ置キ。日本武尊。東夷ヲ征伐シ。玉ヒ。僻陬始テ
王化ニ潤ヒ。神功皇后ニ及テ。三韓伏從シ。仁德天皇ノ朝。民爾
德メ。庶民ノ後。欽明天皇ノ時。佛法始テ東漸シ。守屋アリ。之ヲ
諫メ。庶民ノ後。欽明天皇ノ時。佛法始テ東漸シ。守屋アリ。之ヲ
佛。守屋亡ク。皇極天皇ノ時ニ至リ。蘇我蝦夷父子。皇家
ヲ蔑如シ。王權ヲ弄セシカハ。皇子中大兄。藤原鎌足ト謀
リ。之ヲ誅シ。神武ノ續ニ復シ。玉フ。是ヲ宗。天智天皇トス。
十餘世ヲ歴テ。文德天皇ニ至リ。藤原氏ノ勢威。甚タ熾シ
ニナリ。數世ノ後。長房基經。政終ニ其掌中ニ歸ス。保元平

治以來平氏漸ク興リ。藤原氏王家ト共ニ衰フ。源賴朝平氏ヲ亡ホシ。霸府ヲ鎌倉ニ開クニ及ヒテ。政權全ク武門ニ歸ス。〔封建ノ勢ヨ〕既ニ北條氏陪臣ヲ以テ國命ヲ執リ。源氏從フテ亡フ。王家ハ彌微ナリ。後醍醐天皇ノ時。勤王ノ師ヲ募リ。北條氏ヲ討滅シ。國政。王家ニ復歸ス。而モ政令其幾モ無シ。足利尊氏兵ヲ舉テ反シ。故ノ後深草天皇ノ胤ヲ立ツ。〔後醍醐天皇ハ龜山天皇ノ胤ナリ。〕是ヲ北朝トス。後醍醐天皇。南大和ニ幸シ。吉野ニ據リ玉フ。是ヲ南朝トス。五十四年ニ南北合ノ一トナリシカニ。政權全ク足利氏ニ在リ。府ヲ京師室町ニ開キ。又關東管領ヲ置キ。子弟勢終ニ一變シ。十餘世ヲ經テ。政令四海ニ行ハレス。諸侯並ヒ起リテ。戰國トナレリ。織田氏勃興シ。足利氏ニ代リ

シカニ。功業遂ケス。東海東山畿内山陰ノ地ヲ畧定スルノミ。中道ニシテ亡ヒタリ。豐臣氏尋テ興リ。海内ヲ蕩平シ。群雄服從ス。其次三十餘家。二世ニ傳ヘ。從フテ亡フ。德川氏之ニ續キ。子弟功臣ヲ封テ。天下ヲ統治スルヲ二百五十餘年。終ニ政ヲ王家ニ致ス。是ニ於テ。王家復政ヲ親ヲシ玉フ。凡ソ五畿七道七十三國。二京三府六鎮五十縣。皇居ヲ東京ニ定メ。開拓使ヲ置テ。北海道ヲ經理シ。琉球ヲ封シ。藩屬王國トス。因襲アリ。沿革アリ。又建置アリ。以テ天下一定ス。

政治

神武天皇。國造縣主ヲ置キ。天下ヲ治メ玉ヒシヨリ。列聖相承ルヲ數十世。其間成務ノ朝。國境ヲ分チ。其後國造ヲ置ク。中古ニ至リ。孝德ノ朝。始テ各州國司ヲ設ケ。郡司諸吏多ク。大寶唐ノ制度ニ倣ヒ。文武百官ヲ設ケ。畿内七道ノ稱國中。

二 守介ヲ置キ軍團ヲ造リテ以テ不虞ニ備フ。是ニ於テ古制一變
シテ郡縣ノ治トナル。昇平日久ク藤原氏權ヲ專ニセシヨリ。國司多ク京ニ在テ吏ヲ代治セシメ公卿ノ莊園皆家人ヲ以テ地頭トシ殆ト七道 源平氏ノ時ニ至リ制度漸ク解
ニ遍ク治體漸ク變ス。 弛シ諸國ノ武士皆私ニ二氏ニ屬シ守介ノ令殆ト行ハ
 レス。然レモ上古郡縣ヲ以テ國ヲ建シヨリ此ニ至ル迄未タ封建ノ勢アラサルナリ源賴朝天下ヲ掃蕩スルニ及ヒテ自ラ乞フテ天下總道補使トナリ。地ヲ裂テ家臣ニ授ケ文治元年奏請 國衙ニ守護ヲ置キ莊園ニ地頭ヲ置キ以テ國政ヲ執レリ。是ヲ霸府ノ始トス。而シテ其守護多ク其土ヲ子孫ニ傳ヘ漸ク封建ノ勢ヲナセリ。建武中興功臣ヲ守護トシ國司ヲ治所ニ就シ 足利氏ニ至リテ大ニ其功臣將士ヲ封シ全ク封建ノ制ヲ成セリ。織田豐臣及ヒ德川氏各其法ヲ異ニスト

雖モ亦皆其制ニ倣フ。近歲王室親ラ政ヲ執リ玉フニ及ヒテ與羽ヲ分テ七國トシ蝦夷ヲ以テ北 各藩二百七ヲ廢シ。再ヒ郡縣ノ制ニ復シ。官省ヲ建テ海陸軍ヲ設ケ。府ニ知事ヲ置キ縣ニ令ヲ置テ以テ天下ヲ統轄シ玉フ。國初ヨリ今ニ至ル迄二千五百三十有餘年。治亂變革一ナラスト雖モ我國政體常ニ立君獨裁トシテ。明治八年ニ至リ始メテ元老大審ノ二院ヲ置キ地方官會議ヲ設ケ以テ立憲政體ノ基ヲ成セリ。

物産

國中金銀銅鐵鉛。亞 諸礦及ヒ煤坑數十穴アリ。又石腦油ヲ出ス。 出ス所ノ木料。松杉檜栢椴櫻其他大小竹類アリ。花木ハ則チ山櫻海棠梅花桃花紫微夜合アリ。花卉ハ則チ牡丹

商 雜業 合計	男		女	
	男	女	男	女
東京府	一〇四九二〇六二	八〇八九五一	八五七九〇四七	四五八四五一〇
東京府 朱引内				

戶數 一十四萬九千二百八十三戶
人口 五十九萬五千九百零五人

京都府

戶數 六萬三千二百一十七戶
人口 二十三萬八千六百六十三人

大坂府

戶數 七萬八千七百八十九戶
人口 二十七萬一千九百九十二人

右明治五年閱スル所ニ從フ

各國論

東海道總論

東海道ハ西南畿内及ヒ南海道ニ接シ。東南大平洋ニ面シ。北方一帶東山道ト相依附シ。良ヨリ〔其常陸ノ如キ。實アリ。ヤ、斜メニ十五國ヲ毘運ス。〕坤ニ亘リテ十五國ヲ連接シ。一府十二縣〔今九縣〕百二十九郡ヲ轄有ス。其他沿海ノ地。魚鹽ノ利甚々多ク。稻麥豐饒。茶絲砂糖亦隨フテ在リ。其函嶺以東ハ。上古蝦夷散居シ。中古ニ至リ。頼義家相繼テ東北ヲ鎮シ。恩威並ヒ行ハル。北ニ鎮士民多ク源氏ニ屬ス。東京ハ地坦ニ港穩。豐公營テ此地ヲ目シテ天府トス。徳川氏ノ府ヲ開キ。朝廷ノ都ヲ遷ス。地勢ヲ按ク其宜キヲ知ル善カナ。明治四年。鎮臺兵ヲ此地ニ置キ。以テ四方ノ虞ニ備フ。其横濱ハ外船輻輳ノ區。又是一大

要地。安房二總ハ。古來中原〔中原恐クハ關東ノ中央〕ノ隆替ニ由テ。其方向ヲ定ム。地勢固ヨリ然リトス。其鴻臺ハ。以テ一時ヲ防クヘシ。以テ久キヲ支フヘカラス。〔二總モ獨リ此一蟻垤アリ。國人ノ憑テ形便ト爲スモノ。前ニ巨川平坦。死地ニ入ル。然レテ前ニ險アル者。後ニ走路アリ。敵人一航既ニ見氏ノ屢茲ニ取ル。活路ヲ開ントス。里〕利根川波流廣大。以テ一方ヲ禦クニ足ル。〔軍亦水ヲ憑テ敗ル。吳起ノ言。千古不朽〕其泥沙ヲ流ス多キヲ以テ。時ニ或ハ民田ヲ害ス。相模ハ則チ源右府。弱業ヲ定ムルノ處。而メ後世。北條氏はヨリ東北ヲ畧有ス。箱根ノ險。街道無雙ト稱ス。以テ西ヲ防クヘク。以テ東ヲ制スヘシ。〔然レテ險ヲ憑ム者。國中皆敵ナリ。憑リテ敵ヲ迎フ。成〕謂フ所我利。彼得亦利ナル者。氏之ニ憑リテ敗ル。豐公之ニ憑〔甲斐ハ則チ險要ノ地。故ニ當時武田テ克ツ。憑ル所。果シテ何ソ。〕

氏。壘壁ナシ。然リ而シテ能ク。城ヲ振フモノ。險ヲ憑ム。非ス。壁一握。憑リテ長城ト爲ス。其信濃ニ接スル處。地勢彼此相制スヘシ。山陽謂フ所。連山斜限ナルモ。武田氏ノ興亡ヲ見テ。之ヲ知ルヘシ。〔其信濃ヲ保ツノ本。其信ヲ失スルハ。〕富士山舊火山。今時已ニ烟ヲ絶ツ。而シテ。稀ニ灰石ヲ噴ス。〔惜イ哉。其凝積。今白富士川。奔湍箭ノ如シ。一棹之ヲ下ル。ホ漫程トス。然レトモ上浮ニ懸橋アリ。下流ニ淺瀬アリ。險ヲ賴ミテ備ヘス。平氏ノ潰ユルユエンナリ。〕是地理ニ就テ言フ。是ヨリ西。阿倍川。大井川。天龍川等。河道甚タ多シ。其高山近地ニ在ルヲ。水潦至レハ舟楫通シ難シ。而シテ當時ハ。則チ溪澗ノ類ニ過キス。其今切ハ。灣中甚タ淺ク。北ニ陸路アリテ通ス。豈險トスルニ足ランヤ。〔陸ニ就テ。西來ノ敵ヲ待ク。三河ハ則チ德川氏創業ノ地。當時ハ。之ヲ嵩瀬ニ扼スヘシ。〕

佳氣鬱々（德）尾張ハ則チ織田氏勃興ノ處（高祖興ノ處）浦佐命ノ元勳
 星ノ聚ル所（此地亦英）其宮渡ハ陸地ニ備ヘサレハ以テ要地
 雄ヲ出ス多シトスルニ足ラス而シテ陸ニ木曾川アリ（河海俱ニ）時ニ
 水溢レテ長田ヲ害ス尾張害フ川トコソ聞ケ虚言ニア
 ラス（禍福糾纏ノ如シ之ヲ）鈴鹿ノ山東急ニシテ西夷カ
 以テ東來ノ敵ヲ防クヘシ故ニ葦下西京ヲレハ伊賀ハ則
 干城タリ（鷲與今東京ニ臨メハ其險用ル所ナレハ）伊賀ハ則
 チ山多シ而シテ大坂ニ出ルノ間道タリ（其水路ハ一夜達ス）
 氏ヲ封スル小笠原島ハ則チ絶海ノ小島固ヨリ國ニ損
 無意ニ非ス益ナキニ似タリ然レトモ之ヲ衣服ニ譬フ裾端袖縁衣
 ニ用ナキ者ノ如シ而シテ之ヲ棄テ豈全衣トスルヲ得ン
 ヤ（寸土ヲ失セハ國辱大ナルナ）豈緩カセニス可ケンヤナ

武藏誌

武藏國ハ北緯三十五度二十分餘ニ起リ三十九度十分餘
 至リ東西二十里北兩野ニ界シ東下總ニ接シ東南海ヲ
 隔テ上総安房ト相對シ南相模ニ隣リ西甲斐信濃ニ
 連ナル國中秩父多摩高麗兒玉加美那賀榛澤幡羅男衾比
 都筑檜樹二十二郡村數三千零四十九坊一百八十八戶數
 久良岐（樹）二十里四十三萬五千九百八十七人口百九
 六萬八千七百三十三アリ其地形東西ニ長ク南北ニ短ク（本書四
 短恐ク殆ト木葉ノ如シ土地甚タ平坦其西方ニ數山ア
 ハ倒置（武）甲三峯ノ諸山ハ正面ニ峙總ノ之ト秩父山ト云フ是
 リ武甲三峯ノ諸山ハ正面ニ峙總ノ之ト秩父山ト云フ是
 ヲリ出ル河ヲ荒川ト云フ其與信濃國境ニ發水其下流
 シ角田川トス國ノ北邊ヲ縈リ漸ク南メ西入間川ヲ合
 セ（窪下ノ地往々數澤ヲナシ）川越ノ東ヲ過キ南海ニ入
 ル其東ニ在テ並ヒニ海ニ入ル者ヲ中川ト云フ（又綾瀬

俱末ハ漕運ニ善シ。綾瀬又其東。利根川ヨリ支流メ。南ニ馳スル者ヲ。江戸川ト云フ。之ヲ武藏下総ノ界トス。又其樂川信濃ノ境上ヨリ導キ。上武ノ境ヲ東流シ國ノ西邊ヨリ。秩テ。利根川ニ入ル。一水甲斐ノ境ニ發シ。山南方ヲ貫穿メ。東スル水ヲ玉川ト云フ。玉水以南ノ地山勢相重リテ。甲相ニ連ル。西上ノ官道アリ。甲州街道ト曰フ。小佛峠ノ險ヲ以テ。甲武ノ境トス。古ヘ謂フ。曉月州間ニ落ツ。ト。武野ノ廣漠ヲ以テ。謂フ。太平記謂フ。四方八百里ナルモ。關東路程ヲ以テ。之ヲ度レハナリ。其地玉川荒川ノ間ニアリ。西秩父山ヲ限リ。東内海上總安房ト相隔ツル海ヲ品川港ト云フ。今燈臺ヲ置キ。天晴ル時ハ二國ノ山座メ見ルヘシ。海ニ臨ム。一帶。地方四里ヲ。初メ江戸ト曰フ。徳川氏置ケ。今東京府トス。即チ三府ノ一ナリ。其中央ニ皇居アリ。五雲ノ中。城池鴻大。其内外ニ官省ヲ設ク。其他學校アリ。醫院アリ。電機局アリ。驛遞局アリ。大小街衢。縱橫斷續。水

道流通。氣燈赫爍。電線信ヲ報シ。新聞奇ヲ告ク。士民商賈相錯リテ之ニ居ル。肩摩轂擊。日夜斷エス。實ニ我國第一都會ノ地ナリ。國ノ極南ニ斗出ノ地アリ。本牧ト云フ。燈船ヲ置ク。其中別ニ灣港ヲナス處ヲ。横濱ト云フ。更ニ南ニ距リ。金澤アリ。海ニノ名顯ル。洋人遊テ。飽稱ス。萬國ノ商泊。港中ニ雲集シ。洋館共横濱ハ港寬ク水深シ。壯麗市街喧闐。貿易ノ貨物。日ニ億萬ヲ以テ計ル。即チ我國第一ノ埠頭ナリ。海濱燈臺ヲ置ク。近歲東京横濱ノ間。海ニ沿フテ。蒸氣鐵道ヲ鋪ケリ。産スル所銅鐵。絹茶。及ヒ段匹。海苔。漆器。團扇。錦繪。アリ。

源義家ノ時ヨリ。邦人多ク源氏ニ屬ス。源賴朝。石橋山ニ敗レ。再ヒ兵ヲ舉ル時。兵ヲ角田川ニ觀シ。後大ニ平氏ヲ破レリ。北條氏ノ季ニ。新田義貞。上野ニ興リ。北條

氏ノ兵ト國中ニ連戰シ。一勝一敗。〔入間河ニ克テ又武河ニ戰フ已ニシテ北條泰家ノ爲ニ敗ラレ三浦義堯ノ助ヲ得テ大ニ賊ヲ敗リ又鶴水ニ勝ツ〕終ニ大ニ之ヲ破リテ。北條氏ヲ亡セリ。其後新田義興。脇屋義治等。足利尊氏ヲ武藏野ニ破ル。〔此戰ヒヤ義興左ニアリニアリ。尊氏ノ兵十萬。義興先ツ合シ。義宗中軍ニ次シ。賊更進ス。義宗之ヲ擊ツ。尊氏大敗ス。〕已ニシテ足利尊氏。人ヲシテ義興ヲ矢口渡ニ誘殺セシム。〔我カ故將江戶義寬。叛キテ基氏ニ降ル。基氏二人ヲシテ謀ラシム。義興二賊ノ爲ニ水死ス。其靈二賊ヲ殺ス。民祠ヲ建テ義興ヲ祀〕其季年。上杉定正ノ臣大田道灌。江戸城ヲ築キテ之ニ居ル。〔又川越ノ城ヲ築ク。〕其後小田原北條氏漸ク興リ。此地ヲ掠取ス。氏康ニ至リテ。上杉氏ト川越ヲ爭フ。〔氏康曰地ナリ。一勇將ヲ以テ守ント。衆ニ選テ北條綱成ヲ置ク。綱成ノ旗黄色。八幡ノ二字ヲ書ス。黃八幡ノ勇。九州ニ開ユ。兩上杉氏兵八萬ヲ以テ之ヲ圍テ拔クス。氏康之ヲ援フ。兵ヲ八千。〕氏康故サヲ弱ヲ示シ。

敵兵ヲ驕ラシ。夜ニ乘ソ大ニ之ヲ破レリ。〔八州ノ豪傑九十餘姓。是ヲ川越ノ役ト云フ。〕豐臣秀吉。小田原ヲ攻ル時。國中諸城。或ハ降り。〔七城及〕或ハ陷ル。〔岩〕專平キテ後。德川氏ヲ關東八國ニ移封ス。〔初メ豐公小田原ニアリ。下視シテ曰ク。關八。目中ニアリ。取リテ卿ニ與ヘン。卿夫小田原ニ居ルカ。我嘗テ地圖ヲ觀ルニ。迤東二十里。地アリ。山海ヲ襟帶ス。是ニ於テ。德川氏江戸城ヲ以テ其居城トス。〕後。嗣府ヲ開クニ及ヒテ。其規模ヲ宏大ニシ。公侯ノ第宅。商賈ノ厩舍。數里絶エス。嘉永六年。亞墨利加國使彼理。國書ヲ齎シ。通商ヲ乞フ。〔與論許幕議之ヲ許ス。〕其後歐羅巴各國尋テ來リ。和約ヲ立ツ。因テ橫濱港ヲ開キ。埔頭トス。〔是ヨリ開港。議論沸騰シテ。内國大ニイリ。革ノ義大。〕戊辰ノ亂ニ。德川氏ノ軍。西京ニ敗レ。江戸

ニ還ル。既ニシ官軍來リ征ス。徳川氏城ヲ開キテ之ヲ致ス。其臣相集リテ東叡山ニ據ル者アリ。彰義隊ト曰フ。大義彰カナラズ。區々仁官軍山ヲ圍ミ。撃テ之ヲ拔ク。餘衆走リテ東兵ニ投ス。東兵ハ北國諸侯ノ官軍ニ抗スル者ナリ。其冬。今上天皇東征シ。鼎ヲ此地ニ定メ玉フ。尋テ江戸ヲ改メテ東京府トス。萬民新ニ千代田ニ耕シ。百官維城五雲蒸ス。ア、盤ナル哉。此京。

安房誌

安房國ハ。北緯三十四度五十分餘ニ起リ。三十五度十分餘。我國ノ東南隅ニアリ。北ハ上総ニ正接シ。東南西三方。海水ヲ環ラス。實ニ東方ノ澤國ナリ。東西七里。南國中。朝安房。北モ亦同シ。狹長四郡。村數二百八十九。戶數二萬七千五百一。人口十五萬五千三百三十一。土地平

坦。小河十餘派アリ。三面皆海ニ向フテ注ク。東流ノ水。加茂川。曾呂川。丸山川。西流ノ水。湊川。佐久間川。保田川。皆稍大ナリトス。國ノ西南ニ小灣アリ。灣内館山。勝山ノ二港アリ。船ヲ泊スベシ。勝山ノ東。富山アリ。勝景ヲ以テ著ナル。南ニ岬角アリ。洲崎ト云フ。相模ニ對シテ。内海ノ咽口ヲナス。又最南ノ岬角ヲ野島崎ト云フ。燈臺アリ。暗礁アリ。角東ヲ房州。洋ト云フ。潮流險惡。怪巖多シ。西北ニ高山アリ。山巔凹鋸齒ノ如クナルヲ以テ。鋸山ト名ク。山上十國ヲ一見スト云フ。其東。横根峠。花立峠。清水山。岩光山アリ。皆上総ノ境ナリ。國産石。決明。乾鯨。鱈。白牛酪アリ。

元正帝ノ時。上総四郡ヲ割テ此國ヲ置ク。一國限リ。政畧ノ國ヲ云。治承中。源賴朝相模ニ敗レ。海ニ航メ。此地ニ上リ。兵ヲ遠近ニ募リ。再ヒ軍ヲ發シ。遂ニ平氏ヲ亡セリ。足利氏ノ時。新田氏ノ裔里見家基。結城ニ戰死シ。其

子義實來リテ白濱ニ匿ル。時ニ國ノ四郡司東條重永、安西勝峯、元景春、元俊、山ノ下ニ殺サレ、其地ヲ爭ヒ、元

餘元俊等。互ニ相討滅ス。元俊、山ノ下ニ殺サレ、其地ヲ爭ヒ、元

實ヲ謀主トシ、勝峯等ヲ滅セシト。義實是ニ由テ、勝峯

ヲ殺シ、永等。遂ニ全國ヲ服從ス。後又上総ヲ攻テ、大瀧玉

總助ヲ留上。之ヲ併ス。子成義ニ至リ。又守護木内友安

城ノ功ニ因テ、其職ヲ得ルヲ以テ、下総ヲ取ル。二十餘年ヲ

經テ、其孫義豐、叔父實堯ノ位ヲ禪ラサルヲ憤リ、夜稻

村城ヲ襲フテ之ヲ殺ス。實堯是夜ヲ以テ宴ヲ張リ、

讓ルヲ以テ起ル。衆咸感喜ス。適、實堯ノ子義堯上総

ニアリ。來リテ義豐ヲ攻ム。義豐出テ、其營ヲ襲ヒ、却テ大

義豐自殺シ、國義堯ニ屬ス。其子義弘嗣ク。北條氏ト屢戰

ニ正木万喜氏ノ叛キシ。義康ニ至リ、豐臣秀吉小田原

ヨリ、里見氏表ヘ、其子

ヲ征シ、義康ヲ招ク。其亟ニ來ラサルヲ以テ、二總ヲ削

ル。徳川氏ノ時、子忠義安房守タリ。府番。其老印藤罪アリ。

國除カル。國主ノ籍ヲ除カル、チ云フ。後勝山館山

上總誌

上総國ハ、北緯三十五度十分餘ニ起リ、三十五度四十分南

餘ニ至リ、東經零度二分ニ起リ、五十分ニ至ル。南

安房ニ界シ、東、東洋ニ面シ、西、武藏ト海ヲ隔テ、三大灣

ヲナシ。安房ト俱ニ一ノ半島ヲナス。第一灣ハ富津岬ノ南

内灣ヲ謂フ。其北、下總ニ界スル處、西南ヨリ曲折シ、東北ニ

至ル。故ニ其地、南ニ寬ク北ニ狭シ。東西凡十四里。國中羽

周准、望陀、市原、夷隅、九郡、村數千八百八十、戶數八萬二千九百十

嶺、生、長柄、山、邊、武、射、二、郡、人、口、四、十、二、萬、三、千、五、百、九、十、六、

アリ。西南ニ鹿野山、鬼涙山等諸山アリ。東南ニ小野峰、澤

山、元、清、澄、大、石、諸、山、アリ。皆鋸山ト相連絡ス。一水東南ニ

リ發源シ。北流ノ大多喜ニ至リ。東ニ折レテ。大東カ崎ノ南邊ヨリ海ニ入ル。之ヲ大多喜川ト云フ。其北ニ一宮。白龜。栗山等ノ諸水アリ。其西流スル者。湊。小糸。久留里。養老。村田等ノ諸水アリ。獨リ久留里川。元清澄山ノ東邊ニ出テ。水源稍遠シトス。西濱第一灣ノ北。小岬ヲナス。之ヲ富津ト云フ。岬頭内海ニ斗出ス暗洲アリ。大船ヲ通スルヲ得ス。浮標ヲ置ク即チ海門括囊ノ處ナリ。第三灣ノ中。木更津五井ノ兩港アリ。東京ト夜航常ニ絶エス。國中小丘原野多ク。厥土惟塗泥。天雨フレハ殆ト行ヘカラス。東濱ノ中間南ニ勝浦興津ノ二港アリ。其北大洋ニ斗出スル大東崎ヨリ。下総足川ニ至ル一帯ヲ。九十九里ト云フ。東國ノ一大水郷ナリ。得ル所ノ魚。舟中ニ滿載シ。之ヲ東京ニ送ルニ。常ニ時刻ヲ移サスト云フ。産スル所。干鰯。鱈。鮓。鱈。鯖。蟹。等野馬。茶。

葉アリ。

上古。上總下總。共ニ總フノ國ト稱ス。後分チテ二國トス。淳和帝ノ時。此國及ヒ常陸上野ヲ以テ。親王ノ任國トス。故ニ常人ノ國守タル者。上總介ト云フ。仍ホ他國ノ守ノ如シ。陽成帝ノ時。國中ノ夷俘擒ニスル所ノ夷虜ヲ謂フ。叛ク。國兵討テ之ヲ平ク。源賴朝石橋山再ヒ兵ヲ舉ル時。本國ノ人平廣常。萬餘騎ヲ率井テ之ヲ援ケ。遂ニ平氏ニ勝ツ。後廣常故アリテ死ヲ賜フ。足利氏ノ季。眞里谷氏之ニ據ル。其族道觀。玉下チ虐後里見成義ノ亡ス所トナル。郡邑郡邑悉ク里義。賴ニ至リ。國又大半。北條氏ニ蠶食セラル。子義康ニ至リ。豐臣秀吉此地ヲ削ル。德川氏ニ至リ。封チ國ニ得ルモノ。久留里大田喜鶴牧飯野佐貫貝淵官軍凡テ七藩。戊辰ノ役。賊ノ水更津ニ在ル者。進テ下總ノ一宮ヲ襲ヒ。退テ五井川。姉カ崎ニ戦ヒ。敗シテ木更津真里

谷ニ退ク。官軍進テ之ヲ勦ス。此際ニ當リ。封テ此地ニ移ス者アリ。後皆廢シテ。縣治トナル。

下總誌

下總國ハ。北緯三十五度三十分餘ニ起リ。三十六度十分餘ニ至リ。東經零度一十分餘ニ起リ。一度餘ニ至ル。東西北十七里餘。南海水ヲ控シ。武藏上總ヲ連テ。玦環ノ狀ヲナス。東南上總ニ矩接シ。以テ東北海ニ距ル。北ハ常陸ト利根川ヲ界シ。西ハ武藏ニ接ス。西北隅ニ餘地アリ。其形恰モ人拳ノ如シ。國中千葉。葛飾。猿島。結城。岡田。豐田。十二郡。村數千八百八十。戶數十二萬九千四百。治チ千葉郡。千葉ニ業縣攝シ。千地形。北廣ク。南狹シ。地質上總ニ類ス。而シテ舉國山嶽ナシ。〔神州ノ第一〕國ノ正中ニ大湖アリ。印幡沼ト云フ。其大サ大抵南北七里。東西一里。南方ノ水多ク之ニ會注ス。西ニ手賀沼アリ。東ニ長沼アリ。皆印幡五六分

ノ一ニ過キス。俱ニ北ニ溢レテ利根川ニ入ル。此湖ヲ瀧ヲス。今現ニ歐人ヲ雇ヒ。測リテ水路ヲ開カントス。未タ成能ク功ヲ成スカ。都下ノ北奥ニ於ル。運輸近且ツ穩。湖ノ南方ニ廣原アリ。小金原ト云フ。古來牧馬ノ場タリ。其伯樂氏ノ屢過クルヲ以テ。野既ニ馬群無シト云フ。夫レ眞ニ又馬ヲ知ラサルカ。人オモ亦然リ。又六西北拳形ノ地ハ。利方野アリ。國ノ南ニ巨ル曠野ヲ云フ。西北拳形ノ地ハ。利ノ北ニアリ。岡田。豐田。猿島。結城ノ四郡是ナリ。細川。小貝。川。下野。ヨリ來リ。此地ヲ環流分支シテ。各利根川ニ入ル。其北隅ヲ結城トシ。〔是四指並〕西隅ヲ古河トス。〔是指獨〕手頸ノ處ヲ關宿ト云フ。利根川ノ衝ニ當レリ。河水此ニ至リテ。南方ニ支分ス。之ヲ江戸川ト云フ。行徳ニ至リテ。而シテ。其本水。關宿ノ北ヲ環流シ。一瀉々東海ニ入ル。此川一ニ坂東太郎ト云フ。〔猶其長ト云〕河口ノ峽ヲ銚子口ト云フ。形ヲ以テ名ク。其角ヲ犬吠岬トス。東洋中ニ突出シ。岬頭銚子ノ河口ヲ擁

タシ。岩礁波上ニ並時シ。舟行甚實ニ此國極東北ノ地ナリ。亦
州ノ極東隅。卍南ハ即。江戶川ノ東西葛飾郡。古へ皆下總
ニ屬ス。後世其半ヲ割テ。以テ武藏ニ附ス。産スル所。生ツキ細
木棉銚子縮魚油 及ヒ茶ナリ。

朱雀帝ノ時。平將門反シ。叔父國香ヲ殺シ。下常陸兩野
ヲ取リ。得テ謀主トシ。王ヲ武藏相模ヲ徇へ。都ヲ猿島ニ
建テ。偽官ヲ設ケ。自ラ兵ヲ引テ。下野ニ入ル。巳ニノ
山ニ貞盛秀郷ト戰ヒ。誅ニ伏ス。源平氏ノ時ヨリ。千葉
結城等關東八此地ヲ分領ス。足利氏ノ時。結城氏朝。足
利持氏ノ孤安王ヲ奉シ。結城ニ兵ヲ起ス。蓋シ持氏ノ
トス。將軍義教。兵ヲ遣テ之ヲ攻ム。上杉憲實之互ニ
勝負アリ。巳ニメ城陥リ。氏朝戰死ス。其後關東平穩ナ

成リ。持氏ノ季子成氏。鎌倉ニ入リ。又内亂敗レテ。古河
ニ至リ之ニ居ル。古河ノ御戰國ノ時。成氏ノ孫義明。其
兄高基ト惡シ。御弓ニ據リ。傍地ヲ畧ス。北條氏綱高基
ケ。之ヲ攻テ。鴻臺ニ戰ヒ。義明ヲ獲。其與力里見而シ古
河氏亦遂ニ微ナリ。喜連川氏ハ此裔孫。徳川氏ノ時。封ヲ
結城生實多古高。戊辰ノ亂。東兵。官軍ヲ結城ニ攻メ。城
陥ル。幾ハクモ無クメ又之ヲ失フ。失ノ字。義。惜ムニ似
ニ若カス。是時ニ當リテ。東兵別ニ上総津木更ニアリ。
來リテ八幡貝官軍ヲ襲ヒ。進ミテ市川ニ至ル。官軍遂ニ
死ヲ決シ。穿大ニ船橋ニ戰ヒ。火ヲ放シ。東兵敗績ス。此
移封ノ諸侯トナリ。皆
廢シテ縣治トナル。

常陸誌

常陸國ハ北緯三十五度四十分餘ニ起リ三十六度五十分
 東三十一里半南東經零度中央ニ起リ一度十分餘ニ至
 北三十里十丁餘南下総ニ界シ東東洋ニ面シ北山岳
 テ磐城ニ界シ西下野ニ隣リ畧長方形ヲナスノモ國而
 ノ其西南野ハ平ノ地西方ニ凹出シ以テ下総拳形ノ地ト
 相錯ハレリ東南一角下総ト利根川ヲ挾ミテ銚子口ノ
 對海中ニ伸出ス國中久慈多賀茨城鹿島行方新
 千八百九戸數十二萬七千五百五十六アリ治チ水戸ニ置キ東
 八口六十五萬二千九百五十五アリ茨城縣ト云フ東
 南水郷多ク西北山村多シ風土記ニ云ク是國道路相望
 〔街道通路多〕郡郷接壤〔無人ノ地ナ〕ト眞ニ然リ西南ニ
 當リテ筑波山アリ平野ノ間ニ突起シテ國ノ中心ニ聳
 ラ其北ニ葦穂山加葉山アリテ並峙又北下野ノ界ニ鳥
 子山アリ山脈絶其隅ニ八溝山アリ連山其東ニ屏列シ
 以テ磐城下野ニ毘

連其南ニ男體山月折山アリ久慈里川ニ水月折ノ下ニ
 袋田ノ温泉アリ而シ海上ニ高鈴神御子諸山アリ一水
 下野ヨリ來リ西南凹字ノ地ニ從フテ回り南利根ニ會
 ス之ヲ小貝川ト云フ正南利根川ニ近キ處一大湖アリ
 袤延其大サ印幡ニ陪蕙ス名ケテ霞浦ト云フ西ニ向フ
 テ三泌ヲナス右泌ノ斗出スル處行方郡トス能ク西浦北
 ノ十六島此下中泌ノ盡ル處ヲ土浦トス南方諸水皆先
 ツ之ニ匯聚シ而シ後利根ニ入ル坤位ニ當リテ牛久沼
 アリ細流之ニ入り又之ニ出ツ輓今霞浦牛久ノ兩湖及ヒ
 入リ印幡ニ導キ直ニ内海ニ運輸セント霞浦ト東海トノ間
 ス果シテ成ラハ東海ノ蘇士疏開ナリ又霞浦ト東海トノ間
 又一沼アリ南北甚タ長ク東西甚タ狭シ名ケテ北浦ト
 云フ其水又利根ニ入ル其東鹿島浦アリ武甕雷ノ神祠ア
 禱祀極テ盛其浦東洋ニ面

背^シ北浦^ヲチ海邊ニ石アリ。要石ト云フ。石根地ニ入り其大
 ナ知ル者ナシト云フ。北浦ノ北ニ涸沼^{ヒメ}アリ。次ニ千波沼^{センバ}
 アリ。兩處ノ水共ニ北^ナ那珂川ニ合シ。而シテ後海ニ注ク。那
 珂川源ヲ下野ニ發シ。常陸ヲ横裁^メシ。水戸^ヲ過キ。東海ニ入ル。
 其港^ヲ那珂ト曰フ。其千波沼トノ間ハ。即チ水戸ナリ。水戸ノ正西。
 土浦ノ正北ヲ笠間トス。笠間ノ西南ニ下館^{シモタテ}アリ。土浦ヲ
 合セテ。鼎足ノ形ヲナセリ。中間ノ筑波。鼎身ニ似。久慈川。
 磐城ヨリ發源シ。南ニ馳セテ月折。男體。金砂^{カサ}諸山ノ西ヲ
 過キ。東ニ折レテ。那珂川ノ北ヨリ海ニ落ツ。其北ニ小流
 數條アリ。而シテ最北ニ大北川アリ。長位ノ險路^チ名古曾
 リ。著名ノ過所^ヲナリ。關ハ磐城ニ屬ス。魚鹽茶石蠶種木綿石
 濱海又平瀨^{アリ}。北海ノ形勝トス。魚鹽茶石蠶種木綿石
 ナ産ス。

後一條帝ノ時。平忠常下總介ニ任シ。後反ス。平直方之
 年平クル。源賴信^替リテ之ヲ伐チ。其居城鹿島ニ至ル。舟
 能ハス。源賴信^楫ナシ。渡ル可ラス。圖リテ海ノ淺處^ヲ
 ナ應^メキ。擊テ之ヲ平ク。源賴朝兵ヲ舉ル時。佐竹義政服
 セス。賴朝來リ攻テ之ヲ誘殺ス。其姪秀義。金砂城ニ據
 ル。乃チ擊テ之ヲ走ラス。後小田佐竹二氏。^{關東八}此
 地ヲ分領ス。戰國ノ時。佐竹義重全國ヲ併ス。石田三成
 兵ヲ舉ル時。其子義宣^シ遙ニ之ニ應ス。三成敗レテ。義宣
 降ル。徳川家康之ヲ出羽ニ徙シ。其子信吉。賴宣ヲ水戸
 ニ連封シ。最後賴房ヲ封ス。賴房ノ子光國。大ニ國政
 川氏ノ季年。水戸ノ臣^{大關和七郎}。齋藤監物等。國ヲ脱シ。密ニ江戸
 ニ入リ。櫻田^{愛宕ニ謀リ}ニ襲ヒ。關老井伊氏ヲ刺殺ス。巳ニノ國中
 黨派分ル。藤田某田丸某等。攘夷ヲ唱ヘ。長岡驛ニ屯シ。
 横濱港ヲ襲撃シ。

トセ。兵ヲ與シ。先ツ市川某朝比奈某等ヲ除カントス。
 筑波山ニ集。近傍諸侯之ヲ伐テ。互ニ勝負アリ。幕府亦
 兵ヲ發シ之ヲ征ス。此時武田耕雲齋等別黨ヲ率シ。水戸
 至ル。市川黨拒ミテ容。藤田等ニ合シ。兵勢頗ル強シ。已
 至ル。戰テ走ル。是ニ於テ。軍敗レ。東山道ヨリ京師ニ至リ。將ニ訴フル
 所アラントス。沿道ノ諸侯之ヲ拒ム。耕雲齋美濃ニ至リ
 途通セス。乃チ越前ニ入り。加賀ニ依テ降リ。尋テ殺サル。
 戊辰ノ亂ニ。武田氏ノ族黨。京師ヨリ來リ。又市川朝比
 奈等ヲ殺ス。他年養成スル所ニ至リテ。幾ノト盡シ。烈公
 晨星落々。豈慨スルハ。勝エザラシヤ。元和以後。封ヲ國ニ
 得ルモノ。水戸王政。新治。茨城。新治。麻生。牛久
 下妻。凡テ十藩。王政。新治。茨城。新治。麻生。牛久
 置キ。昨年又新治ヲ廢シ。茨城縣ヲ廢シ。以テ全國ヲ治ム。
 相模誌

相模國ハ。北緯三十五度餘ニ起リ。三十五度四十分餘ニ至
 一里。武藏ノ南ニアリ。東南一角海中ニ突出シ。煙波ヲ安
 房上総ノ境ニ對ス。風潮順ナル時ハ。一帆達スヘシ。則チ
 東海門ノ咽喉ナリ。故ニ燈臺ヲ城ノ島。崎觀音崎ニ設ケ。浮
 過ル勿レ。南ハ海ニ面シ。灣形ヲナシ。西ハ箱根諸山ヲ繞
 ラシ。伊豆。駿河。甲斐ト。疆場ヲ接ス。地形冑ヲ歛ツカ如
 シ。其八幡座ヲ津久井トス。吹返シハ三浦タリ。國中足柄上
 并高座。鎌倉。三浦。久九郡。村數六百九十四。戶數六萬九千七百
 アリ。全國兼治ス。土地甚タ沃饒。箱根ノ山巔ニ湖水ア
 リ。藍湖ト云フ。深藍色ノ清瀾。雪白ノ山影ヲ搖瀾ス。奇勝歐人
 云フ。其湖上ニ二小山アリ。二子山ト云フ。其北ニ當リテ
 足柄山アリ。月夜ノ松籟。今東ニ當リテ。温泉湯本塔澤宮。下堂。島底倉。

木賀 七所アリ。之ヲ箱根七湯ト云フ。山水靈秀風流ノ士
 常ニ詠メ而シテ歸ルト云フ。清世舞雩ナシ。其風スルモ東
ニ下リテ平地ヲ得。之ヲ小田原トス。南ニ石垣山アリ。天
豊太閤ノ陣 石橋山アリ。治承ノ亂源右 又南ニ小岬アリ。
スル所又 眞鶴崎ト云フ。國中二大水アリ。源ヲ足柄ノ北ニ發シ。南
テシ 小田原ノ東ヨリ海ニ入ル者ヲ酒匂川ト云ヒ。源ヲ甲
 斐ニ發シ。上浮ヲ桂川及ヒ道志川 國ノ北邊ヲ圍リ。終ニ
 南海ニ入ル者ヲ馬入川ト云フ。或ハ呼テ相 二水ノ間ニ
 山アリ。大山ト云フ。又雨降山ト云フ。國ノ中位ヲ占 又小
 河二三派アリ。馬入ノ東ニ流ル。河ヲ片瀬川ト云フ。雨
山ノ溪流ヲ集メ。南下シテ大 是ヨリ東南ヲ鎌倉トス。
磯ニ注ク。花水川ト云フ。 是ヨリ東南ヲ鎌倉トス。
 治承以來數百年。蕪府ノ在ル所。遺跡 其海濱東半ヲ由井
 谷七郷ニ充ツ。寒烟蔓艸。弔古ノ叢。

濱ト云ヒ。西半ヲ七里濱ト云フ。此分界ノ岬角ヲ 其西ニ
 一小島アリ。江ノ島ト云フ。湖水退ケハ。歩メ行フヲ得。鎌倉
 ノ東南ヲ三浦ト云フ。全地一大岬ヲナセリ。岬頭ト云フ。
前ノ小嶋ヲ城ガ島ト云フ。此島ヲ以テ海ノ内外ヲ分テ。東安
豆ノ向ヒテ。大灣ノ口 岬ノ東濱ニ兩港アリ。南ヲ浦賀ト云
チ開ク。和模灘是ナリ。 北ヲ横須賀ト云フ。横須賀ノ港上ニ。主船
 寮アリ。結構頗ル壯。廣ク造 國石銕及ヒ薪炭材料。海ヲ産
 ス。稻米尤モ美ナリ。

治承中。源賴朝ニ起シ。伊豆 大庭景親ト石橋山ニ戰ヒ。軍
 敗レ海ニ航シ。安房ニ至ル。後遂ニ平氏ヲ亡シ。府ヲ鎌
 倉ニ開ク。賴朝薨シ。賴家立ツ。北條時政ノ廢スル所ト
 ナル。其弟實朝立ツ。建保中。積憤散 和田義盛兵ヲ起シ。

北條氏ヲ討ス。軍敗レテ殺サル。承久中。實朝鶴岡ノ祠ニ指リ。賴家ノ子僧公曉ニ弑セラル。公曉モ亦義源氏亡フ。是ニ於テ北條氏幼主ヲ。京師ヨリ迎ヘ立テ政權ヲ專ニス。泰時能ク節儉以テ下ヲ御シ。親睦以テ時賴ニ至リ。青藤宗族ヲ愛ス。貞永ノ政。今ニ稱譽アリ。時賴ニ至リ。藤綱ヲ舉ルテ政ヲ委。三浦光村亂ヲ起ス。兵利アラヌ。之ニ死ス。時宗ノ時。元使ヲ龍口ニ斬リ。國中ニ令シテ貞時ニ至リ。安達泰盛勢威ヲ振フ。貞時之ヲ族滅ス。高時ニ至リ。政事ヲ自ラセス。タ。游後醍醐帝。鎌倉ヲ征セン。トス。事未發セハル。高時。帝ヲ隱岐ニ徙シ。兵ヲ發メ所在ノ官軍ヲ擊ツ。新田義貞。上野ニ興リ。勝ニ乘メヨリ來リ攻ム。高時。東勝寺ニ自殺ス。北條氏亡フ。其後足利尊氏。護良親王ヲ讒メ。鎌倉ニ幽シ。之ヲ弑ス。〔今鎌倉宮ヲ創シ。御靈ヲ

崇尊〕是時ニ當リテ高時ノ子時行亂ヲ起シ。鎌倉ニ入ル。尊氏京師ヨリ至リ。時行ヲ擊テ之ヲ復ス。巳ニ尊氏。鎌倉ニ叛ス。新田義貞來リ征シ。箱根下ニ戰フ。義貞敗レテ還ル。其後北畠顯家及ヒ新田義興等。前後鎌倉ヲ取ル。然レトモ皆保ツ能ハス。〔足利直義來リテ鎌倉ヲ取ル。尊氏。其次子基氏ヲ是ニ置キ。關東ヲ總督セシム。其孫持氏ニ至リ。宗家及ヒ管領上杉憲實ト隙アリ。憲實上野ニ奔ル。持氏兵ヲ遣テ之ヲ攻ム。將軍義教。憲實道ニ下シ。大兵ヲ發シ。鎌倉ヲ討ス。持氏降リ。尋テ自殺ス。後持氏ノ子成氏。上杉憲忠ヲ殺シ。鎌倉ニ入ル。〔初メ死シ。其子春王安王又殺サル。季子成氏幼ニシテ逃ル。關東ノ諸將和ヲ講シ。成氏ヲ立テ。憲實ノ子憲忠ヲ管領トス。成氏父兄ノ怨アリトシテ。〕其族房顯兵ヲ舉テ成氏ヲ伐兵ヲ伏セ。憲忠ヲ撲殺ス。〕

ツ成氏走ル。足利氏還マ鎌倉 明應中北條長氏伊豆ニ
 興リ計ヲ以テ小田原ヲ取リ。又三浦時高父 三浦城ヲ
 取ル氏綱氏康ニ至リ上杉氏ト連年兵ヲ交ヘ遂ニ八
 州ヲ畧取ス上杉輝虎近衛房前ヲ奉シ關東 大舉ノ小
 田原ニ至ル將士叛ク者アリ乃ケ師ヲ班ス武田晴信
 北條氏ヲ三増ニ敗リ小田原ニ薄ル。三増ノ戰ハ歸路
 後ルノ已ニ引還ス氏政氏直ニ至リ豐臣秀吉來リ
 征ス。箱根ノ險 關東ノ屬城皆陷ル。小田原孤氏政自殺
 シ氏直高楚放タル北條氏亡フ國德川氏ニ歸ス。封ヲ
 山中二藩 戊辰ノ亂ニ東兵安房ヨリ舟ニ乘メ至リ
 箱根ヲ扼ス。小田原藩 官軍來リテ其罪ヲ問ヒ之ヲ伐
 ナ大ニ山中ニ戰フ東兵敗レ復海ニ浮ヒテ去ル。後藩

シ縣治
トス

伊豆誌

伊豆國ハ北緯三十四度三十分餘ニ起リ三十五度十分餘
 東西七里十二里西經零度四十分餘ニ起リ一度餘ニ至ル
 丁南北十四里北境駿河ニ接シ鈍角ヲナス東西兩邊海
 ニ面シ漸ク殺キテ南ニ至リ尖頭ヲ爲ス即チ東海ノ一
 大炭地ナリ。日夜洪濤岸ヲ拍ツ而シテ居人常ニ安眠ス。
 國中君澤田方 四郡村數二百八十四戸數三萬四百 あり。全
 靜岡縣那賀加茂 山ニ非レハ則チ水山ニ鑛金美石アリ。金硫黃
 石磐兼治ス 海ニ松魚海苔アリ。熱海ノ沖初島アリ 東北ノ
 城石ヒガキ 海ニ松魚海苔アリ。智ニ上ル此ヲ初メトス 東北ノ
 山ヲ日金ヒガキ 弦卷ヒガキ 黑岳ト云フ其南方ヲ伊東トス小岬アリ
 又南ニ大室山大笠山アリ國ノ中央ニ大山アリ天城山
 ト云フ。此山古ヘ狩野山ト云フ直立四千 薪炭多ク是ヨ

リ出ツ是際ヨリ東南ニ流ル、水ヲ川津川イナハナ稻生澤川ト
 ス。稻生澤ノ注ク處ヲ下田港トス。爪木崎其東ニ斗南海
 來往ノ船多ク此ニ停泊ス。而シテ此際多ク石ヲ出ス。南ノ
 盡頭ヲ石廊崎ト云フ。狂濤崖岳ヲ打ツ。驚クヘク喜フヘ
 シ。西海ヲ隔テ、遙カニ志摩西ニ繞リテ御前崎アリ。遠江
 ム。海中ニ岩アリ。門ノ如シ。千貫門ト云フ。傍ニ淺間祠ノ誤
 カ。其北ニ松崎川仁科川アリ。又田子浦アリ。海ニ濱シ。土
 狀元タリ駿モ亦田子浦同名ノ村アリ。峯ニ對ス。景致ヲ標セハ國ノ
 恐クハ名ヲ茲ニ假テ著ハル、モノカ。最モ北ニ曲岬アリ。江
 崎ト。駿河ト灣ヲ抱ケリ。而シテ西岸ニ帶都テ穩港アルナ
 シ。狩野川天城山ヨリ出テ。諸水ヲ合メ北行シ。北條ノ西
 シ過キ。駿河ニ入ル。謂フ所葦山北條蛭小島大場等ノ地。
 皆川ノ東ニアリ。國中熱泉十餘アリ。其中弦卷山ノ東麓

ニ熱海ノ湯アリ。川名崎其南チ擁シテ一灣チナ。北條ノ西
 南三里ニ修禪寺ノ湯アリ。源家ノ驪山カ。夫レ何ソ凶ナル。
 是其最モ著名ナル者ナリ。又國ノ東南海中ニ七島アリ。
 大島ハ下田ノ東南十三里ニアリ。新島ハ大島ノ南十里ニ
 白沙チ積メルカ如シ。人遊カニ見ハ。馬援ガ米山ニ非ストセ
 ノヤ。三宅島ハ神津島ノ東南十里ニアリ。島中火山アリ。雄山
 ト云フ。三倉島此ニ三宅島最モ大ナリトス。大島ノ内亦火
 山アリ。三原山ト云フ。常時烟焰ヲ吐ケリ。其南方ニ當リテ。八丈
 島アリ。下田ノ南九十里ニアリ。島中ノ大サ。大約東西七
 里。南北二里半。四邊險難。舟ノ近クテ甚タ難シ。支那人云
 仙山アリ。風力舟ヲ牽テ近ク。地稻禾ヲ生セス。而シテ紬ヲ産ス。
 天武帝ノ時。駿河二郡ヲ割テ。此國ヲ置ク。扶桑畧記
 ニ見ユ。而シテ舊史。應神帝伊豆ノ人ヲシテ。大船ヲ造ラシ

ムルヲ載ス。〔天正ノ末、豊公亦伊豆ニ大船ヲ造ラシ、本州ノ船材ヲ出ス。亘古ノ知ル所。〕天武以前、已ニ此國アルニ似タリ。然レトモ〔舊史後世ノ廢造クモノアリ。〕未タ孰レカ是ナルヲ知ラス。保元ノ亂、源爲朝ヲ大島ニ流ス。爲朝曰ク、天子我ニ大島ヲ賜フト、遂ニ近傍諸島ヲ併セ、自ラ之ヲ領ス。後、狩野介ニ勅シテ之ヲ攻球ニ入ルト云。平治ノ亂、平氏源賴朝ヲ蛭小島ニ流ス。後、賴朝伊藤祐親ニ依ル。祐親之ヲ殺シ、二十年ヲ經テ、以仁王ノ令旨ヲ奉メ、兵ヲ起シ。夜ル時、政等八人ヲ遣リ、目代山木兼隆ヲ襲殺シ、遠テ堤信。遂ニ相模ニ入ル。賴朝天下ヲ平クルノ後。梶原景時ノ其弟範賴ヲ此地ニ幽シ、尋テ死シ。寺禪賜フ。〔兄弟墻ニ鬪シ、豐ヲ富士ノ役ニ開シ。此テ死シ。道徳上ニ比較セ。〕其後北條時政、源賴家ヲ修禪寺

ニ殺ス。〔天道好〕足利氏ノ時、東國亂ル。將軍義政、其弟政知ヲ鎌倉ニ遣ル。關東ノ將士、心ヲ足利成入能ハス。氏ニ歸ス。故ニ鎌倉ニ。北條ニ居ル之ヲ堀越御所ト云フ。後、其子茶々ニ弑セラル。時ニ北條長氏〔初メ伊勢新〕駿河ニ客タリ。是ニ於テ疾アリ。リト伴リ、伊豆温泉ニ浴シ、之ヲ調テ曰、兵ヲ發メ茶々ヲ弑シ。思威並ヒ施シ。國中ヲ平定ス。時ニ韮山ニ北條氏ア。故ニ北條後計ヲ以テ、小田原ヲ取り之ニ入ル。豊臣氏東征ノ時、北條氏規、韮山ヲ守リ。謂ラク、此地我高祖ノ起リト。屢力戰シ。後、遂ニ降ル。關原ノ戰、浮田秀家西軍ノ元帥タリ。軍敗ル、ニ及ヒテ、島津氏ニ投ス。徳川氏死。一等ヲ減シ、之ヲ八丈島ニ流ス。徳川氏更ニ韮山ニ置キ、全國及ヒ八丈島ヲ統治。改メテ縣治トス。

甲斐誌

甲斐ヲ環ルハ皆山ナリ〔其中中央ハ地勢ヤ、平坦。甲斐ノ言
ルヘシ。知〕國ノ形南瓜ノ如シ。東帶ヲ相模ニ接シ。北方肩
ヲ武藏ニ腹ヲ信濃ニ交ヘ。南方肩腹俱ニ駿河ニ界シ。而
シテ西附ヲ駿河信濃ノ境ニ安ニス。北緯三十五度十分ニ起
至リ。西經零度四十分餘ニ起リ。一度四十分ニ起リ。三十五度十分餘ニ起
十分ニ至ル。東西二十五里。南北亦同シ。國中巨摩山梨四郡
村數八百一十。戶數七萬五千七百七十三。治チ甲府ニ置キ。其
二人口三十六萬二千九百七十七。山梨縣ト云フ。其
地信濃ト共ニ至高ノ所トス。神州全圖恰モ二國中ノ山東
北ニ天目山アリ。其南麓連山四周。川流皆南ニ注キ。地形風
土人稱シテ郡内ト云フ。郡ノ北境丹波川アリ。郡留郡トス。
多摩川トナル。未由山ト云フ。大菩薩峠及ヒ雁坂峠ハ天目山ノ北
等ノ時チ山脈南ニ亘リテ。笹子大石十二ヶ岳連ル。其北境ニ金峰アリ。其
八ヶ嶽アリ。八峰突起シテ。國ノ山脈信濃ニ走ル。又國ノ山脈正西ニ駒ヶ岳。鳳皇。白根。諸

山アリ。深山重疊ヲ限ル。甲西南ニ七面山。身延山アリ。連亘
ス。而メ東南ニ當リテ富士山兀立ス。甲斐其三ノ一ヲ得
全圖富士山陰ニ蔽ハル。登山ノ路アリ。上吉田ト云フ。岳麓ニ五大湖
アリ。東ニアル者ヲ山中池ト云ヒ。次チ川口湖ト云フ。山
中池ヨリ出ル水。之ヲ桂川或ハ北シ或ハ東シ。都留花譜
水ヲ合メ。東嶽橋ヲ過キ。相模ニ入ル。即チ馬入川ノ上浮
ナリ。國ノ中央ヲ府中トス。市街頗ル寬廣。其西ニ當リテ
萑崎アリ。其北ヲ新府トス。當年勝頼ノ築キテ移ル所。荒
川源ニ金峯山ニ發シ。正北ヨリ都邑ノ西ヲ通過ス。又笛吹川源ナリ。
雁坂峠ノ東北ヨリ諸水ヲ合メ。其南ニ至ル。二水會合メ。
西南ニ流ル。之ヲ富士川トス。既ニ南。精進本巢川口諸
所蘆川北。源ヲ駒ヶ岳ニ發シ。七里釜梨川ヲ合セ。漸ク南メ

駿河ニ奔注ス。鰭澤ヨリ舟ノ而ノ下ル。須臾ニ山水面ヲ改ム。前カ。客山ヲ見テ別ナリ。後カ。船又來ル。山客ヲ追フ。翠壁一重。雲一重。我ニ於テ又之ヲ云フ。産スル所。金及ヒ水。玉石。絹。紬。葡萄。柿。栗。石炭等アリ。

源義光。此國ヲ領シ。子孫遂ニ之ニ居ル。之ヲ甲斐源氏

取ル。ヤ。時政ヲ兵ヲ募ル。信義自ラニ萬騎ヲ率テ。駿河ニ至ル。平氏ノ富士川ニ敗ル。ハ。信義ノ所爲ナリ。武

田氏ハ其裔ナリ。晴信ニ至リ。四隣ヲ兼并シ。天下ノ強

國ト稱ス。子勝頼。讒ヲ信シ。功臣多ク戰死ス。織田信長

父子大舉ノ來リ討ツ。諸軍逃降相尋ク。勝頼郡内ニ入。天目山ニ棲ミ。健闘ノ死ス。武田氏亡フ。織田氏

ス。光秀ノ亂。鎮吉。德川氏相尋テ之ヲ領ス。德川氏關東

ニ徙リ。加藤泰。淺野長。又相尋テ之ヲ領ス。後德川家康。

其子義直ヲ封ス。巳ニ尾張ニ徙ス。其後四世將軍家綱

其弟綱重ヲ封ス。甲府宰相綱重罪アリ。死ヲ賜フ。二十

餘年ヲ經テ。五世將軍吉綱綱重ノ子ヲ養フテ世子トシ。

家宣ト。其地ヲ舉テ。柳澤吉保ヲ封ス。後之ヲ郡山ニ徙

封シ。城番ヲ置テ之ヲ治ム。戊辰ノ亂。東兵柵ヲ勝沼驛

ニ設ケ。西軍ヲ拒キ。敗レテ東ニ走ル。

駿河誌

駿河國ハ。北緯三十四度四十分餘ニ起リ。三十五度二十分

ニ至ル。東西十八里。西經零度四十分餘ニ起リ。一度四十分

里。南北十二里。東。相模伊豆ニ界シ。南面海ニ臨ミ。伊豆

ト一大灣ヲ擁シ。西。遠江ト大井河ヲ界ス。北方一帶甲斐

ト界シ。兩肩ヲ聳ヤカノ。凹字様ヲナス。國志田。益津。有渡。安倍。原。富士。

駿七郡。村數七百八十八。戶數一萬七千八百一。治ヲ靜岡

東。七郡。村數七百八十八。戶數一萬七千八百一。治ヲ靜岡

豆二國ヲ 統理ス。北境皆山。獨り海邊平夷ナリトス。東方ニ箱根
 ノ連山アリ。足柄山其北ニアリ。古ノ東北ノ驛。故ニ關アリ。最モ著名トス。凹字ノ東肩
 ニ富士山アリ。高サ百千四。霄漢ヲ摩シ。白雪恆年絶エス。
 實ニ我國第一ノ高山ナリ。白扇倒懸。東海頭。形容シ盡セリ。山頂ニ大洞
 アリ。古時烟焰ヲ發スル處ト云フ。登山ノ路。東ニ須走ア
 リ。南ニ村山アリ。山ノ東腹。一山アリ。形附贅ノ如シ。寶永
 山ト云フ。寶永中。岳頂遂ニ灰石ヲ噴シ。此山ヲ起立ス。因
 テ以テ名ク。西肩ノ東ニ小澤山。大谷崩アリ。西北ニ御室
 山。諏訪岳。松山アリ。皆甲斐。北信濃。二國ニ夾接シ。其東南隅ニ界ス。西ニ高根。高
 尾笠張。千葉諸山アリ。其東ニ宇津山。南濱海ニ走ル。西北
山脈ノ餘波。一培塿ト雖也。其東西ノ衝ニ當ルヲ以テ。運輸來
往。人頗ル之ヲ艱ム。本年山腹ノ隧道。始テ功ヲ告ク。古人道ヲ
畫クニ堪テ行クニ堪 及ヒ小流兩三派アリ。其東。安倍川。
エスト。幾ノト非ナリ。

源ヲ甲斐國境ニ發シ。北ヨリ來リ海ニ入ル。其東岸ヲ靜
 蘆久保山脈ヲ抱キ。岡トス。通衢四達。特ニ東海ノ要驛タルヲ以テ。車馬填溢。賤
機山其後ニ聳エ。安倍川ノ清流其西ヲ限ル。風景都
 府ノ一北方ニ山アリ。龍爪山ト云フ。東南海邊ノ山ヲ久
 能ト云フ。斷崖百仞。九折シテ登ルハ。久能ヨリ東北ニ
下モ蒼海ニ俯ス。風色絶佳。向フテ沙嘴アリ。形象鼻ノ如シ。三保ト云フ。其内灣ヲ清
 水港トス。煙波一斷。直チニ伊豆ノ雲見崎港ニ注ク。水ヲ巴
ニ相對シ。自ラ一大灣ヲナス。川トス。其東ニ沖津川アリ。清見瀨ニ注ク。清見瀨ハ田子浦
ノ西濱ニアリ。白沙青松。東海ノ
名區トス。東岸ヲ薩陞トス。又東ニ富士川アリ。甲斐ヨリ來リ。
富岳ノ麓ニ
流テ南 湍流迅疾。箭ヲ發ツカ如シ。即チ凹字ノ正中ニ當
 レリ。其東ニ沼アリ。此際ヲ浮島原ト云フ。即チ岳ノ正南
 ニ當レリ。又東ヲ沼津トス。北ニ足高山アリ。富士山ニ切
 近ス。東南ニ狩野川アリ。伊豆ヨリ來リテ海ニ入ル。一水

東北富士足柄ヨリシ。狩野川ニ合ス。即チ黄瀬川是ナリ。
國茶紙及ヒ漆器竹器ヲ産ス。

景行帝ノ時。皇子小碓東征シ。浮島原ニ至ル。賊原ヲ燎
テ之ヲ圍ム。皇子劍ヲ揮フテ之ヲ拒ク。賊軍敗走ス。天
ノ亂。藤原忠文將門ヲ征シ。清見關ニ至リテ歸ル。慶
後源義光東下。足柄ニ至リ。簫ノ秘曲ヲ漏ラス。治承中。源
賴朝兵ヲ舉ク。平維盛等。大兵ヲ率テ之ヲ討シ。富士
川ニ陣ス。一夜水禽ノ起ルヲ聞キ。誤リテ敵軍已ニ至
ルトナシ。大ニ潰走ス。賴朝天下ヲ平クル後。富士野ニ
獵ス。曾我兄弟。工藤祐經ヲ擊テ。父ノ仇ヲ復ス。後數年。
梶原景時。諸將ト難ヲ搆ヘ。舉族西走シ。狐崎ニ至リ。土
人ノ殺ス所トナル。其後阿野全成叛ス。源賴家之ヲ常
陸ニ放チ。人ヲ之ヲ殺サシム。後醍醐帝ノ時。足利尊

氏反ス。新田義貞之ヲ征シ。足利直義ト手越河原ニ戰
フテ之ヲ破ル。後直義。尊氏ニ叛キ。兩軍大ニ薩陞山ニ
戰フ。直義敗走ス。尊氏。後今川範國ヲ此國ニ封ス。義元
ニ至リ。兵ヲ發メ尾張ニ入り。織田信長ニ襲ハレテ敗
死ス。子氏真昏愚。武田晴信之ヲ攻ム。氏真奔ル。今川氏
亡フ。氏真北條氏ニ投ス。武田氏。北條氏ト屢。兵ヲ國中ニ接ス。北
條綱重ヲ蒲原ニ攻テ之ヲ獲。遂ニ府中ヲ取ル。勝賴ニ
至リテ。織田氏ノ亡ス所トナリ。國徳川氏ニ歸ス。家康
乃チ府中城ニ居ル。其後豊臣氏之ヲ關東ニ移封ス。關
原役後。家康復府中城ニ居ル。其臣天野康景ヲ田中ニ封
ス。康景嘉遜。祿ヲ桑テ山ニ
入。家康薨ス。賴宣忠長宗室ヲ以テ。相尋テ封セララル。後
忠長罪アリテ封ヲ收メラル。後鎮城ト爲ル。封チ國ニ受
ルモ沼津田中ノ二藩ア

リ。慶安中。由井正雪反ヲ謀リ。之ニ據ラントス。事露レテ誅ニ伏ス。戊辰ノ亂ニ。府中城總督府ノ駐東方已ニ定マリ。朝廷徳川氏ヲ此地ニ封シ。府中ヲ改メ。遠江及ヒ三河數郡ヲ加封ス。〔併セテ七十萬石トス。〕

遠江誌

遠江國ハ。北緯三十四度三十分餘ニ起リ。三十五度二十分餘ニ至リ。西經一度二十分ニ起リ。二度二十分餘ニ至ル。東名。西七里。南北二十里。榛原。周智。佐野。豐田。山名。城東。磐田。長上。鹿玉。引佐。濱名。敷智。十二郡。百五十一。千四百八十八。萬六千五百四十三。口アリ。治ヲ濱松縣ト置。南海ニ面シ。東。大井川ヲ以テ駿河ニ界シ。北。信濃ト連山ヲ界シ。西亦山ヲ分ケテ三河ニ界ス。地勢北ヨリ南ニ向フテ漸ク啓キ。箕形ヲナス。其巽位ノ一隅ヲ。御前岬ト云フ。岬角外岬及ヒ志摩ノ岬ト。東西相望ム。水程七十五里。之ヲ遠州灘ト

云フ。今燈臺アリ。海路ヲ標出ス。此國。大抵北半山多ク。南半平土多シ。東北ニ風不入山。朝日岳。黒法師。春野。大日諸山アリ。東ニ粟岳アリ。其西南ヲ掛川トス。南方ニ小笠山。高天神アリ。東ニ原磐田原ノ。亦其西南ヲ横砂トス。國ノ中央ニ不動。秋葉大鏡諸山アリ。西北ニ權現。平澤。白倉諸山アリ。西南隅ニ高師山アリ。大井川。濫觴ニ所ア。甲斐ノ極西白根ニ發源シ。直流ノ南ニ馳ス。平時水甚タ少シ。秋水時ニ至レハ。兩涘ノ間。牛馬ヲ辨セス。故ヲ以テ街道第一ノ大河トス。其他細流。東北ニ發水シ。合メ一トナリ。南海ニ入ル。川ヲ本流トシ。大口諸井。而メ天龍川。信濃湖。ニ發源シ。西北隅ヨリ。蛇行メ。秋葉ノ西麓ヲ過キ。漸ク大河トナリ。大天龍ノ二分派。亦南海ニ入ル。其西ニ濱松アリ。濱松ノ北ニ味方

原アリ。古ノ引馬。其西方ニ大灣アリ。東西四里南北五里。鼻湖アリ。東ニ佐鳴湖アリ。和門口今切ト甚々狹ク。中ニ支灣多シ。形珊瑚樹ニ似タリ。此灣明應ノ地震。永正ノ山崩。元祿ノ海嘯ニ由テ。陸地陥リテ。水底トナル所多シ。桑海ノ變。又何ソ暴ナル。其西岸ヲ新居ト云フ。之ヲ國ノ西境トス。葛布木材。及ヒ石灰石腦油ヲ産ス。

嵯峨帝ノ時。此國及ヒ駿河ニ配スル所ノ新羅七百人。國民ヲ殺シ。伊豆ニ入り。海ニ泛ヒテ逃ル。追兵撃テ之ヲ殲ス。養和中。平軍東下ス。賴朝和田。南北朝ノ時。宗良親王。兵ヲ井伊城ニ起ス。後今川氏ノ封國タリ。戰國ノ時。德川家康。三河ヲ定メ。遂ニ治ヲ濱松ニ徙シ。屢武田氏ト國中ニ戰フ。已ニ晴信ト味方原ニ戰テ。大ニ敗ラ

ル。武田氏亡フルニ及ヒテ。國盡ク德川氏ニ屬ス。後豐臣秀吉。德川氏ヲ關東ニ封ス。關原捷後。又德川氏ニ歸ス。封テ國ニ受ルモノ。濱松掛川。橫須賀。相良。四藩アリ。王政革新。四藩ヲ二總ヘ移シ。全國德川氏ニ賜フ。後藩ヲ廢シテ縣治トス。

三河誌

三河國ハ。北緯三十四度三十分餘ニ起リ。三十五度二十分餘ニ至リ。西經一度五十分餘ニ起リ。二度四十分餘ニ至ル。南海ニ臨ミ。東。遠江ニ正接シ。北。信濃。美濃ニ界シ。而シテ。西。塚川ヲ以テ。尾張ニ界ス。全國碧海。幡豆。額田。賀茂。設樂。寶飯。八郡。村數一千四百九十。戶數十萬八千七百七十。知縣愛治。地勢畧方形。而シテ。東南。一大長岬アリテ。坤位ヲ指ス。其頭處ヲ伊良胡ト云フ。西南。志摩ニ對ス。伊勢海ノ岬半ノ一角トス。原大地ノ角宮崎ト對シ。灣ヲ包ム。灣ノ當中ヲ

豐橋トス。其北石卷嵩瀨ノ諸山屏立シテ遠江ノ境ヲ限ル。國内ノ高。豐川東北ヨリ來リ。豐橋ヲ過テ灣ニ入ル。其上流東ニ鳶巢山アリ。壘ヲ燒討シタル所。西ニ長篠アリ。與信昌カ堅。其北ニ鳳來寺アリ。國ノ中心ヨリ稍西ニ松平アリ。德川氏祖先。其西南ヲ岡崎トス。家康ノ生。皆德川氏ノ故地ナリ。矢矧川。北方信濃ニ發源シ。西ニ流レ北ニ折レ。東足助川ヲ合セテ。岡崎ノ西ヲ過キ。又東。本宮岳ヨリ大平川ヲ合セテ。平坂港ニ海ニ入ル。此三大河アリ。故ニ三架スル所ノ橋二百八間アリ。豐川ニ架スル名ク舊矢矧川ニ大平川ヤ。小共橋五十間ニ過キス。故ニ一名乙川ト云フ。但取レリ。國中小山多シ。棉木綿石生糸砥石灰ヲ産ス。養和中源行家矢矧川ヲ保テ重衡ヲ欺キ退カシム。新田義貞ノ尊氏ヲ討ツ。賊既ニ川東ニアリ。水中ニ擊テ之ヲ破リ。又追擊之ヲ。南北朝ノ時。一色吉良二氏之ヲ分領ス。其

後新田氏ノ裔世良田有親此國ニ至ル。其子泰親松平氏ニ養ハル。子孫漸ク其土ヲ廣ム。其八世ノ孫ヲ德川家康トス。家康ノ幼ナルヤ。織田氏。兵ヲ以テ來リ侵ス。今川氏之ヲ救ヒ。小豆坂ニ戰フテ之ヲ走ラス。家康還リ。長スルニ及ヒテ。織田氏。岡崎ニ居リ。漸ク國中ヲ平定ス。又東三河ヲ擊ツ。已ニシテ遠江ニ移ス。其後織田信長ト力ヲ戮セ。武田勝頼ヲ長篠ニ破ル。豐臣氏東征ノ後。德川氏ヲ關東ニ移封ス。關原役後。復德川氏ニ歸ス。封ヲ國ニ受ルモノ。吉田岡崎西尾。舉母。與殿。苅。モ。重原。西端。半原。ノ三藩アリ。王改革新封ヲ受ル。後皆藩ヲ廢シテ縣治トス。

尾張誌

尾張國ハ。北緯三十度四十分餘ニ起リ。三十五度二十分餘ニ至リ。西經二度四十分餘ニ起リ。三度餘ニ至分

ル。東西八里。其形匙ヲ側ツカ如シ。東柄後ヲ三河ニ接シ。北匙底ヲ美濃ニ接シ。西匙頭ヲ伊勢ニ接シ。而シテ匙面ト。柄前ト海灣ニ面ス。國中海西。東中島。葉栗。丹。八郡。一村。數。零七十。戶數十七萬九千五百四十。治。名。古。屋。二。置。キ。愛。知。縣。ト。云。フ。尾。三。兩。國。ヲ。統。理。ス。土地平潤。海灣ノ盡ル處ヲ宮ト云フ。熱田社アリ。威靈嚴肅。其正北ヲ名古屋トス。街衢縱橫。商賈雲集。海内三府北ニ小牧山アリ。平田ノ外。巨指ヲ屈スルノ都會タリ。東ニ八雙山。黑平山アリ。山下ニ池アリ。入鹿池ト云フ。又濃ヨリ來ル。津川。土岐川。トス。下流。ナリ。參。河。境。ナル。矢。田。川。龍。泉。寺。川。東。ヨリ。來。リ。名。古。屋。ノ。北。ニ。合。流。シ。漸。ク。南。ノ。海。ニ。入。ル。之。ヲ。枇。杷。島。川。ト。云。フ。名。古。屋。ノ。西。北。枇。杷。島。川。ヲ。隔。テ。清。洲。ア。リ。信。長。ノ。居。ス。ル。所。其西ヲ過キテ南スル水ヲ

蟹江川ト云フ。其他細流數派アリ。ヤ、大ナルヲ。日光ト云。木曾川。匙底ニ從フテ西南シ。遂ニ岐ノ海ニ入ル。其分ル佐屋川。之ヲ國ノ西境トス。東ハ宮ノ東ニ山崎川アリ。又ト云フ。之ヲ國ノ西境トス。東ハ宮ノ東ニ山崎川アリ。又東ヲ鳴海。及ヒ桶狭間トス。今川義元ノ其間ニ天白川アリ。是ヨリ南。一大隅地アリ。即チ匙柄ノ處トス。其西南ニ向フ處ヲ野間トス。源義朝ノ所。南ノ盡頭ヲ師崎ト云フ。名一羽豆崎。岬。南。二。島。アリ。日。間。賀。ト。曰。ヒ。篠。島。ト。曰。フ。篠。島。後。村。上。天。皇。ノ。處。ニ。遇。テ。飄。泊。ス。ル。所。東三河ノ伊良胡岬ニ對ス。而シテ隅地ノ東西兩岸。俱ニ淺灘ナリト云フ。兩岸皆杜康ノ巢。タリ。三冬之ヲ釀。國中。葛。羅。二。字。恐。ク。餅。纈。綿。花。木。及ヒ酒器ヲ産ス。平治ノ亂。源義朝京師ニ敗レ。内海ニ至リ。長田忠致ニ依ル。忠致欺キテ之ヲ殺ス。養和中。賴朝ノ弟義圓。叔父行家。平重衡。ト墨股河ニ戰ヒ。義

家圓ハ死シ行
 ノ敗ル所トナル。承久ノ役。京軍此地及ヒ美濃ヲ守リ。東軍
 織田信秀之ヲ奪フ。其子信長膽畧アリ。今川義元來リ
 攻ム。信長之ヲ桶狹間ニ襲ヒ。擊テ之ヲ殺ス。巳ニ美
 濃ヲ取リ。治ヲ岐阜ニ徙ス。信長薨ノ後。其子信雄之ヲ
 領ス。豐臣秀吉。信雄ト絶ツニ及ヒテ。大兵ヲ引テ來リ
 伐ツ。信雄援ヲ德川家康ニ乞フ。家康大ニ秀吉ノ軍ヲ
 長湫ニ破ル。又瀧川一益ヲ 幾ハクモ無クシ。信雄。秀吉
 ト和ス。秀吉東征ノ後。信雄ヲ出羽ニ徙封ス。關原ノ役
 後。家康其子忠吉ヲ封ス。忠吉卒ス。又其弟義直ヲ封ス。
 之ヲ尾張家トス。王政革新ノ後。犬山
 ナ藩ニ登ホス。後皆廢シテ縣治トス。

志摩誌

志摩國ハ。北緯三十四度十分餘ニ起リ。三十四度三十分ニ
 西直經三十八丁餘。南經二度五十分餘ニ起リ。三度餘ニ至ル。東
 北六里二十三丁餘。我國ニ在テ。至小ノ國ナリ。蓋シ海中
 ル多シ。岬角凡ソ二十ノ港。頗西。伊勢ニ接シ。南東北三方均
 ク海ヲ受ク。寒暑。鹹三十三度ニ登ル。國中。英虞。二郡。六村。數五十八
 萬九千七百四十。人口四アリ。三重縣ヨリ兼治ス。西境ヨリ出ル水。兩三派。
 東ヲ指テ馳セ。内海ニ注ク。内海口狹ク。内廣シ。其北岸角
 出ノ所ヲ的矢崎ト云フ。内海ノ口ヨリ。伊勢ノ境ニ至ル
 マテ。地勢微ク。西北ニ殺ケリ。其内地ハ。刺熊山。山伏峠等。ア
 最北ノ海地ヲ鳥羽ト云フ。頭ニ羅列ス。前 東。三河ノ伊良
 胡岬ニ遙對シ。一大海水。其間ニ入ル。其東ニ入ル者ヲ三
 河ノ灣トシ。西ニ入ル者ヲ伊勢ノ海トス。而シテ此港。西方
 ニ紀州灘アリ。東方ニ遠州灘アリ。故ニ往來ノ船。必ス此

ニ入り。風定ルヲ待テ。後帆ヲ掲ク。日和山アリ。港上ニ録ユ。是ヲ我國
 ノ喜望峯ト云フモ。豈不可ナランヤ。其東北坂手。管島等
 ノ島十數アリ。内海ヨリ南岸頭波荒シ。暗礁凡ソ五十七
 島神島。燈臺ヲ安乘浦管
 置ク。其東南海角ヲ大王岬ト云フ。岬後西ニ向フテ。更
 ニ一大長岬ヲナシ。其内亦海水ヲ控ス。即チ此國ノ南濱
 ナリ。産スル所眞珠魚類藻貝アリ。

織田氏ノ時。九鬼嘉隆此地ニアリ。數信長ヲ援ク。豐臣
 氏ニ至リ。國ヲ舉テ嘉隆ニ與フ。石田三成兵ヲ舉ル時。
 嘉隆鳥羽ニ據テ。西軍ニ應ス。西軍敗ル。ニ及ヒテ。嘉
 隆自殺ス。徳川氏ノ時。鳥羽一藩アリ。王政革新。廢シテ縣治トス。

伊勢誌

伊勢國ハ。北緯三十四度十分餘ニ起リ。三十五度十分餘ニ至ル。東
 至リ。西經三十三度十分餘ニ起リ。三十五度十分餘ニ至ル。東

西六里二十四丁。南。東南志摩ニ接シ。正南海ニ臨ミ。西南
 北十六里十五丁餘。紀伊ニ界シ。西。大和伊賀及ヒ近江ニ連ナリ。北。美濃尾張
 ニ接ス。東。尾張ノ師崎ト一大海ヲ隔ツ。謂フ所伊勢ノ海
 是ナリ。汀渚清淺。貝多ク珠多シ。岬角凡ソ十四。暗礁凡ソ六
 置。地勢北一半ハ甚々狭ク。南一半ハ漸ク開ク。殆ント
 撥ノ形ノ如シ。西土高亢。東土漸ク低ル。國ノ中間率チ平
 野。廣瀨野。豊久野ト云フ。今皆北尾張ニ交バル處ヲ桑名ト
 田。瀨瀨望。ク、名ノミ存ス。皆北尾張ニ交バル處ヲ桑名ト
 ス。海上時ニ海市ヲ見ル。又長島アリ。木曾河中ニアリ。水樹美
 濃ノ境ニ熊坂岬アリ。多度山アリ。山中神龍アリ。能ク透ニ
 質ハ。百里。近江ノ境ニ藤原岳。釋迦岳。冠岳。一帯ノ山脈
 鹿山アリ。以テ近江ト國ヲ分大和ノ境ニ尾岳。高見岳。國
 見岳。大洞。諸山アリ。之ヲ國ノ西南隅トス。南方ノ濱。坤坎

相犯ス。伊ノ南島ト云フ。紀志摩ニ近キ處朝熊山アヲ宇治ト云フ。五十鈴川アリ。内宮アリ。其北ヲ山田トス。外宮アリ。宇治山田市街古市川崎ニ接シ。其東濱ヲ二見浦ト云フ。其北ニ宮川アリ。西南大臺ノ山原ヨリ發源ス。又北ニ藤原川。櫛田川アリ。分水ヲ被川ト云フ。其北少ク灣ヲナス。松坂雲津二水。其際ニ落ツ。出雲川源ヲ尼崎ヨリ發シ。東流シテ分ツ。南ヲ南伊勢トシ。北ヲ北伊勢トス。其流松坂川ノ南岸ヲ松坂トシ。雲津川ノ北方ヲ津トス。松坂ハ豪富ノ窟。次ニ塔世川。高岡川。崎川。三重川。淺毛川アリ。又町屋以テ桑名ニ至ル。而シテ此諸水皆東流シ海ニ灌ク。川北勢又揖斐ニリ來リ。多度山麓ヲ經テ木曾川ニ入ル。木曾川ハ國中濃大河南リ。信飛尾濃ノ長水ヲ會シテ桑名港ニ入ル。國中濃多氣飯野飯高壹志安濃奄藝十三郡村數千三百二十四戸數河曲鈴鹿三重朝明員辨桑名十三郡村數千三百二十四戸數

人口五十八萬アリ。治ヲ四日市ニ置キ。三重縣ト云。陶器花千六百六十九アリ。全國及ヒ伊賀志摩ヲ統治ス。陶器花木綿穀果及ヒ茶蠶ヲ産ス。

垂仁帝ノ時。天照大神ノ宮ヲ五十鈴川ノ上リニ建ツ。今ノ内宮是ナリ。雄略帝ノ時。豐受大神ヲ丹波ヨリ山田ニ遷ス。今ノ外宮是ナリ。後世平氏。此國ニ封セラレ。故ニ平氏亡フルノ後。其遺臣等兵ヲ舉ケ。恢復ヲ謀ル。〔之ヲ三日平〕源朝雅擊テ之ヲ平ク。南北朝ノ時。北畠顯家。足利氏ノ兵ヲ雲津川ニ破ル。南北一統ノ後。南朝ノ胤小倉殿。天統ヲ繼ント欲シ。國司北畠氏ト謀リ兵ヲ起ス。國司戰死シ。殿乃チ降ル。戰國ノ時。織田信長。北畠具教ヲ攻ム。具教成キヲ行フ。信長其子信雄ヲノ北畠氏ヲ續シム。又神戸盛友ト平キ。其子信孝ヲ以テ。神戸

氏ヲ續シム。時ニ長島ノ賊。屢興リテ信長ヲ苦マシム。
 [弟信興之ニ死シ。氏] 最後信長兵ヲ引テ。長島ヲ攻メ。擊
 テ之ヲ殲ス。因テ其五郡[北伊勢]ヲ割テ。瀧川一益ニ與
 フ。信長薨シ後。北畠具親。篠山ニ據ル。信雄擊テ之ヲ走
 ラス。是ヨリ先。一益信孝ヲ右ケ。豐臣秀吉ヲ除カント
 ス。秀吉信雄ト。一益ヲ長濱ニ攻ム。巳ニメ一益降ル。秀
 吉信雄ヲメ國ヲ併サシム。小牧ノ役。一益秀吉ニ應メ。
 國中諸城ヲ攻ム。徳川氏之ヲ救フ。一益乃チ降ル。秀吉
 東征ノ後。信雄ヲ出羽ニ徙ス。關原ノ役。諸城西軍ニ應
 シ。巳ニメ平ク。其後徳川氏。藤堂氏ヲ津ニ封ス。其他桑
 久居長島神戸薦野六藩アリ
 王改革新。皆廢シテ縣治トス。

伊賀誌

伊賀國ハ。北緯三十四度三十分餘ニ起リ。三十四度五十分
 至。東方一帶伊勢ニ界シ。北方一帶近江ニ接シ。西位山城
 ニ交ハリ。西ヨリ午ニ至ル迄。大和ニ界ス。[度寒暑。誠二十九
 ノ間ニ]其地南北稍長ク。[十五里丁]東西稍短ク。[九里]楢圓
 ノ狀ヲナセリ。國名張伊賀。四郡。村數百八十二。戶數二萬千
 九アリ。三重縣ヨ。四境皆山。平地少。伊勢大和ノ間ニ跨リ。其
 山脈左右ニ延キテ。東ハ七尾。長野。笠取等ノ諸嶺ニ亘リ。西
 ハ黒田。昨ニ連リ。山岳重疊シ。國ノ内外ヲ環擁シ。國中ニモ
 亦赤目。山勢起伏。赤岩尾ノ諸溪。誠ニ山間ノ一彈丸地ナリ。
 歐洲ノ瑞西アルカ如シ。山川鬱鬱。長田川。東南七尾ニ發源シ。
 手相繞フ。亦人間ノ桃花源ナリ。長田川。東南七尾ニ發源シ。
 西北ニ流レ。山城ニ入ル。之ヲ木津ノ上流トス。一水東北
 ヨリ來リテ之ニ合ス。服部川。其間ヲ上野トス。山城ノ地
 方ニ近シ。黒田川。大和ヨリ來リ。名張川ト合シ。復々西大

和ニ復ル。河南ニ黒田峙アリ。嗚呼夫レ最爾タルモ國ナ
リ。學者國ノ大小ヲ以テ。遠ニ其優劣ヲ論スル勿レ。此地
必爭ノ區ニ俯シテ。別ニ形勝ヲ占メ。澱河上浮ニ據リ。輕舸一
夜坂府ヲ指ス。徳川ノ高虎氏ニ與フ。豈意ナカラシヤ。蓋シ豊
公甲斐ヲ加藤光泰
ニ賜フト同臭味。

天武帝ノ時。伊勢四郡ヲ割テ此國ヲ置ク。戰國ノ時。國
中亂ル。北畠信雄。筒井順慶之ヲ征シ。十餘城ヲ拔ク。信
長乃チ之ヲ信雄。及ヒ信包ニ分賜ス。豊臣氏ニ至リ。筒
井定次ヲ封ス。徳川氏ニ至リテ。之ヲ藤堂氏ニ與フ。上
野
一藩アリ。王政革新。
廢シテ縣治トス。

附 小笠原島誌 一ニ無人島ト云フ

小笠原島ハ。支那人之ヲ波寧島ト云ヒ。歐人之ヲ「ボサンア
度二十七分十分餘ニ至リ。東經二
度十分ヨリ。二度三十分ニ至ル。東海道ノ東南洋中ニアリ。

島數總計九十有四。周廻十里餘ナルモ。八十一島。五
ナル者。北ニ父島アリ。南ニ母島アリ。父島ノ地。南北稍長
ク。東西之ニ半ス。内ニ鑛山。旭山アリ。東南隅ヲ巽岬ト云
ヒ。西南隅ヲ南岬ト云フ。西北ニ灣アリ。口。西ニ向フ。中ニ
二見港アリ。北至近ノ處ニ。兄島。弟島アリ。稍大トス。母島
ノ地。父島ト遙ニ相隔絶ス。凡ソ十
里許。其地形。南北甚々長ク。
東西甚々短シ。險夷相半ス。南方ニ乳房山アリ。東岸ノ南
方ニ小半島アリ。東岬ト云フ。次ニ石門岬アリ。其北ニ又
半島アリ。南ヲ片港ト云ヒ。北ヲ北港ト云ヒ。極北ヲ乾岬
ト云フ。西南ニ沖村港アリ。極南ヲ南岬ト云フ。南方ニ姊
島。妹島。姪島等アリ。昔中文祿中。小笠原貞頼。新地ヲ索メ。始テ
此島ヲ得。因テ島毎ニ其名ヲ命シ。而メ總テ號メ小笠原

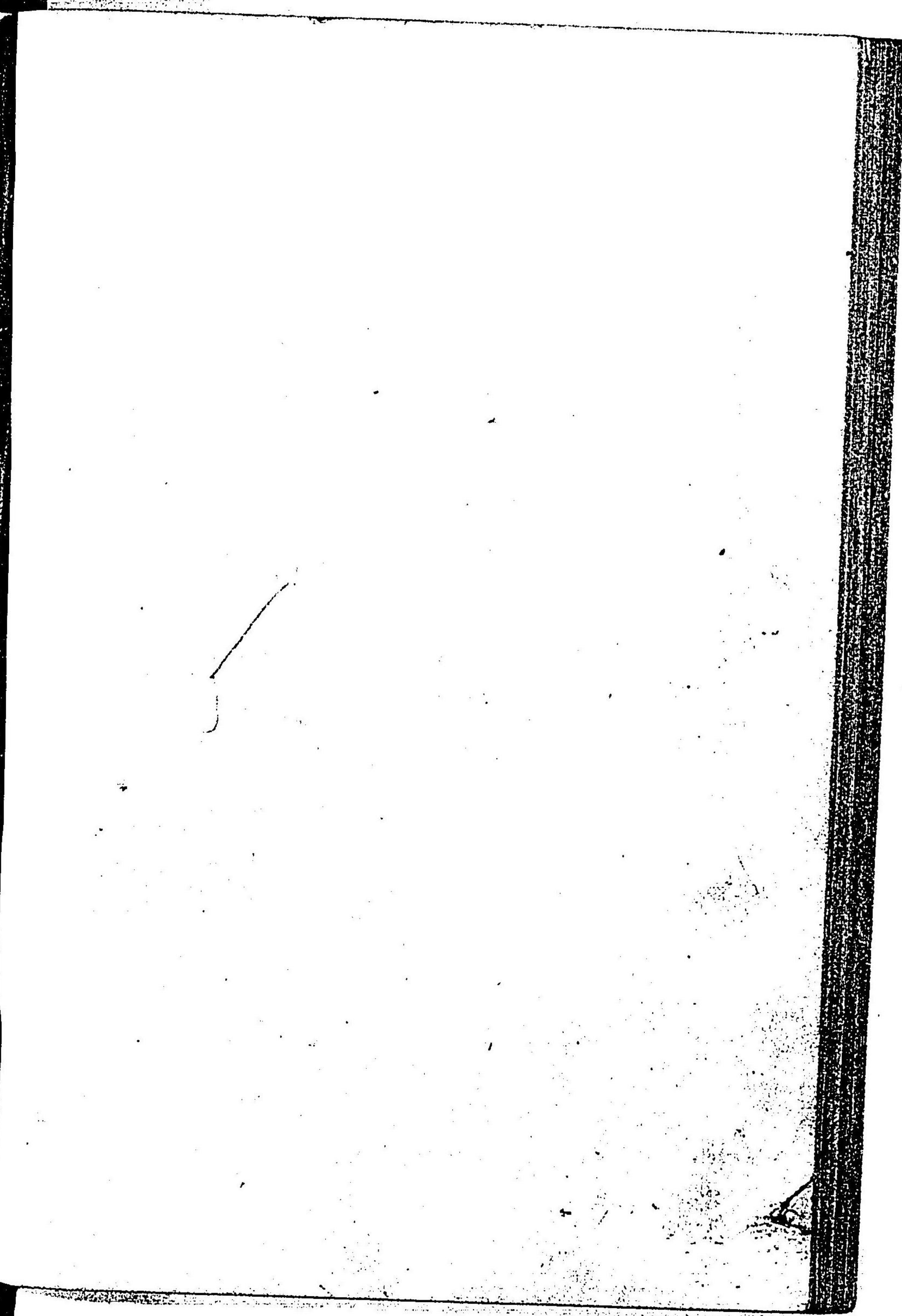
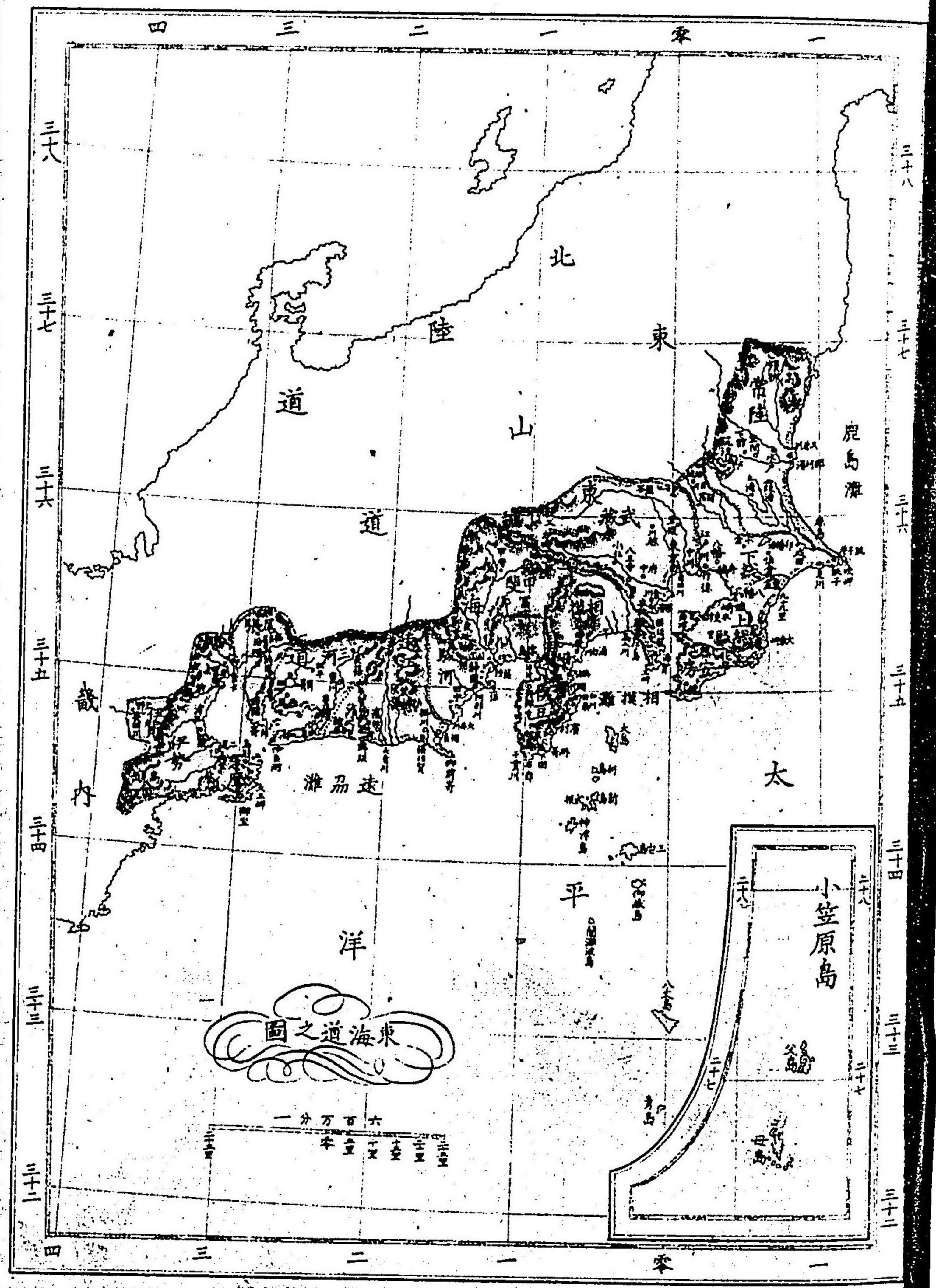
島ト云フ。嗚呼我國豈閩龍^{コウロン}其人無シトセンヤ。但得ル所ノ地。大小肥瘦。同カラサルヲ以テ。其名特ニ顯レサルノミ。島中季候。炎威殊ニ酷。産スル所。椰子。橄欖。龍眼。肉。檳榔。子。及ヒ甘蔗アリ。海中巨鼈。鯊魚甚々多シ。又鯨魚アリ。其餘蝦ノ如キハ。四五尺ニ至リ。其モ亦一尺五六寸ニ至ルト云フ。

文錄中。豐臣秀吉。小笠原貞頼ヲシテ。洋中ノ島嶼ヲ索メ。以テ所有ト爲ヘキヲ命ス。是ニ於テ貞頼。洋中ニ航出シ。始テ此地ヲ發見シ。永ク其所領トス。寛永中。故アリテ渡海中絶ス。享保中。貞頼ノ裔貞任。上書シテ。島ヲ檢センヲ乞フ。之ヲ許ス。後五年。貞任ノ姪長晁^{アキハ}。大坂ヨリ船ニ乘シ之ニ赴キ。島中ノ産物ヲ齎シテ歸ル。已ニシテ航海又已ム。文久中。幕府官人ヲ遣テ。又島中ヲ

巡察ス。

巡察ス

巡察ス



大 志

兵要日本地理小誌評註卷之二

中根 淑 著

近藤圭造 評註

畿内總論

北陸道ニ接シ

畿内ハ北陸道ニ接シ東東山東海兩道ニ接シ西山陰
 山陽兩道ニ接シ東南南海道ニ交ハリ南方海波ヲ受ク
 南北稍長ク東西稍短ク五國相依ル而ノ實ニ二府三縣
 五十五郡ヲ兼有ス五穀豐備茶葉綿花亦多シ京都ハ則
 テ五十桓武天皇定鼎ノ地地勢山河ヲ襟帶ス源平以來
 義仲平氏ヲ逐テ京ニ入ルヲ始メ承久延元ニ至リ南北
 戰國ニ及共京師ニ垂涎スル者時傑皆然リ故ヲ以テ屢
 敵ノ深入ヲ受クル者ハ思フニ戰ノ罪ナリ其能ク戰フ
 一滿ノ氏清ニ於ケル義弘ニ於ケル如キ一ハ之ヲ以テ是ヲ觀レハ

獨り地理ノ不便ノミニ非サルナリ比叡愛宕ハ東西ノ峻山之ヲ得ルト得サルト勝敗ニ關涉アリ。故ニ義仲、平氏都ヲ落チ、淺井朝倉、敵山ニ據レハ、信長勅旨ヲ藉リテ、兩山ノ京師ニ入ントスレハ、先ツ愛宕ニ據ル可キヲ議ス。ケル、東西ノ扼處、山崎、八幡、山勢相迫ル。亦是一大要處。〔辰ノ役、幕士方ニ謂フベシ。申〕而シテ淀河一道、舟楫甚タ便ナリ。大和ハ古昔七朝王城ノ在ル處。山陵今處々四面皆山。而シテ其山路皆要阨ノ地タリ。攝河ニ出ルモ、志貴、暗、龜、待、乳、竹、筒、トス。大和川、吉野川、亦國中ノ要處。天ノ紀、ル、名、張、川、ノ、木、津、ニ、合、ス、ル、モ、亦、類、ナ、リ。南方一帶山又山。重嶺幽谷、人跡ナシ。據ル出沒常ナシ。南朝ノ攻メ易カラサルユエン。其レ之ニ由ルカ。而シテ南風終ニ競ハサル者ハ。日本全國聲亦其地一隅ニ據ルヲ以テカ。是ヨリ紀伊ニ至ル。和歌山田

邊新宮ニ出ル。待乳竹筒、祖三道ヲ稱大トス。河内和泉ハ。攝津ニ接シ。地勢平夷。恰モ一國先ツ大坂ニ據レハ。俯シ以テ二國ヲ制スヘシ。堺ハ古ヘ外船ノ到ル處。後世大和川ヲ決シ。其北界、攝泉、海ニ入ル。而シテ河水多ク泥沙ヲ出シ。此際海底年ニ漸ク埋ム。今巳ニ良港ニ非ス。大坂ハ陸四方ノ衝路。而シテ地勢西南ヲ計ルヘシ。其東北ノ如キハ。山地ヲ以テ扼スルノ術ナシ。西南中國南海ハ。此故ヲ以テ。明治四年。第四軍管鎮臺兵ヲ置キテ以テ不虞ニ備フ。安治川以西ノ川。水潦ノ時。汎濫シテ。水皆小害アリ。大坂港ハ。兵庫ノ良キニ如カズ。其海ハ底淺ク波高シ。之ニ加フルニ武庫嵐アリ。時ナラス泊兵庫ハ。則チ我國第一ノ大港。其田ノ岬、海口ニ出シ。長シ。各地ノ船。必ス之ニ入ル。則チ一風浪ノ干城タルヲ以テ。長シ。各地ノ船。必ス之ニ入ル。則チ一

大緊要ノ地。建武ノ時ノ如キ。大坂未タ街路ニ非ス。特ニ楠河州ノ敵ヲ此地ニ防ク。蓋シ之ガ爲ノミ。

山城誌

山城國ハ。北緯三十四度四十分餘ニ起リ。三十五度二十方。大和ニ接シ。東南伊賀ニ界シ。西南河内攝津ニ交ハリ。西ヨリ北ニ至リテ。丹波ニ隣リ。東方一帶。總テ近江ノ彎形ヲ受ク。故ニ其地東ニ遜ソ。西ニ張ル。東西凡六里。南畧櫛ノ形ノ如シ。國中。高野。愛宕。乙訓。紀伊。八郡。村數四百五十二。百九十八。人口四十三。アリ。四圍皆山。而シテ連山。京師ノ三面。三萬千四百五十三。アリ。四圍皆山。而シテ連山。京師ノ三面。リ來ル者。別ニ其南ヲ擁。内甚タ坦平。此國及ヒ丹波ノ東方。桑田三郡ヲ合セテ。西京府トス。即チ三府ノ一ナリ。其中ニ舊皇居アリ。四方街衢。砥ノ如ク。矢ノ如ク。既ニ庶ニ

メ且ツ富メリ。長安不易居ト云フモ。非カ。其疆域ハ東西九條ニ分チ。今六條ヲ存ス。北。其西北ニ紫野。北野及ヒ金閣寺等アリ。鴨川。源ヲ三所ニ發ス。一ハ百井峠ニ出テ。高野川トナリ。川北方ヨリ來リ。府ノ東邊。荒神口。三條。四。テ過テ。南流シ。稍西ニ向フ。大堰川。丹波ニ出テ。高野川ニ合シ。西北ヨリ來リ。東南ニ流レテ。鴨川ト合ス。宇治川。近江ノ琵琶湖ヨリ發シ。西南ニ郡ノ界ニ驅セテ。鴨。二水ノ合流ヲ受ケ。國中ヲ横斷ス。其下流。右ヲ山崎ト云ヒ。左ヲ八幡ト云フ。〔西南地〕木津川。大和伊賀ノ際ヨリ。名張長田ノ二。來リ。笠置山ノ北ヲ過キ。或ハ西シ。或ハ北シ。八幡ノ北ヨリ。宇治川ニ入ル。其會流ノ處ヲ淀トス。一堡アリ。水。其東ニ大沼アリ。東北。巨沼。治河ノ間ヲ向島ト云ヒ。河北ヲ伏見ト云フ。

般賑ヲ以テ名アリ。市街浣川ニ臨ム。東西ノ要路ニシテ。運輸ノ便アリ。向島ノ東ヲ榎島及ヒ宇治トス。川ノ北邊。茶園多シ。其北ヲ醍醐山科トス。西ニ小山一帶アリ。尾山ヲ其西。鴨川ニ臨ム。其麓ニ伏見稻荷アリ。東福寺アリ。又泉涌寺アリ。四條帝以來。帝王ノ梓宮常ニ此寺ニ歛ム。其北ニ阿彌陀峰。豐國ノ社。ア清水祇園。華頂山。南禪寺アリ。總ノ之ヲ東山ト云フ。其北。近江ニ界スル處。比叡山アリ。山脈南ニ亘リテ。伊賀大。其西。鴨川ノ東岸ニ。加茂兩社アリ。其北方ニ鞍馬山アリ。其後ニ大悲之ヲ國ノ子位トス。又西北ノ山ヲ愛宕山ト云フ。山勢丹波ニ赴ク。下ニ月輪。梅尾アリ。其南ヲ嵯峨ト云フ。即チ大堰川ノ上流ニ當レリ。河南ヲ公嵐山トス。山水明媚。國中桓武以後ノ山陵多シ。産スル所。西。機織。清水。陶器及ヒ。宇治。茶。

葉諸國ニ甲タリ。

桓武帝ノ時。帝都ヲ此國ニ定メ。左右京職。東西市司ヲ置。事ヲ領ス。山背ヲ改メテ山城トス。保元中。崇徳ノ上皇。近衛帝崩メ。子ナシ。鳥羽法皇尋テ崩ス。上皇思ヘラシ。我子重仁即位ス。ヘシト。而シテ。法皇遺言。其子後白河帝ヲ立。是テ於。上皇復祚セン。フナ欲シ。白河殿ニ據リ。源。爲義。父子八郎。爲。ヲノ之ヲ守ラシム。後白河帝。源。義朝。平。清盛。等ヲ遣シ。以テ攻テ之ヲ陷ル。之ヲ我。國大亂ノ初トス。是ヨリ。清盛。寵。遇。日ニ優渥。清盛。藤原。通憲。ト善シ。通憲。貴ト欲ス。通憲。辭。テ。清盛。ト。婚。ス。時。ニ。藤原。信賴。通憲。ト。婚。セン。ト。惡シキ。ヲ。以テ。義朝。ヲ。引。テ。自。ラ。援。ケ。ト。ナ。ス。義朝。等。之ヲ除カント欲ス。平治元年。清盛。熊野ニ詣ル。義朝。等。遂ニ反ス。通憲。殺。清盛。之。チ。途ニ。開ク。衆皆愕然。重盛。曰ク。武。遂ニ還リ。擊テ之ヲ平グ。是ニ於テ。平。氏。勢。威。日ニ熾ン。

帝王ノ廢立皆其手ニ出ヅ。治承中源賴政以仁王ヲ奉
 平氏ト宇治ニ戰ヒ軍敗シテ之ニ死ス。而ソノ王平所討ス
 諸國ノ源氏並ヒ興ル。平氏大軍ヲ發シ源
 賴朝及ヒ義仲ヲ伐シム。皆敗レテ還ル。義仲兵ヲ率テ
 氏乃チ帝ヲ挾ミテ西海ニ奔ル。義仲尋デ京師ニ入ル。
 已ニソノ横恣暴行シ法住寺殿ヲ圍ミ帝及ヒ上皇ヲ幽
 上下
 之ヲ苦ム。賴朝二弟範賴義經ヲ之ヲ討セシム。義大
 ニ宇治範賴戰ヒ。瀨田ニ戰フ。義仲津取レテ粟
 義經一谷及ヒ屋。平氏ヲ亡ホシ。京師ニ在テ功名甚々
 高シ。又梶原景時ト隙ア。賴朝之ヲ惡ミ。僧昌俊ヲノ其堀
 川ノ第ヲ襲ハシム。克メズ。死ス。已ニソノ義經海ニ西
 奔
 ル。賴朝京都守。承久中。後鳥羽上皇。順德帝ト王政復謀

リ。兵ヲ遣テ鎌倉ヲ滅サントス。三道官軍途ニソノ皆敗ル。
 北條義時帝ヲ佐。及ヒ上皇ヲ隱岐海島ニ徙シ。兩政事府
 ナ六波羅ニ置ク。京畿山陰山陽南海諸州ノ政。後醍醐帝
 ニ至リ。北條高時ヲ討セントシ。事露ル。高時藤原資朝
 國長等ヲ殺シ。遂ニ帝ヲ海島ニ徙サントス。帝逃レテ笠
 置山ニ入ル。賊兵攻テ之ヲ陷レ。帝ヲ隱岐ニ徙ス。高時
 又足利高氏等ヲ京ニ遣リ。近國ノ官軍ヲ伐シム。高氏
 首鼠ノ意アリ。其勢ヒ歸順シ。却リテ松圓心等ト。六波羅
 敵ス可ラサルヲ見テ。諸制始テ舊ニ復ス。其後尊
 ナ破ル。車駕遂ニ京ニ還ル。大内ヲ營造シ。省司。其後尊
 氏。鎌倉ニ反ス。尊氏ハ即チ高氏ナリ。大舉シ。京師ヲ攻
 ム。官軍之ヲ勢田宇治及ヒ山崎ニ拒キ。皆破ラル。尊氏
 京ニ入ル。幾バクモ無シ。官軍敵山ヲ下リテ。賊ヲ京中
 二伐ツ。正成ノ智略泣キ男。義

貞ノ勇捍十六騎。敗シテ西ニ走リ。九國ノ兵ヲ率テ。皆功アリ。尊氏。再ヒ闕ヲ犯ス。帝又叡山ニ幸ス。新田義貞等。尊氏ト京中ニ戰フ。互ニ勝負アリ。尊氏詐リテ降ヲ容レ。車駕ヲ奉迎ス。義貞皇太子ヲ奉。已ニノ帝其賣ラル。大和ニ潜幸ス。之ヲ南朝トス。是ニ於テ尊氏別ニ皇胤ヲ選ヒテ之ヲ立ツ。之ヲ北朝トス。而ノ將軍府ヲ室。政皆尊氏ニ在リ。其後北畠顯信。新田義興。男山ニ據ル。尊氏兵ヲ遣テ之ヲ陷ル。後十餘年。南帝。男山ニ幸シ。楠正儀等ヲノ京ヲ攻シメ。北帝ヲ取ル。此後川頼春ヲ斬リ。義詮。是ヨリ南軍屢京ニ入ル。將軍義詮。戰ヒ敗レ。前後三タヒ出奔ス。後二十餘年。山名氏清反シ。京ヲ犯ス。將軍義滿。諸將ヲノ之ヲ伐シム。氏清戰死。

ス。是ヲ明德ノ初ノ後醍醐帝。大和ニ幸セシヨリ。南北分ル。五十餘年。北朝明德三年ニ至リ。遂ニ和ス。後五十年。將軍義教。赤松滿祐ニ弑セララル。是ヲ嘉吉ノ亂。政長兄弟。御靈林。應仁中。山名持豐。細川勝元。各大兵餘。萬ヲ擁シ。東西二軍。相國寺ヲ爭。屢叢下ニ戰フ。京師過半兵燹ニ罹ル。後四十年。香西元近。細川政元ヲ弑シ。嵐山ニ據ル。三好長輝。阿波ヨリ擊テ之ヲ殺ス。大内義興亂ニ乘シ。前將軍義尹ヲ奉。京ニ入ル。將軍義澄出奔ス。三好長輝。細川政賢。前後京ニ入リ。義興ト戰ヒ。皆敗死ス。義興。京ニ駐マル。十餘年。國用繼終ニ周防ニ歸ル。已ニノ細川高國。威ヲ京ニ振フ。三好元長。細川時元。阿波ヨリ來リ。高國ヲ桂川ニ破ル。又淺倉孝景ト戰フテ。

破ラル。將軍義輝テノ時。三好長慶及ヒ其臣松永久秀。共ニ威權ヲ專ラニス。義輝屢走ル。後遂ニ久秀ノ弑スル所トナル。其後織田信長。將軍義昭ヲ奉シ京ニ入ル。諸寇皆遁レ。輦下始メテ安シ。〔政大夫ニ在ルセノ五世陪臣國命ヲ執ル三世失セサルナシト。〕茲ニ至テ。巳ニ義昭兵ヲ集メ。信長ヲ圖ラントス。成ラズ。河内ニ放タル。足利氏亡フ。岩成左通。淀ニ據リ。和田惟政。芥川ニ據リ。信長ニ抗ス。信長攻テ之ヲ陷レ。遂ニ畿内及ヒ近國ヲ平定ス。〔所司代ヲ京師ニ置シ。此ニ始ル。〕後明智光秀反シ。信長ヲ本能寺ニ條忠ヲニ襲フテ之ヲ弑ス。居ルヲ數日。豐臣秀吉。兵ヲ率井テ來リ。諸將光秀ヲ山崎ニ敗ル。光秀夜走リ。土民ノ殺ス所トナル。秀吉天下ヲ平クルニ及ヒテ。伏見ニ城キテ之ニ居ル。秀吉薨シ。石

田三成。兵ヲ起ス。徳川家康。鳥居元忠ヲメ之ヲ守ラシム。西軍攻テ之ヲ陷ル。其後天下徳川氏ニ歸シ。〔亦所司代ヲ置キ。二條城ヲ築キ。山城大和丹波近江ノ皇室ノ大典。大率政刑ヲ統ヘシメ。伏見ニ奉行ヲ置キ。〕舊ニ復ス。孝明帝ノ時。毛利氏王ニ勤メ。故アリテ罪ヲ得。國老冤ヲ訴ヘ。兵ヲ引テ京ニ入ル。京兵之ヲ拒ギ。遂ニ大ニ戦フ。毛利氏ノ軍敗走ス。今上天皇ニ至リ。徳川氏政ヲ皇家ニ致シ。大坂ニ退ク。巳ニノ兵ヲ發シ。京師ニ入ントス。京軍之ヲ拒ギ。伏見。淀及ヒ八幡ニ戦ヒ。三戰皆勝ツ。〔王政革新。所司代及ヒ伏見奉行ヲ廢ス。〕尋テ天皇東征シ。玉ヒ。天下王家ニ歸ス。是ニ於テ。遂ニ都ヲ東京ニ遷ス。郡縣ノ制ニ復スルニ及ヒテ。此地ヲ以テ京都府トス。〔是ヨリ先。留守官ヲ置ケリ。尋テ淀藩ヲ廢シ。留守官ヲ府ニ併ハス。〕

大和誌

大和國ハ。北緯三十三度五十分餘ニ起リ。三十四度五十分餘ニ至リ。西經三度四十分餘ニ起リ。四度十分餘ニ至リ。南方紀伊ニ斗入シ。東ハ伊勢西ハ河内ニ接シ。而シテ北方伊賀山城ニ交ハル。地形南北長ク。〔凡二十〕東西稍短ク。〔凡十〕東ニ向フテ畧凸字形ヲナセリ。國中添上添下平原。城下。十市。廣瀬。高市。葛上。宇智。吉野。十五郡。村數一千四百五十六。人口四十九萬三千四百五十六。今廢。南ニ近キ。國半一帶ハ。總テ吉野郡ニ屬ス。郡中皆山。山峯層疊。香トシテ人跡ナシ。國ノ北ニテ。紀伊國疆ニ至レハ。山峯層疊。部ハ。連山東西ニ限リ。其餘地ハ。皆平夷。々々ニ起テ。岡陵處。國ノ中央ニ吉野山アリ。山中櫻樹多シ。落殘老僧。時ニ擁シテ。其南ニ聳ユル嶺ヲ。大峰ト云フ。其東方ニ大臺山アリ。山上原ヲ。南中北ノ三ニ分勢。伊賀ニ。山北ノ湖。巴ガヨリ出ル水。諸水ヲ合セテ。南

筒 入リ。再ヒ竹。紀伊ニ入ル。之ヲ北山川トス。十津川源ヲ。大峯ニ發シ。山間ヲ曲流シ。南ニ赴キ。吉野川亦東方ヨリ發深谷間ノ衆流ヲ併セ。熊野ニ入ル。水シ。吉野ノ北ヲ過キ。西流シ。紀伊ニ入ル。大抵此水ヲ以テ。國ノ中間トス。吉野ト川ヲ夾ミテ。高取アリ。其東方國境ニ高見山アリ。西方國境ニ葛城アリ。三所畧一直線トス。高取ノ東北ニ。多武峯アリ。一水長谷地方ヨリ發シ。國ノ其北方ヲ過キ。屈曲シ。奈良川相川廣瀬川ト會テ。西河内ニ入ル。之ヲ大和川ト云フ。河内ノ境ニ在テ。此川ノ南ニ在ル山ヲ二上岳ト云ヒ。北ニ在ル山ヲ信貴山ト云フ。其北ニ十三峠。暗峠。生駒山等アリ。信貴ノ東ヲ龍田トス。其東北ヲ郡山トス。又其東北ヲ奈良トス。文平城ニ作リ。或使テ國ノ極北ナリ。此地桓武以前。帝王七代。王城ノ在シ處タリ。

故ニ市街今猶 山ニ據テ春日社アリ。鹿多シ。而ノ謂フ所
 南都七大寺〔興福東大西大唐招〕亦多ク此際ニアリ。高キ
 ニ登リテ之ヲ望ムニ。懷舊ノ情自ラ生ス。南朝四百八十
 寺。多少樓臺烟雨中。其レ是ヲ謂フカ。大凡高取迤北。此際
 ニ至リテ。古代帝王ノ山陵多シ。又東北隅伊賀ニ近キ處
 ナ月瀬ト云フ。野梅多シ。國玉石漆墨葛粉木綿麻布ヲ産
 ス。ナラサラン

神武帝日向ヨリ興リ。大和ニ入リ。長髓彦八十梟帥等
 ナ誅シ。檀原ニ即位シ玉フ。之ヲ人皇ノ始トス。用明帝
 ノ時。厩戸皇子。蘇我馬子。佛法ヲ信シ。佛ヲ闢ク。物部守
 屋ト隙アリ。兵ヲ遣リ。攻テ守屋ヲ殺ス。皇極帝ノ時。大
 蘇我入鹿ト父蝦夷威福ヲ擅ニス。皇子中大兄。藤原鎌足

ト謀リテ之ヲ亡ホス。蓋シ入鹿ヲ殿上ニ斬リ。皇子後
 位ニ即ク。之ヲ中興ノ聖主トス。天智帝トス。帝崩シ。弘文帝立ッ。
 叔父大海人吉野ヨリ興リ之ニ代ル。壬申ノ亂之ヲ天
 武帝トス。桓武帝ニ至リ。都ヲ山城ニ遷ス。嵯峨帝ノ時。
 藤原仲成ノ亂アリ。治承ノ亂ニ興福東大兩寺。源賴政
 ナ援ク。平重衝攻テ之ヲ燒ク。大佛殺傷甚々多シ。後醍
 醐帝ノ時。護良親王。此地ニ潜匿シ。壘ヲ吉野ニ築キ兵
 ナ集ム。已ニノ城陷ル。村上義光王ニ親王。吉野ニ走ル。
 其後足利尊氏反シ。帝吉野ニ幸ス。是ヲ南朝トス。後高
 師直等。大軍ヲ率。楠正行ヲ破リ。吉野ヲ犯ス。後村上帝
 ノ吉野賀名生ニ幸ス。四十餘年ヲ經テ。三年。南北終ニ和
 ス。戰國ノ時。松永久秀。三好長祿ト戰フ。長祿敗ル。後筒

井順慶半國ヲ畧有ス。織田信長久秀ヲ之ヲ攻シム。順慶降ル。因テ其地ヲ與フ。後信長久秀ヲ誅ス。豐臣氏ニ至リ。簡定次ヲ伊賀ニ封シ。其弟秀長ヲ封ス。秀長卒シ。嗣秀俊幼ナルヲ以テ國除カレ。增田長盛ヲ郡山以テ封ス。關原ノ役。後遂ニ徳川氏ニ歸ス。封ヲ受クル者。郡山高取七藩。又奈良。其季年。客士相集リテ。天誅黨ト號シ。尊攘ノ說ヲ張リ。幕府ノ姑息ヲ憤リ。五條ノ縣令。鈴木ヲ襲殺シ。進ミテ高取ヲ攻ム。拔ク能ハス。天川ニ據ル。幾ハクモ無ノ近國ノ兵。來リ撃テ之ヲ平ク。主政革新。奈良府ヲ置。皆廢シテ。縣治トス。

河内誌

河内國ハ。北緯三十四度二十分ニ起リ。三十四度五十分餘。東ハ大和。南ハ紀伊。西ハ和泉。攝津ニ正界シ。北頭角ヲ攝津

山城ノ間ニ挿ム。其地南北長ク。〔凡十〕東西甚々狹シ。〔凡四〕形ヲ圭ニ似タリ。國中交野。讚良。茨田。若田。河内。高安。大縣。安部。錦。十六郡。村數五百六十二。戶數五萬三千四百一。あり。界縣ニス。境域山多シ。獨リ攝津ニ接スル處甚々平易トス。西南隅ニ藏王峠。九重峠等アリ。東南隅ノ山ヲ千早トス。楠公ノ城址アリ。一片孤城万仞山。遙々俯シテ海西ヲ望ム。當時ノ事想ヒ見ルヘシ。一門併死ノ英靈ヲ招キ。忠肝見做ス。其後ヘニ金剛山アリ。山脈左右其北ニ赴ク。篠峯ニ上岳。龜瀨嶺。十三峠。暗峠。一帯ノ山アリ。西ニ赴ク。紀見峠。及山城ノ界ニ洞峠アリ。大和川。大和ヨリ來リ。國中ヲ横截ス。南方數水一ハ西條川ト曰フ。歳王九重峠ニ發水ス。合ノ一トナリ。北流ノ之ニ入ル。之ヲ石川ト云フ。其合流ノ西南ヲ道

明寺及ヒ。譽田トス。其末狹山池ノ下流ヲ。河北ニ當リテ。八尾若江アリ。恩知川玉串川大和川ヨリ分レ。其東西ヲ過キ。北出ル處ヨリ寢屋川ニ入ル。其合流ノ東北ニ當リテ。飯盛山アリ。天川船橋川モ亦國ノ東北ヨ。而ノ北攝津ニ接スル處。淀川ヲ以テ界トス。國中古代及ヒ南朝天子ノ山陵アリ。産スル所。木綿アリ。

古昔反正天皇丹比ニ都ス。後世國後醍醐帝笠置ニ幸シ。府ヲ大縣郡ニ置ケリ。元弘元年。勤王ノ師ヲ興シ。赤坂玉フ時楠正成。師一旅アリ。勤王ノ師ヲ興シ。赤坂ニ城ク。軍糧未ダ。東兵之ヲ攻メ。死傷甚タ多シ。正成。一旦城ヲ捨ツ。遁レテ金剛山ニ。巳ニ計ヲ以テ又之ヲ取リ。別將湯淺ヲ守ラシム。東軍大ニ至リ。攻ム。屈セス。絶城復陷ル。是ヨリ先正成別ニ金剛山千岨ニ城ク。

東軍隨フテ之ヲ圍ミ。又大ニ敗ル。及テ。數度高時伏誅ニ。又飯盛山ニ屯ス。正南北朝ノ時。楠正行細川顯氏ノ兵ヲ。譽田ニ破ル。後正行高師直ト四條畷ニ戰フテ之ニ死ス。將軍義滿ノ時ニ至リ。山名氏清赤坂ヲ取り。畠山義深。千岨ヲ陷ル。而メ州ノ守。其子基國。國中ヲ徇ヘ。古市郡ヲ守護代。後孫畠山義就。義兄政長ト相闘シ。屢國中ニ戰フ。義就敗レテ吉野ニ走ル。數年ヲ歷テ。政長同族義豐ト相惡シ。又國中ニ戰フ。互ニ勝負アリ。而メ政長遂ニ戰死ス。國義豐ニ歸ス。高政ニ至リ。永祿三年。三好長慶ト攝津ニ戰ヒ。敗レテ出亡ス。長慶其地ヲ併セ。織田氏ノ時。三好康長高屋ニ據リ。大坂ノ一徒ト相應ス。信長討テ之ヲ平ク。後松永久秀。信貴ニ據リ反ス。信長世子信忠

ヲノ之ヲ攻シム。久秀自殺ス。豊臣氏ノ時諸城ヲ廢大坂
夏ノ役後藤基次。木村重成等東兵ヲ此地ニ拒キテ戰
死ス。德川氏ノ時封ヲ受ル者丹南狹山二
藩王改革新皆之ヲ廢シ縣治トス。

和泉誌

和泉國ハ北緯三十四度十分餘ニ起リ三十四度三十分餘ニ
北攝津ニ接シ東ヨリ南ニ至ルマテ河内紀伊ニ接ノ弓
樣ヲナシ西方一帶淡路島攝津ノ一大海灣ヲ擁ス之ヲ
海ト南北地長ク凡六東西短シ凡四丁形ヲ舟ヲ歛ツガ
如シ疆場山嶺多ク其餘皆平坦土地陋小ト雖モ甚タ膏腴
東ニ槇尾山牛瀧山葛城嶺アリ南ニ井關箱作孝子畑諸
嶺アリ紀伊ノ境ヲ最攝津ニ近キ處大和川ノ一大市街
アリ堺ト云フ鍛冶多シ古へ各地ノ商船皆此港ニ集リ

シト云フ其南ニ石津川アリ二源アリ一ハ鉢ヶ峯ニ發シ
上神谷川ト云一ハ陶器山ニ
川ト云フ井又南海濱ヲ高石濱ト云フ其東ヲ信太ト云
フ又南ニ大津川アリ槇尾山ニ發水ス其南海濱ヲ岸和田ト云
フ此地稍國ノ半タリ次ニ津田近木三手瓦屋岡田男里
諸川アリ最南ニ淡輪川深日川アリ其廣キ者ハ七八間
其狹キ者ハ一二間ニ過キス而シテ此水皆國ノ東邊ニ出
テ西海ニ朝宗ス平時皆沙磧ニシ唯霖
雨ニ水流ヲ見ル又南ニ小港アリ之
ヲ國ノ西南隅トス國中大鳥和泉
泉南日根四郡村數三百三十八
戶數五萬千三百
萬二千二百五十一アリ治ヲ堺ニ置キ堺縣ト云フ全
國及ヒ大和河内ヲ統治ス産ス
ル所刃器海魚アリ燈臺三所アリ堺岸
和田及ヒ谷川トス
元正帝ノ時河内三郡ヲ割テ此國ヲ置ク府ハ和泉
郡ニアリ文
治中源行家義經ト相失シ此地ニ至リ左馬頭能保ニ

殺サル。時ニ守護ヲ其族和原義運ト云フ。建武中興。楠氏足利氏ニ至リ。山名氏清ヲ堺ニ居ラ。大内義弘此地ヲ領ス。後反シ界城ニ據ル。京軍之ヲ攻ム。義弘戰死ス。因テ細川滿元ノ領スル所タリ。大永中晴元堺ニ據テ。本州ニ取リ。慶又之ヲ。後松永久秀。三好氏ト隙ヲ生シ。堺ニ據ル。三好氏大舉シ之ニ逼ル。巳ニソ平ク。織田氏之ヲ降シ。國豐臣氏ノ時。此地ヲ以テ。其弟秀長ニ加賜ス。秀長嗣絶。坂ニ隸ス。徳川氏ニ至リ。堺ニ奉行ヲ置ク。岸和田伯太二藩アリ。王政革新。吉見ヲ加ヘテ三藩トナル。尋テ悉ク之ヲ廢置シ。縣ヲ

攝津誌

攝津國ハ。北緯三十四度三十分餘ニ起リ。三十五度餘ニ南和泉ニ接シ。東河内ニ界シ。東北山城ニ交ハリ。北丹波ニ連

ナル。西播磨ニ接スル處。長ヨリ坤ニ開ク。全土西南ニ海ヲ受テ。矩形ヲナシ。南地窄ク北地寛ク。形ヲ大靴ノ如シ。東西凡十二里。國中東成。西成。住吉。島下。島上。豐島。十二郡餘。南北凡九里。國能勢。河邊。武庫。菟原。八部。有馬。十二郡。八千四百七十三萬九百四十三アリ。府ヲ大坂ニ置キ。七郡ヲ治ム。郡ヲ治メ。兵庫縣ヲ置キ。五郡。靴踵ノ半ニ當ル所ヲ。大坂府トス。即チ三府ノ一ナリ。城高ク池深ク。運河縱橫。東西横堀長堀。人家稠密。巨商衆シ。實ニ中州ノ學校アリ。病院アリ。造幣寮アリ。此ノ地勢。西ハ南海。及ヒ中國ノ要民ノ竈日ニ益賑ヘリ。城南ニ高津。真田山。天王寺。茶白山。及ヒ安倍野アリ。次ニ住吉。大和川アリ。之ヲ國ノ極南トス。平野川。河内ヨリ國ノ東南ニ入リ。寢屋川。鯉江川。正東ヨリ入リ。城北ニ至リ。合ノ淀川ニ入ル。其東ニ鳴野。今福アリ。〔元和ノ古戰場〕淀川。東北ヨリ

國境ニ沿フテ流レ。江口ニ至リテ西ニ分ル。之ヲ神崎川ト云フ。河口。海隅ニ當レリ。又長柄ニ至リテ。分流スル者ヲ中津川ト云フ。即チ古ノ長而ノ本水。城北ヲ過キテ。西海ニ入ル。其難波橋下ヨリ。南北ニ分ル。其ノ南ヲ土佐堀子島ニ至リ。再分ル。江ノ其下流ヲ安治川ト云フ。外國人居鐵橋ヲ架ス。長サ四五間。中心柱下。臼形ノ石ヲ置キ。橋腹ヲ受ク。梁間八間五尺。諸舟ノ來ル。旋轉開闔。以テ通行ヲ妨ケズ。河口ノ南ニ小丘アリ。天保山ト云フ。其下。落潮ノ時。水底安治川ヨリ西南ニ支流スル水ヲ木津川ト云フ。地理ヲ者。淀河南北ヲ以テ。國ヲ分ツ。其北ニ田。隴村市相望。東河南泉ニ至ル。モノ以南ノ地ナリ。其以北ノ如キハ。岡陵相連リ。其奥山岳。國ノ北方ニ當リテ。一大懸水アリ。箕面瀧ト云フ。其西ヲ多田トス。下流ヲ箕面。其際諸水合ノ池田川トナリ。分レテ猪名川。茂川トナリ。神崎川ニ合ノ海ニ

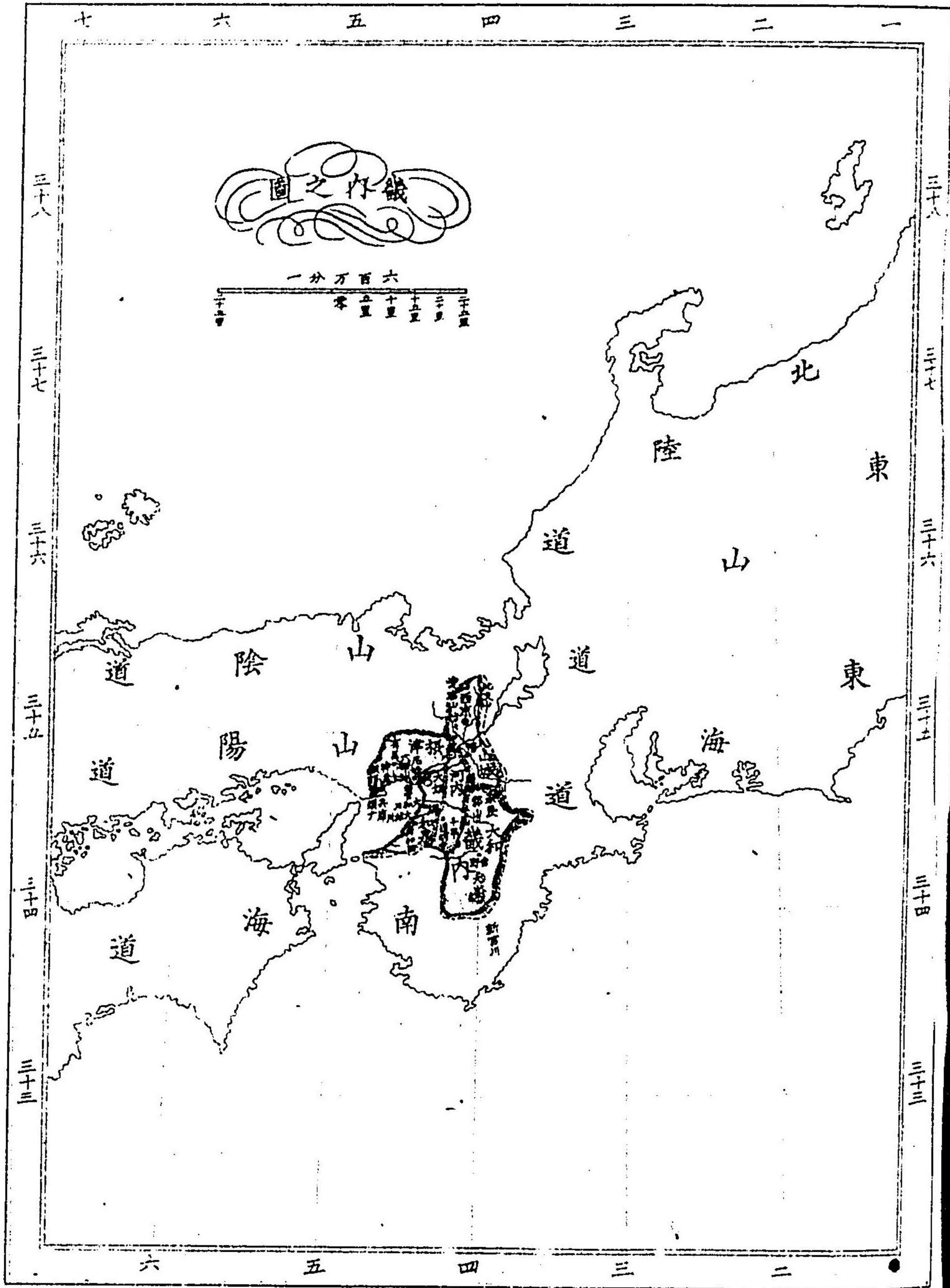
落ツ。河口ヲ尼崎トス。其西武庫川。津戸川ヲ經テ。西宮アリ。又西ニ蘆屋川。生田川。湊川等アリ。以テ兵庫ニ接ス。而シテ其北ニ甲山。武庫山。六甲山。麻耶山アリ。皆東西ニ連リ。ナス。南ハ海。北ハ有馬。麻耶ノ麓。生田川ノ上ニ。布引瀧アリ。二層ニ注下ス。故。生田ノ西ヲ神戸トス。湊川ノ西ヲ兵庫トス。湊川神社。福原都趾。近歲兩地。湊ヲ開クニ及ヒ。洋船來集シ。賀易日ニ盛ナリ。近日是ヨリ大坂ニ至ル迄。汽車鐵路ヲ砌ス。港ノ南ニ岬アリ。海中ニ和田岬ト云フ。岬頭東ニ指ス。傳ヘ云フ。昔平相國。此岬ヲ築キ。港中ノ船ヲシ。風波ノ險ヲ避シムト。灣内。巨艦數百ヲ泊セシムベシ。其西刈藻川。妙法寺川アリ。又一谷アリ。其上ニ屹立スル山ヲ。鏡枒峯及ヒト云フ。凡ソ此數十所。皆海邊ニ在リ。其鏡枒峯ハ。即

メ。海濱ヲ須磨浦ト曰フ。前ハ一水ヲ隔テ、淡路島ニ對シ。白沙
 青松相映シテ。西播磨ノ舞子濱ニ連リ。風光明媚愛スヘシ。古
 テ稱セラル。以テ而シ山ノ北。地勢遼濶ト雖モ。地ノ説ヘキ
 ナシ。獨リ六甲山ノ後ヘニ當リテ。有馬山アリ。西北國境
 起伏シ。著名ナル山嶺。温泉ヲ生ス。病ヲ療スベシ。産スル所。酒
 及ヒ花剛石。池田アリ。燈臺三所アリ。天保
 古ヘ浜速。仁德帝。難波ニ都シ。宮室ヲ卑フ。人民ヲ富
 國ト曰フ。堤防ヲ築キテ。力ヲ溝洫ニ盡シ玉フ。孝德帝長柄豊
 シ。武帝攝津職ヲ置キ。延暦。後世源滿仲。多田ニ居ル。其子孫
 中。府ヲ西生郡ニ置ク。後世源滿仲。多田ニ居ル。其子孫
 ナ攝津源氏ト云フ。治承中。平清盛都ヲ福原ニ遷シ。數
 月ニシテ舊京ニ復ス。其後平氏帝ヲ挾ミテ四國ニ走リ。
 遂ニ海ヲ渡リテ。一谷ニ據ル。源軍東西ヨリ之ヲ攻ム。
 義經親ヲ輕兵ヲ率井。後山ノ巔ヨリ。鼓ヲテ之ヲ襲フ。

平氏大ニ敗レ。將帥多ク死ス。後テ頼朝。大内惟義ヲ
 醍醐帝ノ時。楠正成賊兵ヲ天王寺ニ破ル。居ル。月餘
 宇都宮公綱兵ヲ率井テ至ル。正成計ヲ以テ之ヲ退ク。
 兼武中興。楠氏。足利尊氏。關ヲ犯シ。軍敗レテ西ニ走ル。
 義貞。正成等追撃ノ之ヲ豊島ニ破ル。尊氏九州ニ奔リ。
 又兵ヲ舉テ東ニ犯ス。正成之ヲ湊川ニ防キテ戰死ス。
 義貞亦敗レテ京ニ還ル。帝南走ノ後。北畠顯家。高師直
 ト安倍野ニ戰フテ之ニ死ス。後楠正行。山名時氏ヲ瓜
 生野ニ破ル。其守護ハ楠氏ノ後。佐々木秀詮ヲ置ク。後細
 ヲシム。代々。足利氏ノ季年。細川澄元。同族高國ト戰フ。池
 伊丹諸族競ヒ起リテ。高國奔ル。國分。澄元没スルニ
 彼此相應ス。而シテ遂ニ。高國奔ル。國分。澄元没スルニ
 及ヒテ。高國國中ヲ徇ヘ。尾崎ニ城キテ之ニ居ル。數年

ヲ經テ高國三好元長ト天王寺ニ戰ヒ軍敗レテ獲ラ
 ル。後三好長慶等細川高國カ義子晴元三好宗三ト屢
 國中ニ戰フ。宗三敗死シ。晴元奔ル。其後畠山高政。三好
 實休ト戰フテ之ヲ獲。又長慶ヲ圍ミ。敗レテ奔ル。後池
 田勝政和田伊賀守イハタキ茨木佐渡守ト稻寺白井シロイ積ノ際ニ
 戰ヒ。擊テ之ヲ殺ス。織田信長勝政ヲ征ス。勝政降ル。而
 ノ三好康長等野田福島ニ據リ。本願寺主僧光佐石山ニ據
 ル。信長之ヲ攻テ利アラヌ。巳ニ信長。和田惟政ヲ誅シ。勝政ヲ逐ヒ。
 荒木村重ヲノ國中ヲ定メシム。後村重伊丹ニ據リ。信
 長ニ反キ。城遂ニ陷ル。池田信輝。就テ其地ヲ有ツ。豊臣秀吉天下ヲ
 定ムルニ及ヒテ。信輝ノ封大ニ石山ニ城ク。之ヲ大坂
 城トス。秀頼ニ至リ。徳川氏ト隙ヲ生ス。東軍之ヲ圍ミ。

數寨ヲ拔ク。因テ共ニ平ク。明年大坂再ヒ兵ヲ聚ム。東
 軍又之ヲ圍ミ。城遂ニ陷ル。豊臣氏亡フ。徳川氏乃チ松
 平忠明ヲ封ス。巳ニ忠明ヲ移封シ。城代ヲ置キ。攝河
 士ヲ統シメ。又成及ヒ騎歩卒ヲ置テ。之ヲ守ラシム。後奉行ヲ兵庫ニ
 者尼崎三田高槻麻田ノ四藩アリ。天保中。天下大町與力大鹽平八郎亂
 ヲ興シ。兵ヲ率非テ市廳ニ逼ル。城代加番ノ兵迎ヘ戰
 フ。賊兵敗ル。大鹽出奔シ。後遂ニ自刃ス。十四世將軍家
 至リ。毛利氏ヲ討スル時。大軍ヲ率井テ。大城ニ在リ。軍
 半ニノ薨ズ。大軍東ニ還ル。十五世將軍喜ニ至リ。職ヲ
 解テ大坂ニ退キ。兵ヲ引テ京師ニ入ントス。京兵之ヲ
 拒ク。東兵三ヒ遇テ三ヒ北ク。遂ニ大ニ奔ル。天下朝廷
 ニ歸スルニ及ヒテ。大坂ヲ以テ三府ノ一トス。又兵庫



東山道總論

東山道ハ其多山ナル。西畿内ニ接シ。南東海道ヲ受ケ。北陸道ニ靠リ。最北三方海水ヲ帶フ。坤ヨリ艮ニ亘リテ

十三國ヲ連テ。實ニ十六縣〔今十縣〕百三十一郡ヲ包轄ス。而

其信濃ハ我國地脈ノ起ル所。其起リテ左降スルモノ。兩野ト
ス。兩野ノ脈。與羽ヲ割シ。東北伏シ。其脈ニ派ニ分ル。其ハ越前
起リテ右降スルモノ。美濃ト薩摩ニ至リテ極ル。其右チ
若狹ト經テ伏シテ復タ起リ。薩摩ニ至リテ極ル。其右チ
山陰ト伊豫ト共ニ至テ極ル。故ニハ山城ヲ經テ伏シ。復タ起リ。南
海ノ尾。皆脊梁ノ骨。出リテ梁ノ骨ノ左チ兩裔ノ水。廣キト爲ス。東
二骨ノ散殊。骨ノ出リテ梁ノ骨ノ左チ兩裔ノ水。廣キト爲ス。東
梁ノ骨ノ散殊。骨ノ出リテ梁ノ骨ノ左チ兩裔ノ水。廣キト爲ス。東
右ノ裔ノ注シテ水ノ注スルモ。兩裔ト爲シ。城邑ト爲ス。東西行
ス。兩裔ノ注シテ水ノ注スルモ。兩裔ト爲シ。城邑ト爲ス。東西行
旅。皆兩裔ノ注シテ水ノ注スルモ。兩裔ト爲シ。城邑ト爲ス。東西行
中。皆兩裔ノ注シテ水ノ注スルモ。兩裔ト爲シ。城邑ト爲ス。東西行
方諸國。米穀甚タ長。近江美濃。上野以北ハ。蠶多ク米豐カ。
牛ヲ牧シ。馬ヲ養ヒ。海ヲ炎〔鹽ヲト〕山ヲ鑄ル〔鐵ヲ出〕而ソ

古昔蝦夷ノ巢窟タリ。因テ鎮府ヲ置テ。之ヲ鈐制ス。磨針（東近江）。一方ノ要地。以東街道（伊吹ノ山）。一昂一低。合（羽柴）。渡川（以テ信孝追躡スル能ハス）。木曾川（織田信長ノ此河アル）。鳥井峠（木曾美昌ノ勝）。和田峠（近時松本諏訪ノカ爲ナリ）。鳥井峠（頼ヲ敗ル所）。和田峠（武田耕雲齋ヲ禦所）。亦一時防禦ノ地。千隈川。水勢急迅。下流ニ至リテ。波流漸ク大。我レ得レハ利。武田上杉ノ川中島ニ戰フ。宜ナル哉。而シ其海津（今ノ）ニ城キテ以テ。越後ニ備フ。亦機山ノ地理ニ明ナル所（然レモ高坂美昌其人）。淺間山。時アリテ灰石ヲ噴出シ。遠近ヲ害ス。碓氷峠ノ險。箱根ト相敵ス。亦一大要地。其守ルヘキヲ知ラス。屢出戰ス。義宗ノ敗。上野ハ。新田氏兵ヲ舉ルノ地。利根川。上野ニ在テ。早已ニ巨流タリ。其下流ノ大。推テ知ルヘシ。下野ハ。足利氏ノ興ル處（尊氏地ニ據リテ事ヲ舉ルニ）。

非ス（新田氏）。日光ノ山（其北會津）。那須ノ原（奥羽囊口）。亦兵家者ニ異ナリ。日光ノ山（連リ）。那須ノ原（ヲ開ク）。亦兵家者ノ意ヲ用フヘキ者。迤北白川絶險（古ヘ秀衡囊ヲ括ル）。謂フ所一夫當路。萬夫不得進者。古昔東北ノ永ク條緒ニ就サル者。抑（以アル）。哉。是ヨリ北。舊陸奥出羽兩國タリ。其地甚々曠莫ナルヲ以テ。近歲之ヲ分ケテ七國トス。明治四年ニ至リ。鎮臺兵ヲ仙臺ニ設ケ。以テ四方ニ備フ。亦鎮府ノ遺意カ。會津ノ地。四圍皆山。羣名氏之ヲ以テ伊達氏ニ滅ボサレ。蒲生氏之ヲ以テ伊達氏ヲ制ス。用兵如何ト顧ルノミ。阿武隈川。北方ニ在テ大河ト稱ス。此際出羽ヲ連子テ。地勢羊腸平地多シト雖トモ。大概皆田畝。思フニ獨眼籠（伊達政宗）ノ騎戰ニ長スル（其上國ニ戰フヤ。真田幸村之ヲ破ル。亦將勇ナル者勝ツノ謂ヒカ）。當時田園未タ開ケサルニ由ルノミ。今時ハ則チ嚴寒水

雪凍合スルニ非サレハ。以テ之ヲ用フル能ハス。〔文意頗ル費解〕
 氷雪合セハ之ヲ川上ニ用フルノ義カ。仙臺以北。河流甚々多シ。而シテ北上川ヲ以テ最大トス。南朝ノ時。南部氏獨リ王ニ勤ム。其足利氏ノ制ヲ受サル。亦地理之カ助ケトナルカ。兩羽亦山險多シ。且酒田御物能代諸水アリ。而シテ其通道ハ。則チ海邊平夷ノ地ニ從フ。其山脊ヲ踰テ。東奥ニ出ル。幾十路ナルヲ知ラス。東方仙臺最北青森ノ際。亦是要害ノ地。

近江誌

近江國ハ。北緯三十四度四十分餘ニ起リ。三十五度四十分餘ニ至リ。西經三度二十分ニ起リ。四度餘ニ至ル。東西三十六里。南北北。越前ニ界シ。東。美濃伊勢ニ接シ。南。伊賀ニ交ハリ。西。山城丹波。及ヒ若狹ニ隣ル。地形南ヨリ北ニ向フテ。長圓形ヲナシ。而シテ東北一角ヲ張出ス。〔連山四境ヲ圍繞シ。國〕

中大湖アリ。其形ヲ琵琶ニ似タルヲ以テ。琵琶湖ト云フ。我國第一ノ大湖ナリ。東西十里。南北二十里。湖東地稍廣シ。之ヲ東近江トス。湖西地稍狹シ。之ヲ西近江トス。全國粟太。甲賀。野洲。蒲生。神崎。愛。十二郡。村數千五百三十。戶數十三。知。犬上。坂田。淺井。伊香。高島。南方ニ横田川アリ。西流シ。千九十九アリ。滋賀縣ト云フ。南方ニ横田川アリ。西流シ。湖ニ入ル。北ニ水口。三上山アリ。南ニ甲賀山アリ。〔同名ノ山間ノ別土ニシテ。伊賀國界ニ接ス。飯道寺山。油日山等アリ。田上川源ヲ境上ノ山間ニ發シ。信樂ヲ過キテ西ニ赴キ。瀨田川ニ入ル。大戸。黑津。〕其西方ヲ瀨田トス。湖勢此ニ至リテ漸ク盡キ。道リテ瀨河トナリ。官道ヲ横截スルヲ以テ。架ス。長橋是ノ山城ニ落ツ。兩山ノ間。激流噴白。之ヲ獅々飛ト云フ。ナリ。其水。山城ニ落ツ。我カ。尼亞。吉拉ト云フ。モ。亦誰カ不可ト。山峽ヲ出ツ。之ヲ宇治川ト云フ。其西岸ニ石山。膳所。大津。三井寺アリ。其北。湖ニ臨ミテ。滋賀。唐崎。堅田アリ。其上ヲ

比叡山トス。古時山中甚々盛ン。今日ニ寂寞タリ。山麓ニ祠アリ。靈威炳然。其北ノ山ヲ比良山ト云フ。三尾朽木ノ諸山ヲ控ク。其北ニ阿戸川。百々瀬川等アリ。以テ湖北ニ至ル。湖ノ極北ニ島アリ。竹生島ト云フ。天女廟アリ。又多氣島アリ。奥仲ノ二島アリ。湖ノ東北。更ニ小湖アリ。余吾湖ト云フ。南岸ヲ賤岳トス。余吾ヨリ發源シ。岳ノ東南ヲ繞ル。水ヲ余吾川ト云フ。東北ニ三瀬山中尾峠諸山アリ。斗出ス。此際ヨリ南流シ。余吾川ノ南ヨリ湖ニ入ル。水アリ。姊川是ナリ。其南湖邊ヲ長濱トス。余姊川ノ中間小岬ヲナス。岬腰一港アリ。早崎ト云フ。早崎ノ西竹生島ヲ狹ミテ佳港アリ。海津ト云フ。湖北ノ形便トス。其湖東ニ當リテ伊吹山アリ。横山靈山左右ニ峙チ。南ニ當リテ彦根アリ。彦根ノ東北ニ磨針峠アリ。彦根ノ南ニ犬上川。愛智川。横關川諸水アリ。以テ横田川ノ北ニ至ル。横田川源ヲ伊

賀ノ柘植山及ヒ伊勢ノ鈴鹿嶺ニ發シ。西流シテ國中ノ水。三上山麓ヲ遶リ。分レテ兩派トナリ。湖ニ入ル。皆湖中ニ入ル。而シテ獨リ宇治川。湖ヨリ出ツ。産スル所。縮緬麻布陶器。油桐鑄現石砥石灰アリ。而シテ其稻米諸國ニ冠タリ。

天智帝滋賀ニ都ス。崩スルノ明年。弘文皇帝吉野ニ立ツ。天武帝興リ。村國男依。大伴吹負等ヲシテ。京軍ヲ伐シム。大ニ國中ニ戦ヒ之ニ勝ツ。孝謙帝ノ時。惠美押勝亂ヲ興シ。此地ニ走リ敗死ス。天仁中。源義光其兄義綱ヲ誣フ。義綱怒リ。甲賀山ニ據テ叛ス。源爲義之ヲ討ス。義綱降ル。後平氏義仲ヲ粟津ニ拒キテ克ク。タス。源賴朝二弟範賴。義經ヲシテ義仲ヲ討セシム。範賴勢多ヨリ進ミ。義仲ヲ擊テ之ヲ殺ス。源平氏ノ時ヨリ。佐々木氏已ニ此地ニ居ル。後世京極六角

皆其裔ナリ。後醍醐帝ノ時。北條仲時。六波羅ニ敗レ。東走ノ番馬驛ニ至ル。京軍追撃メ之ヲ殺ス。足利尊氏反メ京ニ入ル時。帝叡山ニ幸ス。細川定禪。園城寺ニ在リ。北畠顯家等。撃テ之ヲ走ラス。尊氏再ヒ關ヲ犯ス時。帝復叡山ニ幸ス。巳ニ京師ニ還幸ス。新田義貞。土居通治。得能通言等。北陸ニ赴カントシ。鹽津ニ至ル。時方ニ雪天。高角。高卒昏。通治。通言。敵ニ遇テ戰歿ス。足利氏ノ季年。六角。高角。高將軍義隆。義晴等。逆將軍義隆。義晴等。逆臣ニ逼ラレ。輒モスレハ此地ニ來奔ス。甚シキハ日吉。冠後織田信長。將軍義昭ヲ京ニ入ント欲シ。道ヲ佐々木義賢ニ假ル。義賢聽カス。信長大舉メ來リ攻ム。國中風ヲ望ミテ潰ユ。是時ニ當リテ。淺井長政。小谷ニ據

リ。傍地ヲ畧シ。信長ニ抗ス。信長。酒カニ朽木谷ヲ經テ京ニ入ル。後又淺井朝倉二氏ト。姊川ニ戰フテ之ヲ破ル。巳ニ朝倉氏又至リ。坂本ヲ陷ル。信長。叡山ニ諭メ之ヲ伐シム。叡山應セス。豐臣秀吉。又淺井氏ト戰ヒ之ヲ鎌羽ニ破ル。信長。叡山ヲ攻テ。盡ク之ヲ燔ク。山谷爲ニ空シ。後又義景ト戰フテ之ヲ破リ。勝ニ乘メ越前ニ入り。之ヲ亡ボス。歸路小谷ヲ攻メ又之ヲ滅ホス。是ヨリ先義賢ノ子義弼。鯉江ニ據ル。柴田勝家。撃テ之ヲ降ス。三年ヲ經テ。信長治ヲ安土ニ徙ス。信長既ニ弑セラレ。明智光秀。安土ニ入ル。從子光春。湖上ニ戰ヒ。坂本光秀誅ニ伏メ後。勝家長濱ヲ領シ。假子勝豐ヲメ之ヲ守ラシム。勝豐城ヲ以テ秀吉ニ下ル。巳ニ勝家。作間盛政ヲメ。賤嶽ノ砦ヲ取

シム。秀吉遠ニ來リ。大ニ盛政ヲ破リ。北クルヲ逐フテ。越前ニ入リ。勝家ヲ亡ホス。後秀吉此地ヲ秀次ニ賜フ。關原ノ役ニ。島勝猛徳川家康ヲ水口ニ。京極高次。大津城ヲ守ル。西軍之ヲ攻メ城陷ル。高次降ル。三成敗ル。後。長東正家水口ニ。東軍澤山ヲ拔ク。徳川氏ノ時。彦根。所水。走リテ自殺ス。三上藩アリ。王政革新ノ。後。藩ヲ廢シテ縣治トス。

美濃誌

美濃國ハ。北緯三十五度十分餘ニ起リ。三十六度餘ニ至リ。西經二度二十分ニ起リ。三度二十分餘ニ至ル。東南北十九里。疆場山河ヲ環ラシ。内甚々平坦。其田ハ上ノ上。全國處トノ村落ナラサルハナシ。東。信濃ニ界シ。東南。三河ニ接シ。南疆。一帯。尾張ノ彎ヲ受ケ。西南。伊勢ニ界シ。西ヨリ北ニ至リテ。近江越前ニ界シ。而シテ東北。飛彈ヨリ斗

入ス。故ニ其形ヲ破扇ノ面ノ如シ。〔此國三面山ヲ負ヒ。東北ノ最モ峻險ナリ。唯南一面ノ地勢平坦ニシテ。尾張伊勢ニ連リ。諸川縱横流通ス。其間各務野大野青野等ノ廣原アリ。〕國中厚見。羽栗。石津。多藝。不破。安八。池田。大野。本巢。席田。方。二十一郡。五百八十戸。數。十四萬四千二百五十一。アリ。治。岐阜。東南隅ニ岩村アリ。其東疆ヲ惠奈山トス。此際ヨリ信濃ニ至ル迄。連綿亘ル。北疆ヲ環繞ス。明神山。屏風山。中良材多シ。伐木ノ聲。山岩岳ハ。此山脈中ノ高山ヲリ。丁々鳥聲ト相應ス。惠奈山ノ北。木曾川。信濃ヨリ來リ。西ニ向フテ馳ス。一水飛彈ヨリ。扇ノ破處ニ入ル。之ヲ飛彈川ト云フ。遂ニ南。木曾川ニ合シ。至リ。太田ニ漸ク大河トナリ。勝山ノ麓。而シテ後南疆ニ沿フテ馳ス。〔伊勢ノ内〕國ノ正半。南ニ偏メ岐阜アリ。〔萬戸輻輳ス。市北稻葉山ノ翠嵐。掬スヘシ。〕會。一。長良川。東北疆ノ西。水。宇禮池ヨリ發シ。〔或ハ云フ。大日岳ヨリ。〕

越前ニ跨ル大日岳ハ飛彈ト數流ヲ合セ〔國ノ中央〕岐阜ノ北ヲ
 繞リ又南北諸水ヲ合セテ〔墨股川トナリ〕木曾川ニ入ル其
 下流ヲ河渡川トス岐阜ノ申位川ヲ隔テ大垣アリ〔亦
 會ノ地〕又其西南〔三國峠アリ〕伊勢近江ノ境ニアリ多
 山ニ養老瀧アリ大垣ノ西ニ垂井關原アリ此際細流〔多シ
 川ハ大野郡ノ徳山谷ニ發シ南流シテ栗笠ニ
 至ル安八郡ノ諸川抗瀬川呂久川澤渡川ノ
 流ノ南伊勢尾張ノ間ヨリ海ニ入ル國中紙絲綿
 麻茶及
 陶器縮緬ヲ産ス。〕

源平氏ノ時平重衡維盛等源行家ト洲股川ニ戰フテ
 之ヲ敗リ頼朝ノ弟義圓ヲ獲南北ノ時土岐氏此地ヲ
 領ス〔北島顯家西上シ青野
 原ニ賊ヲ破ル後又〕尾張昌能堀口貞満足利氏ノ
 兵ヲ青野原ニ破ル脇屋義助根尾城ニ據ル軍利アラ

スノ吉野ニ歸ス大内義弘ノ反スル時土岐詮直長森
 城ニ據テ之ニ應ス巳ニ平ク結城氏朝ノ敗ル持
 氏ノ子春王安王西軍ノ虜トナリ押送セラレテ垂井
 ニ至ル將軍義教人ヲ之ヲ殺サシム其後齋藤秀龍
 ナル者アリ土岐頼藝ニ仕へ遂ニ之ヲ逐テ國ヲ奪フ
 後子義龍ニ弑セラル龍興ニ至リ織田信長此地ヲ併
 ス龍興出奔ス信長乃チ治ヲ岐阜ニ徙ス足利義昭諸
 國ニ流寓シ最後信長ニ投ス信長之ヲ京ニ入ル後又
 治所ヲ近江ニ移ス信長薨メ後其子信孝豐臣秀吉ト
 大垣ニ戰フテ敗ル〔秀吉出テ呂久川ニ陣ス賤
 ナ開キ日夕獨馳ス炬火沿道ニ滿巳
 ニノ北畠信雄信孝ヲ岐阜ニ圍ム信孝走死ス石田三
 成兵ヲ起ス時織田秀信岐阜ニ在テ之ニ應ス東軍之〕

ヲ陷ル。是時西軍大垣ニ在リ。屢敗。嗣ス。巳ニ。兩軍關
原ニ會戰ス。西軍大ニ敗ル。德川氏ノ時。大垣郡上岩邑加
納苗木野村高富藩アリ。王政
革新。今尾藩ヲ増シ。後
皆廢シテ縣治トナル。

飛彈誌

飛彈國ハ。北緯三十五度四十分ニ起リ。三十六度二十分餘ニ
至リ。西經二度餘ニ起リ。三度ニ至ル。東西十七里。南
北二里。東。信濃ニ斜接シ。北。越中ニ彎入シ。弓様ヲナシ。西。加
賀越前ニ斜界シ。南方。美濃ニ竹入ス。規形ヲナシ。即チ扇
頭ノ破所美濃國形ヲ破扇ナリ。其國山多シ。技峯重嶺。四
境ヲ擁シ。急
淵激流。信濃越中ニ界スル處。雙六。錫杖。硫黃。大峠。乘鞍等
諸嶽アリ。山下温泉多シ。落合湯。白骨湯
平湯等アリ。一水其際ニ發シ。
〔平湯ノ大瀑ニ〕西北ニ流ル。之ヲ高原川ト云フ。而シテ南方
〔發源ス。ト云フ。〕西北ニ流ル。之ヲ高原川ト云フ。而シテ南方
川上岳ニ諸水セ。合國ノ中央。高山ノ北ニ會同シ。北ニ向

フテ流ル。之ヲ宮川ト云フ。上浮ニ著名ナリ。二水北境ニ會
流シ。越中ノ中央ニ入ル。神通川是ナリ。位山ハ。國ノ中央ニ
松トス。其東邊ニ都會アリ。高其西境ニ白木峯。金剛峠アリ。
山ト云フ。舉國ノ趕集タリ。加賀ノ境ニ障子山アリ。白川。二派源ヲ西南ノ大野郡ニ
發シ。平瀬村ニ至リ。北流ノ亦越中ニ入ル。射水川益田川。
一水トナリ。東境ノ乘鞍嶽ヨリ發シ。西南ニ流レ。馬瀬川數派ヲ合メ。美
濃ニ注ク。即チ扇ノ破中ニ入ル者。飛彈是ナリ。舉國大益野。
川。吉三郡。村數四百十二。戶數一萬八千五百。ヲ轄有ス。筑摩縣
城。三郡。四十五。人口九萬八千八百二十二。ヲ轄有ス。筑摩縣
治。産スル所。繭絲。木料。羚羊。馬。ト石ト。

仁德帝ノ時。山城宿。足利氏ノ時。源高貞。國司藤原尹。繼
繼ヲ勳セシム。後。小島城ヲ火ク。戰國ノ時。武田上杉二氏之ヲ分
領ス。後。豐臣秀吉。金森長近。ヲノ。國司。姊小路賴綱。ヲ滅

ホサシム。因テ長近ヲ封ス。徳川氏ノ時。郡治ヲ高山ニ置キ。高山ニ置キ。後又廢シテ兼治セラレ。其魁首ヲ境上ニ磔ス。王改革新縣ヲ。

信濃誌

信濃國ハ。北緯三十五度十分餘ニ起リ。三十六度五十分餘ニ至リ。西經零度五十分餘ニ起リ。三十七度五十分餘ニ至リ。東西二十三里。南北四十里。餘伊那。筑摩。十郡。村數千七百四十。安曇。諏訪。更級。水内。高井。埴科。小縣。佐久。一戸數二十萬七。百七十五。人口九十二。アリ。治ヲ二所ニ置ク。松本。及ヒ飛騨。萬四千八百六十七。アリ。摩羅。縣ト云フ。本州ノ四郡。及ヒ飛騨。國ヲ統治ス。水内。郡長。野ニアル。北。越後ニ接シ。其界東ニ羸。リテ西ニ乏シ。西ハ越中。飛彈。美濃ニ連ナリ。南ハ三河。遠。江ニ距リ。東ハ甲斐。武藏。上野ニ接シ。中間餘地ヲ抽ンツ。故ニ其地形。東ニ向フテ畧。凸字ノ形ヲナセリ。其國。東方ニ在テ。固ヨリ大國ト稱ス。〔其疆十國〕米。麥。豐饒。山河險。謂フ所天府四塞ノ地ナリ。全國地勢高隆。千隈川。東方。峯金。

山ヨリ發シ。小諸ニ至リ。淺間。碓。西北ニ流レ。上田。松代ノ南。西ヲ過テ北流ス。犀川。其源ニアリ。駒岳ヨリ出ルモノ。奈。チ梓川ト國ノ南方ニ發シ。松本ノ西ニ乘鞍岳ヨリ出ルモノ。云フ。俱ニ國ノ南方ニ發シ。至テ相會シ。北流數里。諸水ヲ集。東ニ折レテ川中島。善光寺ノ間ヲ貫キ。千隈川ニ會同。ノ。北。越後ニ入ル。所謂ル信濃川是ナリ。而シテ此二水細流ヲ受ル。甚タ多シトス。上田ノ西南ニ松本アリ。正南ニ諏訪湖アリ。鼎峙ノ勢ヲナセリ。諏訪湖。水面甚タ大。周回四里。水。堅氷アリ。人馬水上ヲ行。是ヨリ出ル水。南方ニ流レ。深山。ク。捷路タルヲ以テナリ。是ヨリ出ル水。南方ニ流レ。絶崖。奔流シテ。遠江ニ入ル。則チ天龍川是ナリ。其他木曾川。西。南。筑。摩。郡。中。ニ發シ。猶西南ノ御岳川。美濃ニ入ル。水。崖。落。別。一。郷。チ。ナ。シ。棧。チ。架。シ。テ。道。チ。通。シ。崖。ニ。臨。ミ。テ。家。チ。搆。フ。駒。岳。其。南。チ。遮。リ。御。岳。其。北。ニ。時。チ。山。溪。十。八。里。美。濃。ニ。出。ッ。此。チ。木。曾。山。中。ト。云。フ。姫。川。西。北。出。テ。關。川。黑。姫。岳。ニ。發。シ。猶。西。天。下。良。材。ノ。聚。ル。所。

北ノ越後ニ入ル。國中ノ山上野ノ境ニ飯窪讓鏡岩松赤石及ヒ乳山四阿湯丸諸山アリ。〔其山脈ハ延キテ遠ク南ニ繞リ武藏ノ秩父山ニ連ル。〕以テ淺間山ニ連ナル。淺間ノ山山頂常ニ烟ヲ發シ。時ニ或ハ灰石火漿ヲ噴出シ。害遠近ニ及フ。諏訪湖ノ東ニ藥師地藏諸嶽アリ。其北ノ山ヲ澁岳トス。岳麓ニ温泉アリ。湖ト上田ノ間ニ和田峠鉢伏山アリ。和田峠ハ國ノ中央ニ延キテ國中ヲ區域ス。南走スルモノ大門峠トナリ。甲斐ノ八ヶ岳ニ連ル。西南ニ亘ルモノ盤尾峠鳥居峠トナリテ駒岳ニ連ル。北ニ繞ルモノ室賀嶽捨諸山トナル。嶽捨山ハ更科郡ニアリ。田毎ノ觀月塙タリ。千隈川ヲ隔テ、鏡臺山ニ對ス。越後ノ境ニ中峯花立山姥鷹打黑姬高妻戸隱諸山アリ。西ハ飯嶽風吹嶽アリ。是ヨリ千岳萬峰ヲ歴テ御嶽ニ至ル。御嶽ハ國時チ飛彈美濃ニ跨ル。西境ニ國中第一ノ高山トス。南ハ遠江ノ境ニ熊伏山江儀嶽等アリ。又甲斐ニ近キ處荒川嶽地藏嶽前嶽アリ。是ヲ其大概

トス。産スル所蕎麥綿段生糸玉石材料熊鹿及ヒ馬アリ。文武帝ノ時始メテ木曾山道ヲ開ク。治承中源義仲以仁王ノ令旨ヲ奉メ兵ヲ舉ケ。遂ニ北陸ニ入ル。南北朝ノ時小笠原貞宗國中ニ割據ス。其季年。新田義治此地ニ匿ル。貞方義隆後又混合又破レテ陸奥ニ走ル。足利氏ノ時足利持氏ノ孤永壽王道レテ此地ニ匿ル。後鎌倉ニ入ル。是ヲ成氏トス。戰國ノ時武田晴信初メ海口城ヲ拔キ。後盤尾嶺ニ戰ヒ。又戸石ニ克チ。小笠原長時ヲ桔梗原ニ破ル。長時走ル。村上義清亦晴信ノ破ル所トナリ。上杉輝虎ニ投ス。是ニ於テ輝虎晴信ト川中島四郡ヲ争ヒ。大ニ戰フ。前後數回〔川中島五度戰〕後和ヲ議シ。義清ヲ復ス。晴信死シ。子勝頼國人ヲ虐使ス。木曾義昌款ヲ織田氏ニ送り。其兵ヲ招ク。勝頼之ヲ討シ。鳥

井峠ニ敗ル。諸城多ク織田氏ニ降ル。勝頼甲斐ニ歸リ。尋テ亡フ。國織田氏ニ屬ス。信長薨ノ。德川氏ニ屬ス。豊臣氏ノ時。眞田昌幸德川氏ト和セス。戰後德川氏關東ニ移封セラル。石田三成兵ヲ舉ル時。眞田昌幸上田ニ據テ之ニ應ス。東軍之ヲ攻テ勝タス。三成平クニ及ヒテ。昌幸降ル。德川氏ノ時。松代松本上田高島高遠飯田岩中。木曾ノ懸橋ヲ造ル。天明中。淺間山灰石ヲ轟發シ。山下泥水ヲ噴出シ。害三十五村ニ及フ。死スル者三萬五千餘人。弘化中。地震シ。千腰川溢ル。死スル者數千人。甲子。水口浪士西上ス。和峠ニ拒キ破ラル。戊辰ノ役。北兵飯山ヲ襲フ。官軍擊テ之ヲ退ケ。尋テ越後ニ入ル。王政革新ノ後。藩ヲ廢シテ。縣治トス。

上野誌

上野國ハ。北緯三十六度ニ起リ。三十六度五十分餘ニ至ル。西經零度ヨリ起リ。一度十分餘ニ至ル。東西二十三里。

南北二十五里。東ハ下野。南ハ武藏。西ハ信濃。北ハ越後岩代ヲ以テ界トス。其信濃ト接スル處。一頭ヲ凸出ス。又巽位ニ當リテ。長尾ヲ掉出ス。尾頭下総ニ觸ル。地形海鵝魚ノ如シ。國中群馬勢多。甘樂。綠野。那波。佐位。碓氷。十四郡。村數千二百二十萬九千六百六十六。人口五十一萬九千九百四十一。内十一郡ハ。熊谷縣ヨリ管轄ス。東南平地多ク。西北山嶺多シ。凸出ノ地。信濃ノ淺間山ニ接スルヲ以テ。熱泉ヲ生ス。之ヲ草津湯ト云フ。其他遠近數湯アリ。湯河原。久保。寶川。川振。上澤。渡り。伊香保等。淺間ノ東ニ碓氷峠アリ。西北ニ吾妻。萬坐。白根諸山アリ。是ヨリ北。大藏嶽。島帽子嶽。大藏嶽。島帽子嶽。雙立シテ。最モ高峻トス。駒嶽ニ連ナリ。以テ東北諸山ニ至ル。邦内。三山アリ。中。東方ノ山ヲ赤城山ト云フ。山中瀑水アリ。中央ノ山ヲ榛名ト云フ。山中大湖。西南ノ山ヲ妙義。

山ト云フ。山中石門四アリ。上連ナリ下通ス。實ニ鬼斧神
 エト云フヘシ。國ノ疆場。東南ノ外。必ス三國相接スルヲ
 以テ。其山皆三國峠ト云フ。三山アリ。中山ハ越後岩代上野
 西山ハ信濃越國中ノ川。利根ヲ以テ最大トス。源泉國ノ
 後上野ノ境。極北利根郡藤原ニ發シ。南ニ流レテ。前橋（一都會アリ）ヲ過
 キ。直ニ南流シテ。甘樂川ヲ漸ク東メ下總ニ入ル。片品川。東
 北ニ發シ。赤谷根發知。西流メ利根ニ會ス。未ダ利根ニ
 吾妻川。吾妻川。西北鳥居峠ニ發シ。東流メ。榛名ノ麓。亦利
 根ニ入ル。其南ニ鳥川（源ヲ確水峠ノ鳥石ニ發シ。榛名山南ヲ東流ス。）確水川ア
 リ。確水峠ニ發水シ。妙其間ヲ安中トス。二水東流メ。高崎（中國
 ノ繁華トス。此地及ヒ前橋以南ハ。平野沃土ニシテ。村ニ至リ。
 里皆桑ヲ植エ。蠶ヲ養フ。上州絹絲ノ名。海外ニ馳ス。〕ニ至リ。
 合ソ一トナリ。神流川ニ會シ。而メ後利根ニ入ル。神流川

ハ信濃境ナル初鳥屋村ノ山中ニ即チ。武藏ノ境ナリ。度良
 瀬川。下野ノ西境ヨリ出テ。桐生館林流レテ弓様ヲナシ。
 復下野ニ回リ。後遂ニ下總ノ境。利根ニ合ス。是乃尾形ノ
 地。其本ヲ新田（ミタマ）トシ。中間ヲ館林トス。尾端ハ則チ此國。及
 ヒ武藏下總下野分界ノ處ナリ。國中絹絲綿布（真綿紵）ヲ
 産ス。女工甚タ巧ミナリ。（富岡ノ製絲場ハ。我カ）
 上野下野古ヘ共ニ毛ノ國ト稱ス。後分テ二トス。源
 賴朝兵ヲ舉ル時。新田義重寺尾城ニ據テ之ニ抗ス。後
 遂ニ服ス。義重ハ義家ノ孫。新田義貞ハ其裔ナリ。（新田
 居）後醍醐帝ノ時。義貞兵ヲ起シ。利根川ニ至。進ミテ鎌
 倉ニ入リ。北條氏ヲ亡ホス。帝吉野ニ幸スル時。北畠顯
 家。陸奥ヨリ發シ。足利義詮ヲ利根川ニ破ル。其後新田

義宗足利氏ト碓氷峠ニ戦ヒ敗レテ越後ニ赴ク。足利氏ノ季上杉顯定平井ニ城キ八州ヲ領ス。巳ニ北條氏漸ク興リ氏康ニ至リテ平井ヲ攻テ之ヲ陷ル。上杉憲政越後ニ走ル。後上杉輝虎國中ノ數城ヲ陷ル。國大半之ニ屬ス。輝虎死ス。武田勝頼之ヲ取ル。後織田信長武田氏ヲ亡ホシ。瀧川一益ヲ此地ニ置キ關東ヲ管領セシム。信長薨シ一益ノ廢橋ニアリ。國人北條氏ト戦ヒ敗レテ西ニ走ル。國北條氏ニ歸ス。西北隅沼田城アリ。眞桃ヲ得ルニ及テ其屬地那胡北條氏亡ヒテ國徳川氏ニ歸ス。幡籬高崎矢田七日市沼田安中伊勢崎小幡籬高崎矢田七日市沼田安中伊勢崎小

下野誌

下野國ハ北緯三十六度餘ニ起リ東經零度三十七度餘ニ至リ。西經零度二十分ニ起リ東經零度三十分餘ニ至ル。東西十

九里南北。西南均ク上野ニ界シ。東下總常陸ニ斜界シ。北又岩代磐城ニ斜接ス。其地形甕瓶ノ如シ。口南ニ向フ。國中梁田足利安蘇都賀寒九郡千八百五十六戸數九萬五千四百。治ヲ椽木ニ置キ全國及東南平夷。〔正南ハ下總ト野遠ク連リ東ハ一帯ノ西北山ヲ圍繞ス。東北荒西南隅ヲ山嶺常陸ノ境ヲ限ル。〕西北山ヲ圍繞ス。東北荒西南隅ヲ足利トス。即チ渡良瀬川回流ノ處ナリ。〔弓川原上野ニ出テ再ヒ國ニ流ル。〕其北大岩山ヨリ十二山三峯山地藏嶽アリ。庚申山アリ。奇巖ノ巢ヲリ。其前頭ニ鴈行シテ南ニ赴クモノ。出際ナシ。庚申山ノ北。陵谷ヲ經テ日光山アリ。其北方鹽原ノ地。鹽泉アリ。是ヨリ東北。黑岩高群山ヲ經テ。那須嶽ニ至リ。以テ常陸ニ連ナル。〔鹽原那須野原鹽谷原是ナリ。〕國中ノ水。大小十餘流アリ。東南ニ向フテ流ル。其稍大ナル者

南ニ小倉川。黒川。姿川アリ。三水合シ一トナリ。南行ノ下
 総ニ落ツ。之ヲ思川ト云フ。西北隅。日光山ハ。群山重シ。中ニ
 最高山アリ。黒髮山ト云フ。山中神廟アリ。飛瀑數所アリ。高下
 リ。五彩輪奐。碧潭翠嵐。ト相映發ス。山中。飛瀑數所アリ。高下
 細大。各同カラス。霧降裏見及ヒ七瀧等。山水ノ勝。東國無雙
 ト稱ス。山ヲ樂ム者〔果シテ〕水ヲ樂ム者〔又智〕皆往テ之ヲ
 訪ヘシ。山中湖アリ。中禪寺湖ト云フ。清徹魚是ヨリ出ル水
 ナ華嚴瀑トナ大谷川ト云フ。衣川。西北隅。衣沼山ヨリ來
 リ。之ヲ合セテ南流シ。宇都宮ノ東ヲ過キテ。常陸ニ注ク。
 宇都宮ハ國ノ中央ニアリ。萬戸殷賑ヲリ。又一水浮チ上
 東北ノ要衝タルヲ以テ。鎮臺ノ分營ヲ置ク。又一水浮チ上
 須川ト云フ。男鹿山中ノ湖水。東北連小笹喜諸水ヲ合シ。鳥山
 川ニ至リ。相會ソ常陸ヲ串キ。東海ニ朝ス。即チ那珂川是ナ
 リ。那須嶽ノ南ニ曠原アリ。那須野ト云フ。原上一大石アリ。

リ。殺生石ト云フ。世傳ヘテ砒霜ノ類トス。産スル所茶麻
 綿段人參材料木具漆器足尾銅日光蠟石金銀馬匹等アリ。
 醍醐帝ノ時。賊黨千餘人。高坐山ニ據ル。鎮守府將軍利
 仁ト雪夜ニ乘シ。賊營ヲ斫テ之ヲ殪ス。〔我カ國此奇功アリ。人何ソ准西チ馳稱
 ヤスル〕朱雀帝ノ時。平貞盛。藤原秀郷。平將門ト戰ヒ。撃テ
 之ヲ殺ス。源平氏ノ時ヨリ。那須宇津宮小山等。國中ヲ
 分領ス。〔關東ノ八族。〕後醍醐帝ノ時。足利尊氏此地ヨリ
 興ル。〔誰カ北山移文ヲ草ス。〕豊臣氏既ニ小田原ヲ倒シ。東下
 侯皆迎ルノ季年。上杉景勝。會津ニ據リ。徳川家康ニ抗ス。
 家康兵ヲ引テ。小山ニ至ル。西軍興ルト聞キ。結城秀康
 ナ以テ景勝ニ當テ。師ヲ反ス。徳川氏ノ時。宇津宮鳥山足
 野藩。戊辰ノ亂ニ。官軍宇都宮ニ在リ。東兵ト小山ニ戰
 アリ。

フテ敗ル。宇都宮亦尋テ陷ル。巳ニシテ薩長援兵至リ。東又
明日城ヲ攻之ヲ復ス。東兵日光ニ走リ。屢戰フ。又盤原
巳ニシテ又北ニ走ル。王政革新ノ後。藩ヲ

盤城誌

盤城國ハ。北緯三十六度四十分餘。起リ。三十七度五十分餘
十二里。最狭キ處五里半。南北足ノ形ナノ如シ。東海ニ濱
シ。腰常陸下野ヲ受ケ。膝ト脚ト踵ト。共ニ岩代ニ接シ。指
端羽前ニ觸レ。陸前ヲ履ム。國方磐城。磐前。菊多。檜葉。標葉。行
石川。白石。十三三郡。村數千。四十一。戶數五萬七千三百
十。アリ。磐前縣ト云フ。山アリ。而シテ甚々高キ者ナシ。南方ニ
温泉二三所アリ。下野常陸ノ國界ニ入。溝山アリ。三州西南
隅ヲ白川トス。其東端ヲ勿來トス。共ニ國疆ノ坂ヲ棚倉ト

ス。棚倉ノ北十餘里ニ當リテ。三春アリ。岩代ノ界ニ近シ。
其東片曾根山移岳アリ。又矢大臣山神樂山等アリ。山脈國
常陸ニ連ル。阿伽非岳トナリ。東洋ニ臨ミ。其後ハハ國ノ東南
常陸ト共ニ小灣ヲ抱ク。之ヲ平瀨ト云フ。港上勿來關ノ
趾アリ。八幡公ノ歌春風ヲ名コソノ關ト思ヒヒ「巳ニ人
口ニ鱗多ス。而シテ其人其地亦皆名コソ殘リケレ。其北ニ
鮫川アリ。流レテ港ニ入ル。又北ニ鎌田川アリ。南岸ヲ岩
城平トス。平ノ南北濱海ハ。菊多以下八郡ノ地ニシテ。沿海
作ノ二港アリ。北ニ原釜荒濱アリ。共ニ泊舟ノ地ナリ。雖ヒ水淺クシテ。一
大船ヲ容ル。ニ便ナラズ。小名濱ハ平ニ近シ。原釜ハ中村ニ近シ。中村ノ
南ニ原野ノ牧場アリ。其北ニ細流十餘派アリ。木戸川。富岡川。高
瀬川等稍大トス。而シテ最北ニ阿武隈川アリ。之ヲ國ノ北
境トス。川源ハ國ノ南部。甲子山ノ雄瀑雌瀑ニ出テ。岩
代國境ニ沿ヒ。東北ニ赴キ。岩代ニ入リ。再ヒ伊具郡

ナノ中間ヲ貫キ荒濱ニ至リテ海ニ注グ此川頗大踵ノ半ニ
當ル處疆場南北ヨリ迫リ地勢狹隘其地ヲ白石トス其
ク羽前ノ境ニ聳ユ郡中ハ岡巒起伏シ鉢伏峠鉦摺坂等アリ
南岩代ノ福島ニ近シ國中茶絲藍紙及ヒ馬アリ

岩代誌

岩代國ハ北緯三十六度四十分餘ニ起リ三十七度五十分餘
餘ニ至ル東西二十六里半餘狹キ處ハ十六里東ハ磐城南ハ兩
野西ハ越後北ハ羽前ニ界ス而シ良位餘地ヲ張出シ其
頭或ハ出テ或ハ入ル全國地形狗兒ノ坐スルカ如シ面
北ニ向ヒ腰西ニ安ンス國中會津大沼河沼耶麻岩九郡
千四百二十五戸數七萬八千三百三十二縣治二所ヲ置ク其一ハ
四邊皆山獨リ東方一路稍平カナリトス岩代信安積安達

ナノ地是 狗兒ノ輔ニ當ル處ヲ福島トシ其南ヲ一本松ト
ス而シ左肋ノ中央ヲ若松トス會津耶摩大沼河沼ヲ會津
都會ナリ四郡ノ地四面皆山アリ飯豊山聳テ羽前越後ニ跨
リ吾妻岳ノ三嶺ト東西ニ對立シ其脈左右ニ亘リ國境ニ圍
繞シ越後ノ境上ハ殊ニ峻絶極ム就中御神樂山ヲ最高ト
ス山中八十里越六十里越ノ險路アリ南境兩野ニ接スル地
亦巖重疊ノ高原峠火打岳ナリ國中ノ山南ニ布引天
上甲子大熊田代帝釋赤安斷ス其山西ヲ會津トシ其山東
トス道 西ニ銀山大鳥嶽鬼面山御神樂山北ニ飯豊赤萌
吾妻信夫諸山アリ信夫ノ東ニ温泉アリ北ニ三角丸山
二山アリ則チ福島ノ西北ニ當レリ國中ノ氷阿武隈川
ヲ以テ最大トス國ノ東南ニ發水シ源泉混々晝夜ヲ舍
メス境ニ從フテ北流シ二本松福島ヲ過キテ磐城ニ入
ル二本松福島ハ伊達信夫ノ二郡ニアリ國ノ東部ニシテ靈
山東ニ聳ユ半田銀山西ニ峙ツ中間沃土平衍郡村皆靈

桑道ヲ上リ。銀山ノ南麓温泉アリ。飯坂湯村ト云。若松ノ東北ニ大湖アリ。猪苗代ト云フ。東西四里。南北三里餘。湖水溢レ其西北ニ盤梯山アリ。會津四郡ノ東北ニ安太郎和尚諸山アリ。安達太郎山ハ二本松ノ西ニ當ル。國ノ東南間ニ鶴沼アリ。溢レテヨリ來ル水ヲ鶴沼川ト云フ。湖ノ水ト若松ヲ狭ミテ西北ニ流ル。又國ノ坤位ニ小湖アリ。上野山中。小瀬ト云フ。是ヨリ出ル水ヲ只見川ト云フ。曲折メ北ニ流レ。二川ノ水ト會同シ。飯豐御神樂兩山ノ間ヲ過キ。西越後ニ入ル。則チ阿賀川是ナリ。若松ノ北六里。山中ニ大鹽村アリ。此地鹽井アリ。國中酒ト蠟トヲ産ス。又金銀銅鐵及ヒ而シテ繭絲最モ居多。

陸前誌

陸前國ハ北緯三十七度五十分餘ニ起リ。三十九度二十分餘西二十五里。狹キ處ハ二里。南磐城岩俣ニ接シ。西羽前ニ隣リ。北陸中ニ界シ。稍方形ヲナス。而シテ良位餘地ヲ南北ニ抽ンツ。其北方ハ東ニ海波ヲ受ケ。其南方ハ半島ヲナシテ西大灣ヲ擁シ。以テ南境ニ連ナル。國中柴田名取宮玉造栗原志田遠田桃十四郡村數七百六十九戸數九万八千六百四生牡鹿登米本吉氣仙。西南隅ニ熊野岳笹谷峠アリ。西ニ黒川岳吹來山アリ。西北隅ニ須金山アリ。其羽前ニ接スルノ原ノ四郡トス。地勢國ノ南方ヲ宮城名取ノ諸郡トス。後ニ起伏シ。岡陵相連ル。國ノ南方ヲ宮城名取ノ諸郡トス。後ニ負ヒ。前東洋ニ臨テ。田野遠仙臺トス。人民樞樞。万戸櫛比ス。縣ノ海濱ニ亘ル。其都會ヲ治アリ。審判廳アリ。陸軍鎮臺名取川。味ニ發水シ。其南ニ流レ。廣瀬川。其間ニ流レ。二水合流メ。東海ニ朝宗ス。仙臺ヨリ北。數郡田膳万頃。

謂フ所一望四十萬石是ナリ。其志田遠田二郡ハ平坦ニシテ田野遠ク闊ク古川三本木
涌谷松山等ノ市街アリ仙臺ノ東名勝多シ。宮城野壺碑玉
 川等アリ。又末松山アリ。而シテ眞ノ末松山ハ。則チ陸奥界
 中ニ在リ。豈是假テ反サス。終ニ其有トナル者カ。其北海
 濱ヲ松島トス。宮城郡ノ東海水灣ヲナシ。宮戸桂塞風澤等ノ諸
リ。唐名洲其中ノ島嶼散布繡ノ如シ。其數三百。悉ク松
北ヲ遮リ。海ナリ。其眺矚ノ佳處。富山扇溪。即チ我國三勝ノ一ナリ。北
ナリ。鹽竈ハ其西南隅ニアリ。即チ我國三勝ノ一ナリ。北
 川。陸中ヨリ來リ。諸水ヲ合シ南流シ。海ニ近キ處。岐ノ兩
 トナリ。一ハ南ニ落チ。石巻港ヨリ海ニ入ル。石巻ハ八烟繁
 スルヲ六七十里ニ至ル。盛北陸ノ佳港ナリ。川脈ノ舟楫ヲ通
 モ。亦北方ノ第一河ナリ。一ハ東ニ流レニ落ツ。兩河ノ間。半
 島ヲ抽ンツ。海岸ハ岬灣出入シ。狐崎寄崎渡ノ頭邊ニ一島
 アリ。金華山ト云フ。江島出島ハ北ニ連リ。網地半島ヨリ北

小河兩三派アリ。皆東流シ海ニ入ル。良位餘地ヲ抽ルモノ
 大洋ニ面シ。室根ノ連山ヲ負ヘリ。其海岸ニ氣仙沼アリ。海水
 灣入ノ大島。其中間ニ横ハル。一佳港ナリ。郡中五葉氷上ノ諸
 山園繞シテ別ニ一郷ヲ爲ス。今泉川アリ。國。繭銅。川。ヨリ取
 今泉邑アリ。其海岸ニ綾里岬唐丹灣アリ。國。繭銅。川。ヨリ取
 木ヲ出ス。

陸中誌

陸中國ハ。北緯三十八度五十分餘ニ起リ。四十度十分餘ニ至
 里。南北三。南東俱ニ陸前ニ界シ。而シテ東ハ北半海ニ距ル。
 西ハ羽後ト一線經界ヲ立テ。北ハ陸奥ノ方形ヲ受テ。左
 右ニ長角ヲ伸出ス。全國地形牛首ノ如シ。國中。磐井。膽澤。
 稗貫。紫波。閉伊。十郡。村數七百二十八。戶數九万二千八百五
 岩手。九戸。鹿角。治。盛岡。置。至ル處山アリ。而シテ又平野アリ。南
 アリ。岩手縣ト云フ。至ル處山アリ。而シテ又平野アリ。南
 方北上川ノ上リニ高館アリ。又中尊寺アリ。平泉アリ。西南

隅ニ達谷峯。劍山。桑原岳アリ。其北。經塚。駒嶽ヨリ〔兩山ナリ。南山ナリ。栗駒山ト云ヒ。北ナ御駒山ト云フ。〕數山ヲ經テ。鹿角地ニ至リ。白根銀山尾去澤。月山。清水峠。蘆柄嶽。花部山。八甲田山等ニ連ナル。北ヨリ東ニ至リテ。種市。折爪。姫神。貝良木。藪川。早池。藥師。和山等諸山アリ。又皆脉ヲ連ヌ。其東ハ九戸閉伊ノ海濱ニ尾崎嶽カ崎ノ湊村。宮古山田。大鍾。雨石諸港アリ。〔宮古釜泊舟ニ。國ノ正北ヲ盛岡トス。〔岩谷堂一都會。盛岡ヲ第一トシ。〕便ナリ。〕其西方ニ岩鷲山。岩手山古ヘノ。南昌山其正南ニ對峙ス。及ヒ臺。温湯アリ。北方ニ北上山アリ。一水是ヨリ發シ。岩鷲山ヨリ川ヲ併セテ。盛岡ヲ過キ。西。豐澤。和賀。膽吹。衣川諸水ヲ合セ。南ニ馳セテ。陸前ニ入ル。即チ北上川是ナリ。其餘海濱ニ小流多シ。國中。金銀銅鐵及ヒ細布ヲ産ス。而シテ此國及ヒ陸

前出ス所ノ馬最良。

陸奥誌

陸奥國ハ北緯四十度餘ニ起リ。四十一度三十分餘ニ至リ。東南北四一里。本土ノ極北ニ在リ。之ヲ東西兩地ニ分ツ。東地ハ東南西三面。陸中ニ界シ。北海ニ臨ミテ半島ヲ鈎出ス。頭西ニ向フ。西地ハ東。陸中。南羽後ニ界シ。而シテ西北共ニ海ニ枕ミ。又餘地ヲ衍出ス。兩地ノ間。南ハ陸中ノ角地ヲ銜ミ。北ハ北海ノ大灣ヲ受ケ。其間但一綫路ヲ通スルノミ。故ニ全國地勢。北ヨリ之ヲ望メハ。比ノ字ノ形ナニ似タリ。國中津輕。三戸。二戸。北。四郡村數千六百六十四。戶數八萬千八百五。アリ。治青森處トメ山ナラサルハナシ。西地ノ西南ニ高山アリ。岩城山ト云フ。俗之ヲ呼テ津輕富士ト云フ。山脈

ハ泊嶽ニ連ル。其山北ノ地ハ。概正東ヲ弘前トス。弘前ノ東
 南ニ温水數所アリ。西岸ノ半ニ小岬アリ。鳥井崎ト云フ。
 是ヨリ。西及ヒ南ハ。羽後ニ接シ。群峰屏列ス。其矢立岬チ最モ
 澤ト云フ。泊舟ノ便地トス。其東北海邊ニ湖アリ。十三湖ト云フ。西海ニ
 通ス。峽門甚々狭シ。岩木川ノ源チ泊嶽ニ發ス。其他石川平川
 シ。北流ノ會シ。東南ヨリ來リテ之ニ入ル。湖ノ北又兩岬ア
 リ。小泊崎ト云ヒ。龍飛崎ト云フ。渡島ノ自神崎ト海峽チ夾
 シ。是チ中ノ潮ト稱ス。潮流急。西地ノ盡頭ナリ。北ニ回リテ小
 港アリ。三馬屋ト云フ。是ヨリ松前ニ至ル。舟行甚々近シ
 トス。此海岸チ總稱メ外ガ濱ト云フ。山ニ朱谷アリ。海ニ砂利母
 詠メル。宜再ヒ折レテ南ニ轉ス。其東岸一帯ハ。即チ大灣
 ノ西方ナリ。灣ノ當中チ青森トス。〔今縣治ノ在所。又〕又函
 館松前地方へ出船ノ地ナリ。今燈臺。是ヨリ灣水岐ノ東

館松前地方へ出船ノ地ナリ。今燈臺。是ヨリ灣水岐ノ東
 地ニ入ル。海中ニ盡頭チ野邊地トス。北郡ニ屬セリ。中間夏泊岬
 斷セ。東地ノ巽位ニ。末松山アリ。山腹波痕チ見ル。驚クヘ
 キニ似タリ。然レトモ我聞ク以大利ノ那不勒ニ古廟ア
 リ。石柱ニ鱗介齧通ノ痕アリト。是古へ廟ヲ造ル時。地猶
 高シ。後陷リテ復起隆スト云フ。〔又問ク同地ニ二古城アリ。
 土人忽チ掘出ス。垣堞依然。街衢今存スト。亦桑海ノ變チ見ル。〕土地ノ漸移。萬國皆有リ。又
 何ソ疑ンヤ。西南ニ來滿。鉞山。田和。戸來等ノ諸山アリ。
 皆陸中鹿角郡ノ群山ニ並列ス。南境ハ一帯ノ山脈相連リテ。
 陸中ノ境ヲ限ル。中央ニ中山アリ。海岸ニ種市山アリ。郡中
 又川流數條アリ。皆東流ノ海ニ入ル。〔十和田山上ニ湖水
 瀑トナル。其下流チ七戸川ト云フ。南流ノ市川村ヨリ海ニ入
 ル。又馬淵岳アリ。源チ陸中ノ遠別岳ニ發シ。北流ノ白鳥淵
 ノ諸水チ併セ。東ニ折メ八戸港ニ〕東海ト灣トノ間。地峽チ
 注ク。八戸ハ海邊ノ一都會ナリ。〕

ナス。峽ノ盡頭東北角ヲ尻矢崎ト云フ。南ニ顧レハ斷崖
 リ。此岬角燈臺ヲ急ナ。而シテ半島ノ地。田名部嶽。牧山。大間
 嶽等ノ諸山アリ。〔北郡ハ東北ニ突出セル半島ニシテ。中
 之ヲ燒山ト稱ス。其最高キモノヲ恐山ト名ク。大間岳其北ニ
 峙チ。海ヲ隔テ。渡島ノ箱館ト相對ス。其麓ニ大間港アリ。海
 岸西ニ環リ。津輕郡ノ外濱ト相對シ。海水深ク。陸地ニ灣入シ
 テ。一ノ内海ヲナス。九艘泊及安度等ハ。内海ノ北岸ニアリ。泊
 等ニ斜對セリ。〕青森國海扇海參及ヒ牛馬ヲ産ス。

上古以來蝦夷此地ヲ據有シ。反服常ナシ。齊明帝ノ時
 府ヲ後方羊蹄ニ置ク。此地ノ服スル言ズ知ルヘシ。後桓武
 又巨勢麻呂大伴東人。大伴家持等皆此地ニ事アリ。桓武
 帝ノ時坂東ノ兵多賀城ニ會シ。衣川ヲ渡リテ賊ヲ擊
 ツ。官軍敗績ス。三年ヲ經テ。大伴弟磨呂坂上田村磨呂
 等之ヲ征シ。捷ヲ奏ス。其後夷酋高磨呂。惡路王等。達谷
 嶮ヨリ起リ。西ニ侵メ駿河ニ至ル。田村磨呂之ヲ追テ

此地ニ至リ。神樂岡ニ大戰シ。擊テ之ヲ殺ス。是ニ於テ
 夷賊始メテ跡ヲ收ムト云フ。〔三陸今猶ホ大元帥祠ア
 一。此公何ソ此土〕後冷泉帝ノ時。安倍賴時。六郡ニ據テ
 叛ス。朝廷源賴義ニ詔メ之ヲ討ス。賴時降ル。幾ハクモ
 無メ其子貞任罪ヲ犯シ。父子復叛ス。賴義之ヲ衣川ニ
 攻ム。是ヨリ年々攻戰已マス。後賴時死ス。而シテ貞任兵
 勢益震ヒ。郡縣ヲ抄掠ス。數年ヲ歷テ。衣ノ館貞任敗レ
 テ出羽ニ奔リ。遂ニ殺サル。〔是ヲ前九年ノ〕承安中。源義
 經來奔シ。藤原秀衡ヲ主トス。秀衡ハ秀郷ノ後。父祖ノ時
 ナ。賴朝兵ヲ舉ルニ及ヒテ之ヲ去ル。後賴朝ト相鬪シ
 潛行メ至リ。復秀衡ニ依ル。秀衡卒ス。其子泰衡。義經ヲ
 高館ニ攻メ。其首ヲ鎌倉ニ送ル。首眞偽辨ス可ラス。賴

朝事ニ托シ。泰衡ヲ罪シ。兵ヲ發シ來リ征ス。〔東北兩路ヨリ攻ム。〕
 全軍三十萬ニ及ヘリ。我カ國古ヘ平泉ノ壘ヲ攻ム。泰衡
 大兵ヲ起ス。未ダ斯ノ如キハ非ス。平泉ノ壘ヲ攻ム。泰衡
 家臣ニ弒セラル。國中平ク後醍醐帝ノ時。北畠顯家國
 司タリ。兵ヲ引テ西上シ。足利氏ヲ擊ツ。而シテ南部葛西
 相馬伊達田村蘆名白川諸族。各地ニ割據ス。足利ノ時。鎌倉氏ヲ
 メ管轄セシム。遠布政シカ戰國ノ時。葦名氏會津ニ在
 ク。國ノ豪族。類ニ亂ヲ爲ス。
 四隣ヲ掠ム。伊達政宗屢之ト戰ヒ。其地ヲ取ル。已ニ
 ノ政宗。豐臣氏ニ降り。其侵地ヲ致ス。秀吉則チ蒲生氏
 郷ヲ封ス。氏郷卒シ。上杉景勝ヲ移封ス。景勝石田三成
 ニ應シ。徳川氏ヲ計ル。三成平キテ後。米澤ニ移サル。而
 シテ氏郷ノ子秀行。復之ヲ領ス。後家絶ユ。保科正之。山形
 ヨリ移ル。而シテ白川棚倉等ノ諸侯。亦數封ヲ易フ。之ヲ要ス

ルニ藩城十九アリ。仙臺一關。會津守山。棚倉三春。二本。松白
 川中村。岩城。平泉。福島。湯長。下手渡。盛岡。八戸。弘前。黒石。松前
 是ナ。戊辰ノ亂。國中諸侯合從ス。東西ノ軍。白川ヲ爭ヒ。
 或ハ取り或ハ失フ。東兵又棚倉岩城平ニ據ル。官軍擊
 テ之ヲ拔キ。進ミテ仙臺ニ迫ル。已ニ官軍會津ニ入
 リ。攻撃甚タ急。保科氏降ル。自餘ノ諸侯。亦從フテ降ル。
 是ニ於テ。朝廷伊達南部等ノ封ヲ削リ。遂ニ國ヲ分チ
 テ五國トス。尋テ斗南ノ地ヲ保科氏ニ賜ヒ。其祀ヲ存
 ス。北國諸侯ノ官軍ニ降ルヤ。東兵相率テ。北。函館ニ
 走ル。明年。官軍艦艘數艘ヲ發シ。之ヲ討ス。先ツ宮古港
 ニ達ス。東兵之ヲ聞キ。亦鬪艦ヲ發メ。之ヲ襲ヒ。大ニ海
 中ニ戰フ。官軍殺傷多シ。而シテ東艦。遂ニ敗レテ走ル。政王
 革新ノ後。諸藩ヲ廢シ。縣治トス。

羽前誌

羽前國ハ。北緯三十七度三十分餘ニ起リ。三十八度五十分餘
 東西三十二里。東陸前岩代ニ正接シ。中間一地。盤城ニ觸ル。
 南北三十五里。東陸前岩代ニ正接シ。中間一地。盤城ニ觸ル。
 南西。岩代越後ニ界ノ乙字ノ勢ヲナシ。北羽後ト。犬牙相
 錯ハリ。東ニ滿テ西ニ遜ス。故ニ西方ノ地。僅ニ海ニ抵ル。
 全國地形靈芝ノ如シ。頭東ニ朝シ。莖西ニ根ス。國中。村置賜
 最上。四郡。村數千二百七。戶數九万七千三百六十一アリ。縣治三所
 田川。四郡。村數千二百七。戶數九万七千三百六十一アリ。縣治三所
 山形縣ヲ置キ。鶴岡ニ置キ。鶴岡縣ニ置キ。四面皆山。南方平土多シ。而シテ
 中置キ。米澤ニ置キ。賜懸縣ニ置キ。賜懸縣ニ置キ。四面皆山。南方平土多シ。而シテ
 二郡トス。總稱ノ最上ト云フ。笹谷峠ノ東部ヲ村山最上ノ東北
 隅ニ龜割山アリ。其西南ヲ新莊トス。其西ハ。湯殿羽黒月山
 分ツ。正北ハ。院内及位ノ諸嶺アリ。其山勢西ニ繞リテ。板敷山
 トナル。共ニ羽後ノ境ヲリ。其中間ハ地勢平坦ニ繞リテ。沃野遠
 相連リ。村落新莊ノ南十餘里ヲ山形トス。此地頗繁華ニシ
 接ス。乃チ新莊ノ南十餘里ヲ山形トス。此地頗繁華ニシ

ナリ。其中最盛ナル。南西ニ黒森山。虚空藏岳アリ。最上川。南境
 上ノ山トス。南西ニ黒森山。虚空藏岳アリ。最上川。南境
 ニ發シ。山形。天童ノ西ヲ過キ。松川ト合シ。郡中ノ諸水ヲ集
 然リ。尾花澤ヲ湯殿山。月山。羽黒山ノ北ヲ繞リ。羽後ノ界
 過キ。西折ソ。湯殿山。月山。羽黒山ノ北ヲ繞リ。羽後ノ界
 海ニ入ル。其下流ハ則チ酒田川是ナリ。大凡北國雪多シ。
 而シテ天童ノ北。尾花澤ノ際。雪深キ。越後高田ニ亞クト
 云フ。大雪ノ時ハ。家屋山林。皆雪ニ封セラレ。不夜城カト
 疑ヒ。銀世界カト疑フ。國ノ西北部ヲ莊内トス。酒田川ノ
 南ニ在リ。〔庄内ハ。モト出羽。飽海。川。三郡ノ總稱ナリ。今出
 田川。一郡ノ西ニ。北。臨。日。岳。最。上。川。越。後。限。リ。テ。羽。後。ニ。界。シ。
 羽黒。三。山。東。ヲ。擁。シ。西。南。朝。日。岳。最。上。川。越。後。限。リ。テ。羽。後。ニ。界。シ。
 ノ。六。十。里。越。ト。云。フ。其。路。極。テ。險。海。岸。又。鼠。關。ア。リ。鳥。路。越。後。徑。
 ノ。粟。生。島。ト。非。對。ス。海。岸。暗。礁。一。所。ア。リ。飛。鳥。上。ニ。屹。立。シ。越。後。徑。
 中間ハ。平野。海。濱。ニ。連。リ。鶴。岡。ノ。城。市。中。央。ニ。起。ル。極。南。ヲ
 米澤トス。西國ノ對峙スル者。東大嶺。西大嶺トス。即二ツノ東

妻岳ナリ。岩代ノ境ニ至リテハ。東ニ板屋峠アリ。南ニ檜原峠アリ。越後ニ赴クニハ十三峠アリ。群巒起伏シテ。其路極メテ險ナリ。米澤四山ノ中央。此際諸水會同シ。一トナリ。北ニ流ル。即チ最上川ノ上流ナリ。山形ノ西方ニ一沼アリ。大沼。沼中ノ島嶼。皆浮島ナリト云フ。産スル所。銀銅絲繭。及ヒ段匹紅花石炭アリ。

羽後誌

羽後國ハ。北緯三十八度四十分餘ニ起リ。四十度二十分餘ニ至リ。西經零度ニ起リ。東經一度餘ニ至ル。東西二十里。南北四十九里。國飽海。由利。雄勝。平鹿。八郡。二村。數千四百。十三萬五千四百。人口六。治チ秋田。置キテ之ヲ統治ス。北ハ陸奥。東ハ陸中ニ矩接シ。南ハ羽前ニ牙錯シ。未位。餘地ヲ抽出シ。而シテ西ハ海ニ面シ。屈曲多シ。形チ短柄ノ菜刀ノ如シ。刃東ニ向ヒ。背西ニ向フ。儘腐蝕多シ。國ノ西南境

ニ酒田川アリ。其海口チ酒田トス。人川ノ北。數里ニ高山アリ。鳥海山ト云フ。由利飽海兩郡ノ中間ニ屹立ス。一方ノ市チ過キ。古雪港ニ注リ。古雪川是ナリ。鳥海山西ニ小地角アリ。大師崎ト云フ。其北海邊ニ湖アリ。象潟ト云フ。古時名勝ノ地タリ。崩レ。湖面チ埋ム。海山。而シテ今大半田畝トナレリ。亦有耶無耶ノ關アリ。今皆地。其北細流數派アリ。御物川。東方ニ發シ。諸水ヲ合メ海ニ入ル。御物川一名チ雄勝郡ノ山中ヨリ發シ。北流シテ小保内川ト合ス。小保内川ハ。御角館齊内大曲等ノ諸川ヲ併セ。戸島川ト會シテ。大河トナリ。西流シテ久保田ノ城市ヲ過キ。海ニ入ル。河口ハ北チ土崎連リ。般賑ノ地タリ。其北岸チ秋田トス。東北ニ山アリ。太平山ト云フ。西北ニ餘地アリ。長岬チナス。本山寒風山等。隅北ニ。其北方ニ一大湖水アリ。八郎潟ト云フ。土崎野代